

令和5年度
事務事業の決算評価報告書
事務事業の外部評価報告書

遊佐町イメージキャラクター



遊佐町行政評価推進委員会
遊佐町行政評価外部評価委員会

目 次

第1部 事務事業の決算評価報告書(内部評価)	1
遊佐町行政事務事業評価制度の概要	2
事務事業評価シート記載例	7
事務事業(決算評価)3段階評価の手法	8
遊佐町行政事務事業評価制度体制図	11
令和6年度 遊佐町行政評価推進委員会 委員名簿	12
遊佐町行政評価推進委員会設置要項	13
令和6年度 内部評価結果一覧表(令和5年度事後評価)	14
総合発展計画 第4章～第6章 ※令和6年度外部評価対象外事業	
事務事業評価シート(令和6年度外部評価対象事業シート)	22
総合発展計画 第1章～第3章	
第2部 事務事業の外部評価報告書	77
外部評価制度について	78
評価の視点	78
令和6年度 遊佐町行政評価外部評価委員会 委員名簿	81
遊佐町行政評価外部評価委員会設置要綱	82
遊佐町行政評価外部評価委員会公募委員選考要綱	84
令和6年度 行政評価外部評価ヒアリング 日程表	85
令和6年度 外部評価ヒアリング結果	86
令和6年度 外部評価結果一覧表(令和5年度事後評価)	89
令和6年度 外部評価制度に対して外部評価委員から出された意見	96
外部評価対象外事業一覧表	97
おわりに・・・令和6年度外部評価委員会を振り返って	105
(埼玉大学大学院人文社会科学研究所 教授 斎藤友之)	

・ ・ ・ ・ ・ 第 1 部 ・ ・ ・ ・ ・

事務事業の決算評価報告書
(内部評価)

遊佐町行政事務事業評価制度の概要

1. 行政評価とは

行政評価とは、行政が行う施策や事業を「住民にとっての効果は何か」、「当初期待したとおりの成果はあがっているのか」という有効性の視点から客観的に検証を行い、より効率的・効果的な町政、住民にわかりやすい町政の運営をめざすものです。また、評価した結果を翌年に活かしていく手段ともなります。

客観的評価により明らかになった課題を迅速に次の計画に反映していくことで、住民本位の町政、住民の立場に立った町政に変えていく行政運営のひとつの手段といえます。

2. 行政事務事業評価制度を導入している理由

財政状況において、限られた歳入で多様化する住民ニーズに機動的かつ的確に応えるため、予算や職員等の行政資源をより効果的に配分することが必要です。

このため、住民への説明責任、長期計画の進捗管理、成果を重視した行政運営、限られた財源の有効活用、職員の意識改革など行政の自立性をより向上させ、一層の推進を図っていかねばなりません。

行政には事業の内容を始め、事業の効果、事業の費用、事業の成果などについて、住民にわかりやすい形で説明していく責任があります。

こうした状況の中、事業の当初の目的を再確認し、期待したとおりの成果があるか、より効率的な方法はないか、などについて検証する必要があります。そのために、いわゆる「行政事務事業評価制度」を導入しております。

3. 行政評価を導入する目的

(1) 住民への説明責任（アカウンタビリティ）の向上

施策・事務事業の目的、内容、達成度などを住民にわかりやすい形で公開することによって、住民に対する説明責任（アカウンタビリティ）の向上を図ります。

(2) 住民との協働のための事務事業の透明性の向上

施策・事務事業の目的や目標を明確にし、その成果・結果を明らかにすることによって、住民との協働の範囲を明らかにすることにより、協働のまちづくりの具現化を図ります。

(3) 事業目的達成のための改革・改善

施策・事務事業の目的、内容、達成度などを客観的に評価することにより、その結果から目標を達成するための改革・改善の方向を明らかにします。

(4) 職員の創造性の醸成

施策・事務事業の目的意識・目標達成意識を確認することにより、地方分権に対応する、職員の創造性を醸成します。

4. 評価の対象となる事業

行政評価の対象となる事業は、教育委員会部局を除く一般会計、特別会計および企業会計に属する全ての事務事業です。ただし、次に掲げる事業は、外部評価の対象外とします。

- (1) 町に裁量権がない事業（国、県の補助事業や当番制による事業など）
- (2) 扶助的性質の高い事業（生活扶助や就学扶助に関する事業など）
- (3) 施設の維持管理、計画策定、県の要請や委託など確実な実施で目的が達成する事業
- (4) 長期的な評価しか適当でない事業（単年度では評価できない事業など）
- (5) その他、基本的な事務に関する事業（職員の旅費、事務費、福利厚生に関する事業など）

5. 評価の方法

(1) 評価シートによる評価

評価は、行政評価システムにおける「事務事業評価シート」（P. 22～P76 を参照）に基づいて行います。

この「事務事業評価シート」について説明しますと、各事務事業は、総合発展計画の【章】（政策）、【節】（施策）、【項】（事業群）により分類しています。そして、直接事業費についても大まかに記載しています（尚、事業によっては単独で予算化されていないものもあり、空欄の場合もあります）。さらに、各事務事業について目的・活動内容・対象者・成果を設定し、目標数値は現状を踏まえて定めています。その際の算出式も具体化しています（但し、性質上定めがたいものは空欄となります）。

こうした前提に立ち、目標数値と結果の差や「評価基準」を参考にして、担当課で評価を下したのが、「担当課年度評価」欄と評価値・方向性になります。平成 22 年度から、町民の外部評価委員による外部評価制度を導入しましたが、その外部評価委員による評価が、「外部評価」欄と方向性になります。さらに、外部評価の結果を踏まえて、町としての最終見解をまとめたのが、「町としての考え方」欄と方向性になります。

(2) 評価と評価基準

次に「評価基準」と「評価」の考え方について述べていきます

「3段階評価の手法」（P8 を参照）に示す通り、「評価基準」は、妥当性、貢献度、有効性、効率性、活動量の 5 つがあります。

妥当性は、事業の目的や手段、対象などの事業内容が適切か否かを示す基準で、「妥当である」を 1 点、「一部妥当」を 0.5 点、「妥当でない」を 0 点とし、それぞれの評価値を 3、2、1 としています。妥当性は事業そのものをするかしないかを定めるものであることから、他の評価基準とは異なり厳しめに設定しています。

貢献度は、施策に対する当該事業の貢献具合を示すもので、同一施策内の事業との比較で位置付けるものです。貢献度合いは、「大きい」を 3 点、「普通」を 2 点、「小さい」を 1 点とし、それぞれの評価値を 3、2、1 としています。

有効性は、事業の具体的な結果がどれだけ目標に貢献しているかを指す、いわゆる成果の達成度合いのことを示します。目標に対する達成度合いは、「80%以上」を 3 点、「50%以上から 80%未満」を 2 点、「50%未満」を 1 点とし、それぞれの評価値を 3、2、1 としています。なお、妥当性、貢献度、有効性の詳細は表 1 を参照してください。

続いて、効率性と活動量について説明します。**効率性**は、「コスト削減の余地」で捉えることにしています。余地は、「全くない」を3点、「少しある」を2点、「大いにある」を1点とし、それぞれの評価値を3、2、1としています。コスト削減の余地を考える際の参考になるのが「事務事業評価シート」の直接事業費の推移です。なお、コストそのものを論じれば、携わる職員の人件費も考慮するのが正論なのですが、人件費を含めた場合の各事業の効率性の算定が難しいため、現時点では考慮されていません。

活動量は、事業実施の活動指標や活動回数が判定基準となるように、各事業の年間における実際に行った活動の量と設定しています。具体的に何をどれだけするかを決めていけば、自ずと明らかになるものです。実績値としての活動量は、「100%以上」を3点、「50%以上から100%未満」を2点、「50%未満」を1点とし、それぞれの評価値を3、2、1としています。

●表1

# 妥当性・貢献度・有効性			
1・・・不可(考え方や目標数値と結果を見て、評価できる要素が少ない)			
2・・・可(考え方や目標数値と結果を見て、評価できるものもある)			
3・・・良(考え方や目標数値と結果を見て、十分な評価ができる)			
※ 評価の基準			
評価基準	考 え 方	判 断 根 拠	3段階評価
妥 当 性	① 社会情勢の変化に対応しているか ② 住民ニーズに対応しているか ③ 事業手法は適切か ④ 受益者負担が適切か ⑤ 町が関与していくべきものか	事務事業の目的、対象者、手段の設定等が適切であったかを総合的に勘案	1～3
貢 献 度	① その事務事業の施策推進への貢献度 【章】【節】【項】の上位群への貢献度	同一施策内の事務事業との比較	1～3
有 効 性	① 計画に対する到達具合は ② 成果に対しどれだけ貢献したか	事業の具体的な結果 数値ほか	1～3

(3) 評価と方向性

以上の「評価基準」と「評価」の考え方によって設定ないし測定された数値を分かりやすく位置付けるのが、「3段階評価の手法」(P8)の下図です。この図は、縦軸を妥当性と有効性、横軸を効率性と活動量のそれぞれ数値をもとに当該事業の位置を、A～Dの四つに区分しています(P9参照)。Aはいずれの評価も高く、望ましい姿といえます。Bは、妥当性と有効性は高いが、効率性と活動量の両方か、あるいはいずれかの評価基準が低い状況です。CとDはいずれも、妥当性と有効性のいずれか、もしくは両方の評価基準が低い、Cは効率性と活動量が高い。言わずもだが、Dはいずれの評価基準も低く、事業そのものの継続あるいは事業の採択は期待できない状況に位置付けられます。なお、それぞれの評価が平均の場合には高い

評価にならないように設定されています。

上記の手続きを経て、事業の位置付けを確認した上で、最終的に事業の「方向性」を判断する基準が、9 ページの下表です。3段階評価で A と判断された場合、現状のまま事業を進めていく、いわゆる「継続」となります。B は効率的に事業を進めるための「改善」、C は妥当性がなければ「縮小」・「廃止」、もう一つ考えられるのが、貢献度が低い場合には改善となるケースも想定されます。D も C と同じように方向性が想定されます。なお、「方向性」には、これ以外に、表 2 に示す通り、継続、改善の他にも拡大や統合などもありますが、原則、「3段階評価の手法」と連動しています。

●表 2

◆「拡大」・・新たに事業を展開するなど、積極的に行政が関与していく（基本はA）
◆「継続」・・従来の事業の内容・方法のままで継続する（基本はA）
◆「改善」・・従来の事業の内容・方法の見直しを行う（基本はB）
◆「縮小」・・既存の事業を整理するなど行政関与を見直し減らしていく（基本はC・D）
◆「統合」・・関連・類似事業との整理統合を行う（評価欄の記述を参考）
◆「廃止」・・事業を廃止する。行政は関与しない（評価欄の記述を参考）
◆「終了」・・事業の目的を達成して、事業を終了する（評価欄の記述を参考）
◆「対象外」・評価の必要性が低いため、評価対象から外す。

以上のような「3段階の評価の内容」そして「決算評価をもとに、次年度以降の方向性を判断」に進展し、最終的に「事務事業評価シート」の「担当課年度評価」欄の評価値・方向性に結びついていきます。

(4) 評価体制と当該年度評価対象事業

この行政評価システムは、できるだけ客観的に評価できるように構築されていますが、あくまでも事業担当者・係・課において目標を設定し自己評価していることに変わりはありません。したがって、恣意的要素を除去する手立てとして、遊佐町行政評価推進委員会（委員長を副町長とする職員 15 名で構成。P.12 委員会名簿参照）を設置し、同委員会が行政評価システムの改善を含めて、この一連の作業の核となり、チェック機関として機能するように努めています。

また、平成 22 年度より、行政評価に関し、評価制度の透明性と評価内容の客観性を確保することを目的に、遊佐町行政評価外部評価委員会を設置し、町民の委員による外部評価を実施しております。その報告書については、第 2 部の「事務事業の外部評価報告書」により、報告いたします。

なお、平成 28 年度の外部評価（平成 27 年度分の評価実施）より、より深く時間をかけて事業内容について評価することを目的に、前述の総合発展計画の【章】（政策）により全事業を 2 つに分け、2 年で全事業を外部評価（1 年で半数ずつの事業を外部評価）する方法に変更しました。令和 6 年度は総合発展計画の第 1 章から第 3 章に該当する事業（55 事業）を評価しました。

以上の評価を踏まえて、最終的に「遊佐町行財政改革推進委員会」（課長会議）において、「町としての考え方」について確認をし、次年度に反映させる努力をしています。

6. 評価結果の公表と活用

担当課による評価を行い、さらに外部評価を実施した事務事業の評価結果については、「事務事業の決算評価報告書・事務事業の外部評価報告書」としてまとめ、町民に公表いたします。また、町議会及び振興審議会に報告され、令和 7 年度の振興計画策定及び予算編成に活用いたします。

7. その他

- ・ 事務事業評価シート記載例 (P. 7)
- ・ 事務事業評価（決算評価）3 段階評価の手法 (P. 8)
- ・ 3 段階の評価の内容 (P. 9)
- ・ 事業判定フロー図 (P. 10)
- ・ 遊佐町行政事務事業評価制度の体制図 (P. 11)

※ 次ページ以降を参照してください。

事務事業評価シート 記載例

令和5年度

			事業No.	732			
所管課・係名	企画課 企画係	予算科目	2 款 1 項 8 目				
事務事業名	遊佐高校魅力化地域連携支援事業	予算大事業名	遊佐高校魅力化地域連携支援事業				
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり《移住・定住》						
総合発展計画【節】	第2節 若者の定住促進						
総合発展計画【項】	第2項 未来を担う”ゆざっ子”のはばたき支援						
事業の概要	目的 遊佐高校に留学を希望する生徒の確保						
	内容 ①地域みらい留学フェスタへの参加。遊佐町見学体験プログラムの実施。 ②遊佐町自然体験型留学生用住宅の整備、運営。						
令和3年度分の外部評価の意見	他校にはない、遊佐高独自の魅力を効果的に発信し、寮などの対応を検討しつつ、生徒増につなげていただきたい。		方向性				
令和4年度分の町としての考え方	県外生徒の受入れ数の増加と比例し、住宅運営費を含めた事業費は増加するため、県外生徒だけに頼ることなく、地域内からの入学者確保に向けた高校魅力化の取組みを関係課と連携し、実施していく。		改善				
			方向性				
令和5年度に対応した主な活動	令和4年度同様、県外生募集のための説明会(オンライン6日、対面2日)、現地訪問プログラム(全3回:18組参加)を行い、7名の県外生の入学に至った。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	13,728	23,734	37,143	36,163			
令和5年度決算内訳(円)	生活相談員等謝礼:12,204,568円、魅力化事業委託料:7,931,427円、住居賃借料:2,896,000円、住宅修繕費:783,990円、参画負担金1,100,000円、その他192,337円、魅力化支援事業負担金:11,055,000円(帰省旅費助成、寮光熱水費、募集事業経費)						
成果指標設定の考え方	遊佐高校に入学した県外留学生生徒数						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度			
	7人	8人	7人	目標値			
				令和5年			
				5人			
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	2	3	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	県外から生徒を受入れることで、遊佐高校の存続のみならず、関係人口の創出拡大や若者の移住に繋がっており、有効性や貢献度は高い。近年は恒常的に年間7人程度の留学生を確保しており、地域みらい留学への参画校が増える中でも一定の成果を出している。						
課題(改善すべき点/方向性)	県外生の確保は順調に推移する一方、地元中学校の獲得に苦慮している。近年は中学校に対して県外出身の高校生が講話を行うなど相互の関わりしるを増やすための取組みを行っており、引き続き、教育課と連携し入学者の確保に努める。						
外部評価委員会の意見	引き続き計画的に進めていただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	引き続き県外留学生を確保するとともに、地元中学生の入学者確保に向けた取組みを、教育課と連携し実施していく。					方向性	
						継続	

○計画【章】【節】【項】
「遊佐町総合発展計画(第8次振興計画)」の目次「第3編基本計画」の章・節・項

○令和3年度分の外部評価意見
最後に外部評価を行った際の外部評価委員による指摘事項

○令和4年度町としての考え方
昨年度の本事業に対する町の方向性

○令和5年度に対応した主な活動
前回の外部評価委員の指摘や課題に対し、令和5年度に町が対応又は実施した内容

○評価基準・評価値・方向性・担当課年度評価及び課題
当該事業について、担当課で評価した内容を記載。令和5年度の評価の理由と、今後の課題について明記。

○外部評価・方向性
外部評価ヒアリングの内容から外部評価委員会がまとめた意見を記載。

○町としての考え方
外部評価の意見を受けて、今後の事業について町の考え方を記載。

事務事業評価(決算評価)3段階評価の手法

- 決算評価A～Dは各項目ごとの評価を、下記のルールに当てはめて算出しています。

縦軸 = 「妥当性」「有効性」

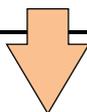
妥当性(事業内容が適切か)		施策への貢献度	有効性(成果達成度)) = 5点以上……AかB 4点以下……CかD			
評価		評価	評価				
3	「妥当である」……1点	3	「大きい」……3点				
2	「一部妥当である」……0.5点	2	「普通」……2点	3	目標値に対する実績値の割合	3	80%以上……3点
1	「妥当ではない」……0点	1	「小さい」……1点	2	50%～80%未満……2点	2	50%～80%未満……2点
				1	50%未満……1点	1	50%未満……1点

横軸 = 「効率性」「活動量」

コスト縮減の余地(効率性)		事業実施の活動量) = 5点以上……AかC 4点以下……BかD
評価		評価	
3	「全くない」……3点	3	
2	「少しはある」……2点	2	50%以上～100%未満……2点
1	「大いにある」……1点	1	50%未満……1点

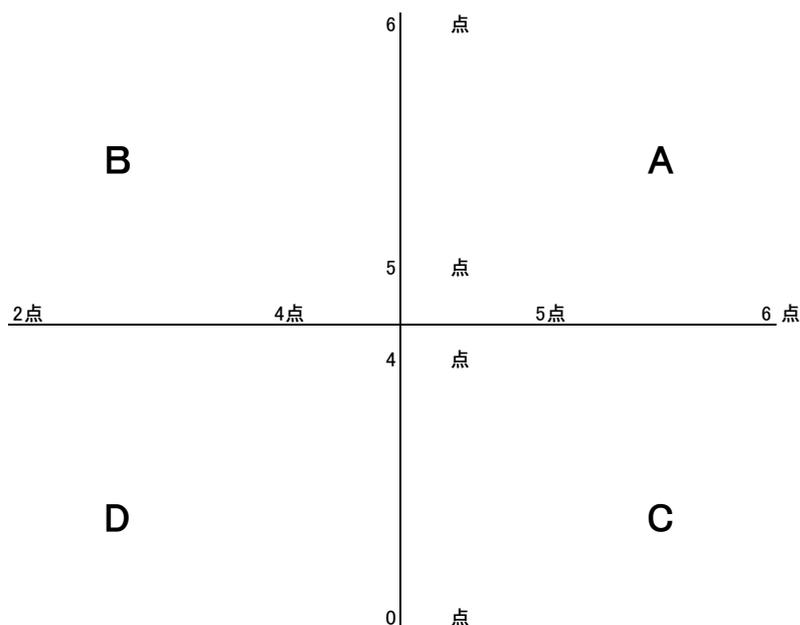
※横軸と縦軸が重複したところが評価値となる。

- ※ 有効性(成果達成度)の評価基準である目標が設定できない事務事業については、縦軸項目を参入していません。AかBの決算評価になります。



○縦軸: 公共関与の妥当性×(上位事業群への貢献度+成果達成度) ⇒ AかBまたはCかD

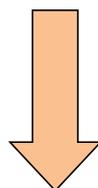
○横軸: コスト縮減の余地+活動量 ⇒ AかCまたはBかD



※それぞれの項目が、平均の場合、上位評価にならないようなくみ

評価の内容

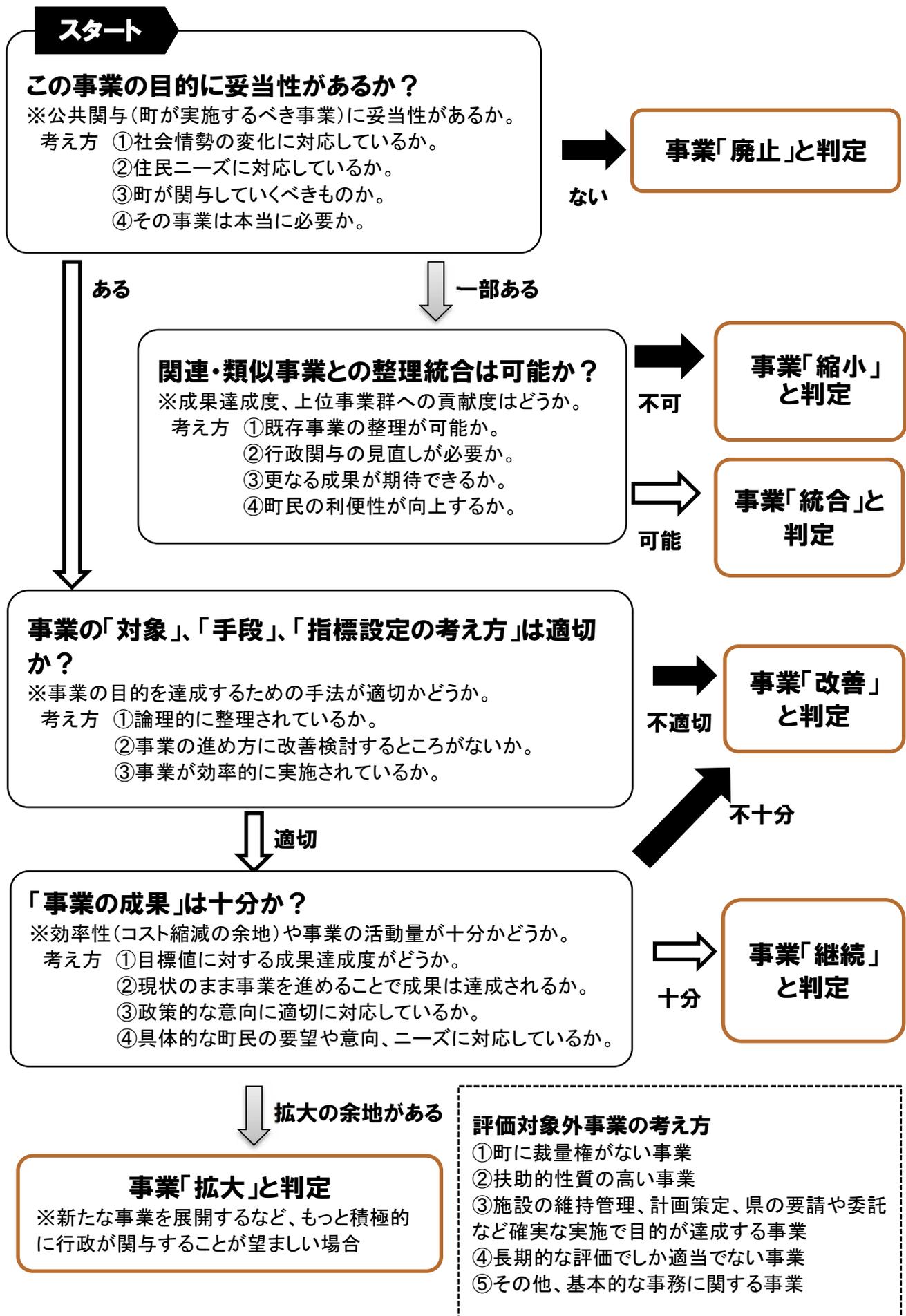
	縦軸の内容	横軸の内容	総合コメント
A	公共関与に妥当性があり、上位事業群への貢献度も高く、成果もある程度達成されている	効率的に事業が実施されており、活動量も高い	基本的に現状のまま事業を進めることが適当
B		効率的に事業が実施されていないか、活動量が足りない	事業の進め方の改善検討
C	公共関与の妥当性がないか、又は公共関与の妥当性はあるが、上位事業群への貢献度や成果達成度が低い	効率的に事業が実施されており、活動量も高い	事業規模・内容又は実施主体の見直しを検討
D		効率的に事業が実施されていないか、活動量が足りない	事業の抜本的な見直し、又は休廃止の検討



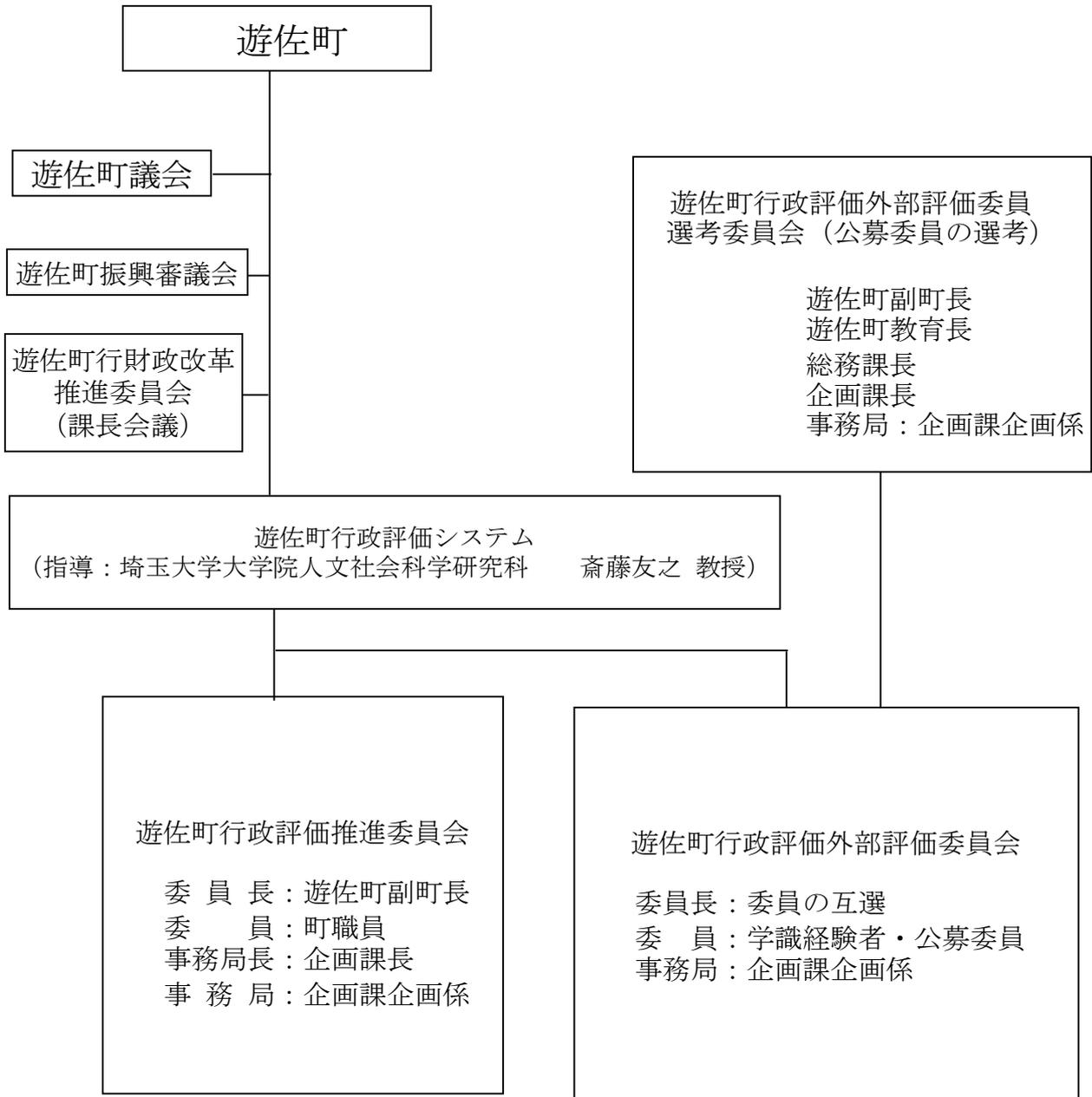
決算評価をもとに、次年度以降の方向性を判断

	総合コメント	今後の主な方向性
A	基本的に現状のまま事業を進めることが適当	現状のまま事業を進めていく…継続
B	事業の進め方の改善検討	効率的に事業を進めていく…改善
C	事業規模・内容又は実施主体の見直しを検討	公共関与の妥当性がなければ…縮小、廃止 成果達成度、上位事業群への貢献度を上げるために…改善
D	事業の抜本的な見直し、休廃止の検討	公共関与の妥当性がなければ…縮小、廃止 成果達成度、上位事業群への貢献度を上げるために…改善

事業判定フロー図



遊佐町行政事務事業評価制度 体制図



令和6年度 遊佐町行政評価推進委員会名簿

※委員は、各課より選出する。

※委員は、補佐・係長・主査・主任級を中心として選出する。（代理出席可能）

No.	所 管 課	職 名	氏 名	備 考
1	遊佐町	副町長	池田 与四也	委員長
2	総務課	主任	石垣 貴大	
3	総務課	主任	伊藤 歩美	
4	企画課	主任	友野 友	委員長代理
5	企画課	主任	佐藤 結	
6	産業課	主事	小松 広祈	
7	産業課	主事	堀 一智	
8	地域生活課	主任	菅原 望	
9	地域生活課	主任	佐藤 蓉子	
10	健康福祉課	主査保健師	後藤 友美	
11	健康福祉課	主任	伊藤 真吾	
12	健康福祉課	主任	阿曾 豪	
13	町民課	主任	小野寺 隆二	
14	町民課	主事	阿部 花苗	
15	教育課	主任	池田 有彦	

事務局

1	企画課	課長	渡会 和裕	事務局長
2	企画課	係長	佐藤 裕也	
3	企画課	主任	瀧口 めぐみ	
4	企画課	主任	高橋 愛	
5	企画課	主事	菅原 優輔	

※任期は、令和7年3月31日までとする。

遊佐町行政評価推進委員会設置要項

(設置)

第1条 本町における行政評価システムの作成、運用の推進を図り、もって町民に対する利便供与の改善向上を図るため、遊佐町行政評価推進委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 委員会は前条の目的を達成するために、次に掲げる事項について調査研究又は運営について各所管課における推進を図るものとする。

- (1) 遊佐町行政評価システム（以下「システム」と称する。）の作成に関する各課意見とりまとめに関すること。
- (2) システムの運用に関する各課の助言に関すること。
- (3) システムの運用を通じた事務事業の見直し作業に関する各課の助言に関すること。
- (4) その他システムの改善に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、委員長、委員長代理及び委員若干名をもって組織する。

2 委員長は副町長をもって充て、委員長代理は、委員長が予め指名するものとする。

3 委員は、町の職員のうちから、町長が命ずる。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員長は、委員会を統轄する。

2 委員長代理は、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が招集する。

2 委員長は、会議の議長となる。

(提案)

第6条 職員は、システムの改善に関する意見を委員会事務局に提出することができる。

(事務局)

第7条 委員会の所掌する事務を処理するため、委員会に事務局を置く。

2 事務局長は、企画課長をもって充てる。

3 事務局員は、企画課企画係に属する職員及び町長が特に命じた職員をもって充てる。

(その他)

第8条 この要項に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員長が定める。

附 則

(施行期日)

この要項は、平成17年2月10日から施行する。

附 則

この要項は、平成19年4月1日から施行する。

令和6年度内部評価結果一覧表(令和5年度事後評価) 総合発展計画 第4章～第6章
 (令和5年度外部評価対象のため、令和6年度は外部評価対象外)

第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適なくらしの創造《くらし・防災・環境》

第1節 良好な地域環境の保全

第1項 鳥海山の湧水と自然生態系の保全

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
4	1	1	森林整備ボランティア事業	産業課 水産林業係	A	継続	継続	森林保全に対する意識醸成の機会を絶やさぬよう、今後も継続して実施する。
4	1	1	お花島インストラクターによる高山植物の保護啓発活動事業	企画課 観光物産係	B	改善	改善	関係機関と連携した高山植物保護に努める。また、お花島インストラクターについては制度を見直す。

第2項 下水道の普及

該当事業なし

第3項 ごみの減量と環境美化の推進

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
4	1	3	動物相談指導事業	地域生活課 管理衛生係	A	継続	継続	猫の不妊去勢手術費補助金事業については、性質上、年々申請件数が少なくなっていくことが理想であるが、現時点では増加の一途を辿っている。ニーズはあるので事業は継続しつつ、適正飼養について住民だけではなく、各集落の区長・民生委員・環境推進員へ情報提供し、一層連携を図る。
4	1	3	八ツ面川流域環境整備事業	地域生活課 管理衛生係	A	継続	改善	人力での管理作業には限界があり、浚せつ作業等重機を使った管理も必要と考える。管理組合と協議・連携しつつ、国の補助事業を活用した計画的な整備・管理を行う。
4	1	3	エコすまいる・ゆぎ育成支援事業	地域生活課 管理衛生係	D	縮小	改善	令和5年5月にゼロカーボンシティ宣言を行い、これから更に重要な役割を担っていくものとする。そのため、構成員の枠組みを見直し、幅広い世代・属性から募りたい。また、推進委員間の交流や情報発信に力を入れ、活動自体を広く周知し、自発的に参加したいと思える仕組みを工夫していく。

4	1	3	生ごみ処理機器購入助成事業	地域生活課 管理衛生係	A	継続	継続	生ごみ処理に関する諸々の負担増については、ごみ処理を行う酒田地区広域行政組合管内でも課題となっている。そのため、広報やホームページで引き続き周知し、生ごみ処理機の購入が住民だけでなく地域にとって様々なメリットを生み出すことを働きかけていく。
---	---	---	---------------	----------------	---	----	----	--

第4項 再生可能エネルギーの効果的活用

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
4	1	4	環境・エネルギーに関する研修会開催事業	産業課 エネルギー政策推進室	A	継続	継続	2050年カーボンニュートラルに向けた取り組みは、町全体が待った無しで取り組むべき課題の一つであるので、様々な角度からの取り組みを進めていけるよう、情報提供やセミナー等の開催に努めていく。
4	1	4	再生可能エネルギー設備導入補助事業	産業課 エネルギー政策推進室	A	継続	拡大	再生可能エネルギー設備の普及拡大は、脱炭素社会の実現のために必要な施策であるので、国・県の補助事業の活用も含め、拡大していく。

第2節 安心してくらせる地域づくり

第1項 防災・克雪対策の推進

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
4	2	1	山岳救助訓練事業	総務課 危機管理係	A	継続	継続	鳥海山ガイド協会や吹浦山部の会員にも事業内容を周知し、装備品の整備と救助隊員の確保を図る。
4	2	1	集落内自主除雪支援事業	地域生活課 土木係	A	継続	改善	この事業を推進するため、協力体制を確保するための方策等を分析し、課題解決に努める。

第2項 消防・救急体制の充実

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
4	2	2	消防団活性化対策事業	総務課 危機管理係	A	継続	継続	地域防災力のかなめである、消防団員の確保は継続して実施する必要があるため、継続とした。
4	2	2	自主防災会活動推進事業	総務課 危機管理係	A	継続	継続	災害時の自主防災組織の役割は年々大きくなっているため、継続とした。

第3項 日常生活の安全性向上

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
4	2	3	防犯対策事業	総務課 危機管理係	A	継続	対象外	防犯対策事業は、防犯協会と実施している事業であり、事業の重複の解消が完了し、町の事業として防犯灯の維持管理が主たる事業となったため、令和7年度から対象外とする。
4	2	3	交通安全対策推進事業	総務課 危機管理係	B	改善	改善	交通安全施設整備事業の事業内容は精査したが、さらなるコスト削減が見込まれるため、改善とする。

第3節 快適で便利な遊佐ぐらしの推進

第1項 社会インフラ維持管理の適正化

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
4	3	1	濁水（赤水）対策事業	地域生活課 上水道係	A	継続	継続	水道水の安定供給を継続するため、計画的に管路の排泥作業及び配水池の清掃作業を実施する。
4	3	1	上水道使用料金収納率向上対策事業	地域生活課 上水道係	A	継続	継続	他の部署と連携し、情報共有を図りながら収納対策事業を進める。
4	3	1	下水道水洗化活動	地域生活課 下水道係	A	継続	継続	当町における新規整備事業は終わっているので今後の接続率は横ばい傾向と想定できる中で、今後は接続率向上にむけ補助制度のPR、接続依頼周知の回数を積極的に増やし啓蒙に努める。
4	3	1	受益者負担金未納者対策事業	地域生活課 下水道係	B	改善	改善	事業の財源確保と受益者負担の公平性という観点から、業務継続は必須と考える。今後の新規賦課対象者は公共樹設置者（負担金猶予解除者）に限定されるため、事務事業評価対象として継続していくか課題となる。
4	3	1	メイクアップロード推進事業	地域生活課 土木係	A	継続	改善	この事業は道路沿道の環境美化につながっている。課題の解決を検討し、この事業を推進する。

第2項 地域公共交通の活性化

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
4	3	2	町民駅委託事業	産業課 産業創造係	A	継続	継続	少子化の影響で学生の定期券購入が減っているが、観光目的の普通券は安定した購入数が認められる。公共交通のうち、近隣市町との幹線交通は現在、鉄道しかなく、生活面と観光面で欠かせない公共交通機関である。駅前の賑わい再生を図り、観光客と町民の交通手段確保を目的に今後も継続する。
4	3	2	デマンド交通システム事業	産業課 産業創造係	A	継続	継続	町民の足として、必要不可欠である一方で現行の仕組みが時代に合わなくなって来ている面がある。公共交通としてデマンドタクシーの課題を整理して、課題を解決しながら事業を継続する。

第3項 計画的な土地利用の推進

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
4	3	3	国土調査事業	町民課 課税係	A	継続	継続	令和5年4月に相続登記申請義務化の法律が施行され、必要な不動産の情報の信頼性が求められることから、法務局とも連携し、引き続き地図訂正等必要な作業を進めていく。

第5章 ふるさとを愛し、未来を拓く、いのち輝く町民の育成《教育・文化》

第1節 遊佐を愛し、未来にはばたく子どもの育成

第1項 地域全体で育む園・学校教育の充実

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
5	1	1	遊佐高校就学支援事業	教育課 総務学事係	C	縮小	継続	県外からの入学者確保については一定の成果が出ている。中学生と保護者が求めているものを確認しながら、新たな支援制度を検討していく。
5	1	1	遊佐高校就学支援事業 (通学支援)	教育課 総務学事係	A	継続	継続	公共交通機関の無い地域からの入学者確保のための重要なツールであり、遊佐高校入学のための判断材料(魅力)となっている。引続き周知を図っていく。

第2項 自己有用感に根ざす青少年の健全育成

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
5	1	2	少年町長・少年議会公選事業	教育課 社会教育係	A	継続	改善	認知度の上昇、興味関心を引くにはまず情報が入ってくることが肝要であるので、視覚だけでないアプローチを続けていく。チラシの配布に加え、校内放送や町のSNSを使用していくことで改善に取り組んでいく。
5	1	2	国際交流事業	企画課 企画係	A	継続	継続	引き続き中高生の派遣を行い、ハンガリーとの交流を続けていく。

第2節 心豊かにいのち輝く町民の育成

第1項 学びをつなぐ生涯学習の推進

該当事業なし

第2項 健康ではつらつとした生涯スポーツの推進

該当事業なし

第3項 芸術文化活動の振興

該当事業なし

第3節 歴史・文化遺産の継承と活用

第1項 歴史・伝統芸能の継承と活用

該当事業なし

第2項 文化財等の調査、保存と活用

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
5	3	2	ジオパーク推進事業	企画課 観光物産係	A	継続	継続	幼稚園から高校まで幅広い活動が展開できる下地ができあがっている。今後、ジオパーク推進協議会と連携し、社会教育と地域が結びついた取り組みに繋がるよう努める。

第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》

第1節 協働によるまちづくりの推進

第1項 町民の参画を促す機会の創出

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
6	1	1	ふるさと休日推進事業	企画課 観光物産係	B	改善	改善	酒田市と連携し、事業所への呼びかけに努める。

6	1	1	男女共同参画推進事業	企画課 企画係	A	継続	継続	引き続き、審議会・委員会等の改選期を把握し、積極的な女性登用を図る。
---	---	---	------------	------------	---	----	----	------------------------------------

第2項 町民活動を支える体制整備

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
6	1	2	ふるさとづくり寄附金事業	産業課 産業創造係	B	改善	改善	ふるさと納税による寄附金は町の財源となっており、関係人口の拡大にも大きな寄与が認められる。一方で事業の進め方は事務執行の効率化が課題としてある。寄附額の増加で経費と作業量も増加することから、人員体制と作業効率を見直す。
6	1	2	町民協働公園づくり支援事業	地域生活課 管理衛生係	D	縮小	改善	広報へ記事の掲載を行うとともに、各集落区長に対してパンフレット配布を行っているが申請につながらないため、各地区の総会等に職員が出向き、各集落で抱える公園に関する問題を確認するとともに制度の周知を図るなどする必要がある。
6	1	2	地域おこし協力隊推進事業	企画課 定住促進係	A	継続	継続	退任後の定住に向けて、情報共有を行いながらサポートを引き続き行っていく。また、移住者目線、若者目線での地域活性化を期待し、新規隊員の募集も計画的に進める。
6	1	2	きらきら遊佐マイタウン事業	企画課 企画係	A	継続	継続	ハード事業とソフト事業を切り離すなど、事業の見直しが必要な時期となっている。他自治体の事例を参考にしながら、自治会館のハード（新築・改修）に特化した制度の創設を検討する。
6	1	2	まちづくりセンター運営事業	企画課 企画係	A	継続	継続	「縮充」の考え方から、センター利用者・事業参加者の増加だけでなく、事業内容の満足度の向上も重視する時代となってきている。まち協役員や事務局向けの研修会や視察を継続的に実施し、各まち協の地域活動への支援を続けていく。

第3項 町外サポーターの開拓と連携推進

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
6	1	3	ふるさと町民、準町民制度	企画課 観光物産係	C	縮小	縮小	新規登録者の増加に繋がるように、他事業との連携に努める。

第2節 開かれた町政の推進

第1項 効果的な情報発信と行財政運営の透明化

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
6	2	1	ホームページ運営事業	総務課 ICT推進室	A	継続	継続	新CMSでも稼働率を維持する。
6	2	1	開かれた議会推進事業	議会事務局 議事係	B	改善	改善	各地区で例年開催する懇談会だけでは参加者が限られてくるため、議会が自ら出向くシステムを構築し、町民の意見を町政に反映する必要がある。
6	2	1	広報発行事業	企画課 企画係	A	継続	継続	令和6年度のリニューアルに向けて、引き続き広報委員との協議を進めていく。

第2項 効率的で質の高い行政サービスの提供

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
6	2	2	人事・給与事務事業	総務課 総務係	A	継続	継続	専門職（土木技師等）の確保が喫緊の課題であることから、年度初めの採用に拘らず、必要な人材を確保できるよう採用方法や採用時期、また地元高校・大学等への発信方法を工夫するなど、適正な職員数の確保に努める。
6	2	2	町職員研修事業	総務課 総務係	A	継続	継続	派遣研修計画に基づき、職員の職階・職務の適性に応じた研修会への派遣を行うとともに、職員ニーズや社会情勢にあった独自研修を実施し、職員の業務のスキルアップにつなげていく。
6	2	2	情報ネットワークセキュリティ向上対策事業	総務課 ICT推進室	A	継続	継続	標準化システムの導入でネットワークが大きく変わるが引き続きセキュリティの維持に努める。
6	2	2	基幹GIS推進事業	総務課 ICT推進室	A	継続	継続	GISをより有効に利用し業務の効率化につながる研修を行う。
6	2	2	デジタル人材育成促進事業	総務課 ICT推進室	D	縮小	継続	町を支えるデジタル人材を育成するために継続した事業とする。
6	2	2	休日窓口業務	町民課 町民係	A	継続	継続	住民サービスの向上を目指し、引き続き休日窓口を継続する。また、多くの町民に利用していただけるよう計画的な周知に努め、広報・ホームページに休日窓口と併せてコンビニ交付についても周知していく。

6	2	2	マイナンバーカード交付事務	町民課 町民係	A	継続	継続	今後も国の動向を把握しながら、マイナンバーカードによるコンビニ交付、健康保険証としての利用について引き続き周知を図り、夜間・休日窓口も継続して行い、利用・交付促進に努める。
6	2	2	事務事業評価システム推進事業	企画課 企画係	A	継続	継続	行政評価制度は継続実施するが、職員の負担を軽減するため、総合戦略の評価シートやヒアリングを行政評価に組み込んで実施できるように、統合に向けた検討を進める。

第3節 効率的な行政運営の推進

第1項 自主財源の確保

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
6	3	1	未申告者の適正な指導事業	町民課 課税係	A	継続	継続	適正・公平な課税のため、継続して未申告対象者への催告（電話連絡、個別訪問等）、事業所得の有無に関する調査等を行うとともに、関係課（滞納者については納税係）と連携するなどして、情報把握に努め、未申告者の減少に努める。
6	3	1	確定申告相談業務	町民課 課税係	A	継続	継続	完全予約制を導入し相談者の待ち時間が減少したことで利便性も向上している。予約受付時の混雑解消について、他市町を参考に検討する。
6	3	1	町税等収納率向上対策事業	町民課 納税係	A	継続	継続	引き続き計画的に滞納者への効果ある指導に努める。
6	3	1	町税等収納率向上対策事業 (滞納処分事業)	町民課 納税係	A	継続	継続	引き続き計画的に滞納者への効果ある指導に努める。

第2項 財源の効率的な活用

該当事業なし

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	204, 205, 595			
所管課・係名	産業課 産業創造係	予算科目	7 款 1 項 4 目				
事務事業名	立地企業支援事業	予算大事業名	企業開発推進事業				
総合発展計画【章】	第1章 地域の特性を活かした産業振興と多彩な働き場の構築《産業振興》						
総合発展計画【節】	第1節 雇用の安定と就労環境の充実						
総合発展計画【項】	第1項 新たな雇用を生み出す企業誘致の推進						
事業の概要	目的 企業誘致による雇用の拡大						
	内容 ①固定資産税相当額の100%を奨励金として助成(5年間) ②工業用水使用料金の20%を補助(5年間) ③中小企業設備投資支援(H27新設) ④用地取得価格の30%(限度額3,000万円)を助成						
令和3年度分の外部評価の意見	計画的に実施いただきたい。					方向性	
						継続	
令和4年度分の町としての考え方	企業立地支援施策を継続して、企業誘致を図る。中小企業の設備投資を支援し、雇用促進に繋がる施策を実施する。					方向性	
						継続	
令和5年度に対応した主な活動	企業立地は月光川蒸留所(株)のウイスキー蒸留所新設と竹本産業(株)のラード工場増設の2件があり、奨励金交付の対象とした。企業の設備投資は機械設備の増設と新規導入に対し、支援を行った。用地取得の助成はアスペック(株)(鉄鋼業)と竹本産業(株)の2件に交付した。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	6,392	16,903	44,424	34,380			
令和5年度決算内訳(円)	①固定資産税相当額の奨励金交付:7件 14,831,000円 ②上下水道管整備支援補助金 0件 ③中小企業設備投資支援:7件 4,959,000円 ④用地取得助成:2件 14,590,000円 ※工場稼働後に申請						
成果指標設定の考え方	固定資産税相当額減免対象企業の従業員数の増加数(前年度比)						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	7人	7人	10人	目標値	15人		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	2	3	3	3	3	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	新規工場建設と工場増設への助成制度と、中小企業助成制度が活用されていることから妥当性、貢献度、活動量を3とした。助成制度のため、コスト縮減の余地はなく効率性は3とした。雇用数は伸びているが、人手不足などの他の要因もあって成果指標に届いていないため有効性を2とした。						
課題(改善すべき点/方向性)	鳥海南工業団地の分譲率は68%で22.8haの未分譲地がある。令和6年度に鳥海南バイオマス発電所が稼働予定で、関連企業の進出が想定されるため、企業誘致を継続する。中小企業設備投資助成は件数と助成額が増加し、設備導入による省力化が強まっていることから支援施策を継続する。						
外部評価委員会の意見	雇用促進に繋がるよう、計画的に実施していただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	助成制度を活用して企業誘致を推進し、鳥海南工業団地の分譲と雇用促進を着実に進める。					方向性	
						継続	

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	206			
所管課・係名	産業課 産業創造係	予算科目	7 款 1 項 4 目				
事務事業名	ビジネスネットワーク事業	予算大事業名	企業開発一般経費				
総合発展計画【章】	第1章 地域の特性を活かした産業振興と多彩な働き場の構築《産業振興》						
総合発展計画【節】	第1節 雇用の安定と就労環境の充実						
総合発展計画【項】	第1項 新たな雇用を生み出す企業誘致の推進						
事業の概要	目的 企業の誘致						
	内容 ①ビジネスネットワーク協議会運営(企業訪問・企業交流・研修会等) ②ビジネス大使制度運営(企業訪問・企業交流) ③ビジネスネットワークの構築(企業誘致の情報収集・新規会員登録等)						
令和3年度分の外部評価の意見	企業説明会のあり方を工夫して、より一層教育機関との連携を図っていただきたい。			方向性			
				改善			
令和4年度分の町としての考え方	地元企業のネットワークを活かして、新卒者の地元就職の促進を図る。首都圏を中心に企業誘致活動を展開し、鳥海南工業団地を中心として新たな企業立地に繋げる。			方向性			
				継続			
令和5年度に対応した主な活動	企業訪問や県主催の企業立地セミナー(東京都、名古屋)に参加しての町のPRを実施した。企業採用情報発信サイト(ショウナイズカン)に掲載する際の助成支援を行った。若者を中心としたビジネス創出事業の構想形成を支援した。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	414	900	1,717	1,497			
令和5年度決算内訳(円)	会議費 29,000円、活動費 1,456,000円(企業交際費、企業来町時諸費、企業訪問・企業誘致イベント参加費等)、雑費 12,000円(振込手数料等)						
成果指標設定の考え方	協議会実施済事業数/協議会計画事業数						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	25% (2/8)	75% (6/8)	136% (15/11)	目標値	100%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	2	2	3	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	企業訪問と県の企業立地セミナー参加で企業誘致活動の継続に繋がり、既存企業との関係も友好に保たれているため、有効性と妥当性を3とした。町関連企業のネットワークは図られているが、新規企業の開拓が進んでいないため貢献度は2、事業効率化に余地があるため効率性は2とした。庄内の就職情報サイト掲載支援など行い、事業数は成果指標を上回ったため、活動量を3とした。						
課題(改善すべき点/方向性)	研修交流会が開催できなかった。会員同士がより交流できるような事業を行う。引き続き企業訪問とセミナーに参加し、企業誘致活動を行う。若者を中心としたビジネス創出事業で、会員企業の若手社員と大学生・高校生らの就職予備軍との交流の場を設ける。						
外部評価委員会の意見	ネットワークを活かし、より一層企業の誘致に努めていただきたい。			方向性			
				継続			
町としての考え方	計画的に事業を実施して企業のネットワークを活性化させ、企業誘致を着実に進める。			方向性			
				継続			

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	299			
所管課・係名	産業課 産業創造係	予算科目	7 款 1 項 2 目				
事務事業名	遊佐ブランド推進事業	予算大事業名	遊佐ブランド推進事業				
総合発展計画【章】	第1章 地域の特性を活かした産業振興と多彩な働き場の構築《産業振興》						
総合発展計画【節】	第2節 所得の向上と後継者育成						
総合発展計画【項】	第1項 農林水産業の育成						
事業の概要	目 的 遊佐ブランドの確立						
	内 容 ①:ECサイトでの町内製品の販売開始 ②:ECサイト及びSNSでの町内情報の発信 ③:各種物産展への出展・販売						
令和3年度分の外部評価の意見	引き続き計画的に続けていただきたい。			方向性			
				継続			
令和4年度分の町としての考え方	収益性のある特産品開発と販路拡大を目指し、インターネット活用の販路拡大に対応するため、協議会形式ではなく、遊佐町総合交流促進施設㈱の事業部へ事業を移管する。			方向性			
				改善			
令和5年度に対応した主な活動	①:ECサイトでの町内製品の販売開始 ②:ECサイト及びSNSでの町内情報の発信 ③:各種物産展への出展・販売						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	8,311	18,489	16,867	16,867			
令和5年度決算内訳(円)	業務委託料 16,867,000円						
成果指標設定の考え方	ECサイト+物産展+町内製品の販売企画による売上の上昇率(R5年度比)						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和6年		
	-	-	140% 3,441千円 /2,441千円	目標値	120%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	2	2	2	B	改善
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	当事業では町内産品等を遊佐ブランドとして付加価値を付け、町内産業の活性化と遊佐町のブランドイメージ向上を目的に事業を実施している。町内産品の販路拡大をこれまで行っていなかったECサイトを通じて行ったことから、事業の有効性、妥当性は高く、3と評価した。一方、ECサイトへの掲載方法などについては作業効率できる余地があるため、効率性を2と評価し今後改善を図っていく。						
課題(改善すべき点/方向性)	情報発信が課題。ECサイトでの販売を周知する必要がある。各種物産展等に出展した際には必ず当該ECサイトを周知して、物産展だけの購入にせずリピーターを作る取り組みが必要。						
外部評価委員会の意見	ネット販売の活用方法を工夫し、遊佐ブランドの周知と売上額の向上を図っていただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	ECサイト販売の情報発信とリピーター獲得の課題を克服し、売上を着実に伸ばして遊佐ブランドを推進する。					方向性	
						改善	

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	117			
所管課・係名	産業課 水産林業係	予算科目	6 款 3 項 1 目				
事務事業名	あわびの放流事業	予算大事業名	水産振興事業(補)				
総合発展計画【章】	第1章 地域の特性を活かした産業振興と多彩な働き場の構築《産業振興》						
総合発展計画【節】	第2節 所得の向上と後継者育成						
総合発展計画【項】	第1項 農林水産業の育成						
事業の概要	目的 減少傾向にある沿岸水産資源である、あわびの水揚げ量を維持・増大させる。						
	内容 ①あわびの稚貝放流 漁業者(受益者)による放流作業の実施 ②放流箇所 女鹿沿岸 2,000個、湯ノ田沿岸2,000個、吹浦沿岸2,300個 2年度補助事業費 249千円、町単独放流事業 8,000個						
令和3年度分の外部評価の意見	着実に進めていただきたい			方向性			
				継続			
令和4年度分の町としての考え方	この事業の効果が漁業収益につながることを期待し、継続して実施する。			方向性			
				継続			
令和5年度に対応した主な活動	町単独放流事業については、11,000個放流している。 放流方法について、一部潜水しながらの手法を加えた。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	560	560	561	560			
令和5年度決算内訳(円)	<ul style="list-style-type: none"> あわび稚貝種苗購入費 435,600円 あわび稚貝放流事業補助金 124,740円 						
成果指標設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 漁協への水揚重量の年度毎調査 4年度水揚量の0.76倍(R5/R4 県全体のあわびの水揚量割合)を目標値 						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	470kg	317kg	207kg	目標値	241kg		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	2	3	3	3	3	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	あわびの水揚量は年々減少し目標値に達していないが、放流を続けることで水揚げ量の増加に期待するものである。令和3年度から放流個数を増やしたり、今年度は新しい放流手法も取り入れたことなどから、来年度以降の水揚げに期待し漁業収益の向上に努める。						
課題(改善すべき点/方向性)	現行どおり維持しながら、放流方法、放流箇所等について山形県漁協等関係機関と協議しながら実施していく必要がある。						
外部評価委員会の意見	漁業収益の向上に努め、着実に進めていただきたい。			方向性			
				継続			
町としての考え方	水産資源の増大を図り、漁業収益の向上につながるよう放流事業を継続して実施する。			方向性			
				継続			

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	592			
所管課・係名	産業課 水産林業係	予算科目	6 款 3 項 1 目				
事務事業名	あわび陸上養殖事業	予算大事業名	アワビ養殖実証事業費				
総合発展計画【章】	第1章 地域の特性を活かした産業振興と多彩な働き場の構築《産業振興》						
総合発展計画【節】	第2節 所得の向上と後継者育成						
総合発展計画【項】	第1項 農林水産業の育成						
事業の概要	目的 アワビの養殖事業を実施し、新たな産業の創出と、特産品の開発を行う。						
	内容 漁村センター敷地内において生産されるアワビを販売し、新たな地場産業とするべく、安定的な生産出荷を行う。						
令和3年度分の外部評価の意見	民間業者への委託による飼育体制の確立、販路の拡大、またブランド等との連携による加工品の開発について努めていく。				方向性		
令和4年度分の町としての考え方					継続		
令和5年度に対応した主な活動	飼育・加工品開発について民間業者へ委託した。 頒布先を「ふらっと」とした。 町内の飲食店、小売店を対象に事業説明会を行った。 あわび養殖事業計画(3カ年計画)を策定した。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	6,298	6,403	12,841	11,344			
令和5年度決算内訳(円)	・消耗品940,649円・施設管理委託料6,702,840円・施設整備工事費8,855円 ・種苗購入費3,351,968円・備品購入費340,000円						
成果指標設定の考え方	出荷個数						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	664個	1,688個	1,070個	目標値	3,000個		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	2	3	3	2	3	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	出荷目標は下回ったものの、生産、販売体制が整いつつある。今後は町の特産品の一つとして、鳥海あわびのブランド化の強化を図ることで、地域経済への波及効果を期待するものであり、事業を継続していく。						
課題(改善すべき点/方向性)	開始から実証事業として実施してきたが、令和6年度からは養殖事業として民間委託業者、遊佐町総合交流促進施設株式会社と連携し取組んでいく。今後3カ年の事業計画に基づき、生産性の向上、販売体制の強化、鳥海あわびのブランド化の強化に努める。						
外部評価委員会の意見	委託業者との連携を図り、飼育体制の強化及び販路拡大に取り組んでいたきたい。				方向性		
					改善		
町としての考え方	養殖事業3カ年計画に基づき、協力機関と連携を密にしながら事業を継続する。「鳥海あわび」がもたらす地域経済への波及効果を検証しながら、今後の事業展開を見据える。				方向性		
					改善		

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	715			
所管課・係名	産業課 水産林業係	予算科目	- 款 - 項 - 目				
事務事業名	サケふ化場増設更新事業	予算大事業名	-				
総合発展計画【章】	第1章 地域の特性を活かした産業振興と多彩な働き場の構築《産業振興》						
総合発展計画【節】	第2節 所得の向上と後継者育成						
総合発展計画【項】	第1項 農林水産業の育成						
事業の概要	目的 サケふ化飼育施設整備、先進地飼育技術を導入し現状の放流数を維持する。						
	内容 サケふ化飼育施設整備、サケ試験飼育、先進地飼育技術を導入しながら月光川水系での放流数を維持していく。また、北海道オホーツク沿岸で捕獲される「めじか」の故郷としての、広域的な連携による地域特産品を開発する。						
令和3年度分の外部評価の意見				方向性			
令和4年度分の町としての考え方				補助事業を活用した施設整備を継続し、自主放流数の増加につなげる。めじか地域振興協議会を中心に遊佐町の鮭のPR活動を行いながら、将来のふ化事業の担い手育成と、加工品販売収入の増加に努める。	方向性		
令和5年度に対応した主な活動	<ul style="list-style-type: none"> ・鮭シンポジウムの開催(約70名参加) ・鮭の講話・料理講習会の開催(遊佐小学校3年生、遊佐地域づくり協議会) 						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	-	-	800	800			
令和5年度決算内訳(円)	めじか協議会負担金 800,000円						
成果指標設定の考え方	(上段)放流数 (H27～H31までの平均数から算出し、維持していく) (下段)回帰親サケ数 (回帰率0.6%≒新施設で放流したH28年度の回帰率を放流数に乗じて算出)						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	2,204万尾 61,348尾	2,443万尾 74,218尾	2,016万尾 41,696尾	目標値	2,180万尾 130,000尾		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	2	3	3	3	2	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	各組合の施設改修については、県補助事業の予算の都合上実施なし。全国的な鮭の不漁により、月光川水系においても対前年の約6割程度の遡上数となっており、目標数に達していない。しかしながら、その状況下で県内外へ大変貴重な卵の移出を続けており、ふ化放流事業に大きく貢献している。						
課題(改善すべき点/方向性)	各組合における施設の老朽化がすすんでおり、事業継続のための建物の更新、改修が必要となっている。今後も補助事業を活用しながら計画的な整備を進めていく。また新たなふ化放流事業に取り組むための、先進地の視察等についても検討していく。						
外部評価委員会の意見	先進地の事例も参考にしつつ、計画的に進めていただきたい。				方向性		
					継続		
町としての考え方	回帰率の増大を図るため、先進地飼育技術を取り入れた施設整備や放流効果向上を図るための情報収集に努める。めじか地域振興協議会を中心に鮭のPR活動を継続して展開していく。				方向性		
					継続		

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	591			
所管課・係名	産業課 農業振興係	予算科目	6 款 1 項 3 目				
事務事業名	チャレンジファーム事業	予算大事業名	遊佐町チャレンジファーム事業				
総合発展計画【章】	第1章 地域の特性を活かした産業振興と多彩な働き場の確保《産業振興》						
総合発展計画【節】	第2節 所得の向上と後継者育成						
総合発展計画【項】	第1項 農林水産業の育成						
事業の概要	目 的 新規就農者の確保						
	内 容 国県等の新規就農支援制度と併用可能な町独自支援制度①最大年額48万円を支給する生活支援、②空き家住宅を無償貸与又は最大年額48万円を支給する住宅支援						
令和3年度分の外部評価の意見	県外を含めた新規就農相談会等への参加を検討していただきたい。			方向性			
				改善			
令和4年度分の町としての考え方	県外からの新規就農希望者へ対応するため、定住促進係と連携しながらリモート相談を実施するほか都市圏での相談会への参加を検討する。			方向性			
				継続			
令和5年度に対応した主な活動	生活クラブ生協の夢都里路くらぶ(生協会員の就農支援)の中長期研修企画としてチャレンジファーム事業を登録し啓発を行った。住環境の向上のためチャレンジファームの屋根補修工事を実施した。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	2,180	1,378	5,315	3,714			
令和5年度決算内訳(円)	チャレンジハウス 光熱水費5,290円、設計監理委託料407,000円、整備委託料14,784円 賃借料480,000円、工事請負費1,867,250円 補助金940,000円(うち住宅支援460,000円、生活支援240,000円、受入支援240,000円)						
成果指標設定の考え方	事業を活用した新規就農者数						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	累計9人	累計12人	累計13人	目標値	累計11人		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	3	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	この事業は新規就農者確保のための事業であり、貢献度は高い。方向性としては、新規就農者の確保に向けて国等の事業との併用や町独自の支援策として取組みが必要であるため継続とした。						
課題(改善すべき点/方向性)	金銭補助のみならず、就農者のサポート体制の充実を図る。						
外部評価委員会の意見	就農者のサポート体制を充実させ、事業に取り組んでいただきたい。			方向性			
				継続			
町としての考え方	新規就農者や担い手確保のため、サポート体制の充実を図りながら事業に取り組む。			方向性			
				継続			

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	21			
所管課・係名	産業課 農業振興係	予算科目	6 款 1 項 3 目				
事務事業名	まるごと遊佐推進事業	予算大事業名	まるごと遊佐推進事業				
総合発展計画【章】	第1章 地域の特性を活かした産業振興と多彩な働き場の確保《産業振興》						
総合発展計画【節】	第2節 所得の向上と後継者育成						
総合発展計画【項】	第1項 農林水産業の育成						
事業の概要	目 的 遊佐産の農産物の販売額増加						
	内 容 東京の店舗での販売促進活動および店員などへの農産物の説明						
令和3年度分の外部評価の意見	遊佐の農産物の良さを関係機関と連絡を密にして取り組んでいただきたい。			方向性			
				継続			
令和4年度分の町としての考え方	JA、生活クラブと協議しながら次年度以降の首都圏での事業実施を検討する。			方向性			
				継続			
令和5年度に対応した主な活動	コロナ禍で数年開催を中断していたが、生活クラブデポー(小型店舗)において、計7会場でそれぞれ2日間「まるごと遊佐フェア」を開催。延べ14名の生産者が遊佐産品のアピールを行った。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	-	-	600	584			
令和5年度決算内訳(円)	事業負担金 584,500円(参加者旅費・日当や開催のための必要経費の一部を、町・JAで負担)						
成果指標設定の考え方	東京の店舗での販売額						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	-	-	試食などアピールが主であったため販売額無し	目標値	前年度販売額		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	3	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	この事業は物販を行うだけでなく、これまでの生活クラブと遊佐の提携の歴史、生産者との繋がり、地域を上げた取り組みを消費者に周知する事業であり、貢献度は高い。方向性としては、生産者自らが出張することについて支援する取り組みがであり継続とした。						
課題(改善すべき点/方向性)	引き続き消費者と生産者の交流が図れるよう支援を継続する。						
外部評価委員会の意見	引き続き、消費者と生産者の交流を図り、遊佐産農作物のアピールに取り組んでいただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	生産者自ら消費者に遊佐産農産物のアピールに取り組めるよう引き続き支援を行う。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	25			
所管課・係名	産業課 農業振興係	予算科目	6 款 1 項 3 目				
事務事業名	産地化推進作物転作促進支援事業	予算大業名	産地化推進作物転作促進支援事業				
総合発展計画【章】	第1章 地域の特性を活かした産業振興と多彩な働き場の確保《産業振興》						
総合発展計画【節】	第2節 所得の向上と後継者育成						
総合発展計画【項】	第1項 農林水産業の育成						
事業の概要	目 的 転作田で収入の増加を図る						
	内 容 転作作物へ助成金の交付						
令和3年度分の外部評価の意見	園芸作物への転作を進めていただきたい。			方向性			
				改善			
令和4年度分の町としての考え方	国の交付金の見直しの検討状況を注視し、水田畑地化の施策との連携を図りながら、収益性の高い園芸作物への転換に向けてより事業の見直しを検討していく。			方向性			
				継続			
令和5年度に対応した主な活動	令和4年度において4地区において基盤整備事業が行われており、基盤整備後の圃場には高収益作物の作付が求められている。先進地視察等へ参加する中で農業者へと園芸作物の作付について意見交換を行った。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	5,094	4,692	5,540	4,490			
令和5年度決算内訳(円)	農業者103人 対象水田407,770㎡ 補助金額4,490,940円 内訳 ねぎ2.1ha256,080円、パプリカ4.9ha591,360円、ウレイ7.6ha917,040円、アスパラガス6.0ha714,960円、トマト0.9ha88,000円、えだまめ5.8ha580,600円、エゴマ3.0ha301,700円、メロン5.4ha539,600円、かぼちゃ2.3ha232,300円、花き2.7ha269,300円						
成果指標設定の考え方	産地化推進作物作付面積						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	46.7ha	42.9ha	40.7ha	目標値	60ha		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	3	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	国が指定する作物以外で町独自に作物を指定し転作を推進する事業であり貢献度は高い。方向性としては、米の生産の目安を達成しつつ、農業者の収入を確保する取組みであるため継続とした。						
課題(改善すべき点/方向性)	引き続き産地交付金を活用しながら地域振興作物の積極的な拡大を図り、水田の有効利用と産地化を図る。						
外部評価委員会の意見	引き続き、地域振興作物の積極的な拡大を図っていただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	米の生産の目安を達成しつつ、町の地域振興作物の積極的な拡大を図る。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	216			
所管課・係名	企画課 観光物産係	予算科目	7 款 1 項 3 目				
事務事業名	観光イベント実施事業	予算大業名	観光誘客対策事業				
総合発展計画【章】	第1章 地域の特性を活かした産業振興と多彩な働き場の構築《産業振興》						
総合発展計画【節】	第3節 地域資源を活かした観光振興						
総合発展計画【項】	第1項 効果的な情報発信と誘客活動の強化						
事業の概要	目的 本町に来町する観光客を増やし、交流人口の拡大を図る。また、イベントの開催により町の賑いと活性化を図る。						
	内容 観光客の誘客対策と、各種イベントの開催						
令和3年度分の外部評価の意見	観光客のニーズに即した商品の提供と、安心・安全なイベント開催に向けて、関係機関との連携を図っていただきたい。			方向性			
				改善			
令和4年度分の町としての考え方	その時勢の観光客のニーズを的確に捉え、そのニーズに即した商品が提供できるよう関係機関と連携し誘客の促進に努める。			方向性			
				継続			
令和5年度に対応した主な活動	コロナの規制緩和を受け、イベント開催にあたっては昨年度に開催を見送った飲食を伴う屋内イベントも含めコロナ禍以前の形で実施した。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	25,446	29,700	9,412	9,105			
令和5年度決算内訳(円)	・事業協力謝礼:130,000円(イベント時ガイド等謝礼)、町内観光イベント負担金:7,975,000円、観光イベントサポーター業務委託:1,000,000円						
成果指標設定の考え方	観光客入込者数						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	219万3千人	254万2千人	267万8千人	目標値	400万人		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	2	3	3	2	3	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	コロナ禍でどの様にイベント等を開催するか検討を重ねてきたことが、結果イベントを見直す良ききっかけとなり、イベント開催の効率化に繋がっている。また、他自治体等で開催されるイベントにイベントサポーターを派遣することで町のPRと情報収集が図られた。						
課題(改善すべき点/方向性)	旅行意欲が高まっているこの機に、鳥海山をはじめ遊佐町の魅力的な観光資源を活用したイベント等を開催し、新規来訪客やリピーターの確保を図る必要がある。						
外部評価委員会の意見	目標値を見直し、誘客の促進に努めていただきたい。			方向性			
				改善			
町としての考え方	現状に即した目標値への見直し、誘客の促進に努める。			方向性			
				改善			

事務事業評価シート

令和5年度

事業No.	387
-------	-----

所管課・係名	企画課 観光物産係	予算科目	7 款 1 項 3 目				
事務事業名	観光情報提供事業	予算大事业名	観光事業一般経費				
総合発展計画【章】	第1章 地域の特性を活かした産業振興と多彩な働き場の構築《産業振興》						
総合発展計画【節】	第3節 地域資源を活かした観光振興						
総合発展計画【項】	第1項 効果的な情報発信と誘客活動の強化						
事業の概要	目 的 観光客の誘客対策						
	内 容 町の観光地・イベント等のPR						
令和3年度分の外部評価の意見	地域おこし協力隊、観光協会と更なる密接な連携を行い、観光客の増につながる、HPの作成に努めていただきたい。				方向性		
					改善		
令和4年度分の町としての考え方	観光協会への観光案内一元化がより有益になるように、町ホームページを整理する。				方向性		
					改善		
令和5年度に対応した主な活動	観光協会ホームページ掲載用に観光素材と最新の情報更新のため、観光地等の状況確認及び情報収集を実施し提供した。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	5,157	7,074	5,800	5,469			
令和5年度決算内訳(円)	・観光案内一元化委託料:3,000,000円、印刷製本費:1,481,360円、広告料:690,800円、手数料:297,055円(広告折込)						
成果指標設定の考え方	今年度アクセス件数/前年度アクセス件数						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	65%	86%	113%	目標値	100%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	2	3	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	イベント情報の充実と、観光地情報も随時更新していることから閲覧数が順調に伸びている。(R5閲覧数:185,740/R4閲覧数:164,189)						
課題(改善すべき点/方向性)	引き続き、最新の情報を発信するための素材・情報収集をしていく必要がある。また、ポスター掲示や折込み広告、遊佐町公式LINEを活用した情報発信と、観光協会による情報発信とが相乗効果を得られるような方向性を検討する必要がある。						
外部評価委員会の意見	観光案内の一元化など計画的に進めていただきたい。				方向性		
					継続		
町としての考え方	より利用しやすい観光案内となるように計画的に進める。				方向性		
					継続		

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	217			
所管課・係名	企画課 観光物産係	予算科目	7 款 1 項 3 目				
事務事業名	グリーン&ブルーツーリズム実施事業	予算大事業名	グリーン&ブルーツーリズム実践事業				
総合発展計画【章】	第1章 地域の特性を活かした産業振興と多彩な働き場の構築《産業振興》						
総合発展計画【節】	第3節 地域資源を活かした観光振興						
総合発展計画【項】	第2項 観光客受入れ体制の整備・拡充						
事業の概要	目 的 地域の売り上げ及び交流人口の増						
	内 容 魅力あるメニューと受入れ体制の確立						
令和3年度分の外部評価の意見	コロナ禍に対応できる、受け入れ体制の強化、および魅力あるメニューの作成を実施していただきたい。			方向性			
				改善			
令和4年度分の町としての考え方	観光協会で行っている鳥海山麓誘客促進事業の中で新しくメニュー化された、遊佐町教育旅行・合宿誘致促進事業の助成を利用した誘致を強化していく。			方向性			
				縮小			
令和5年度に対応した主な活動	鳥海山“おもしろ自然塾”を中心に、体験メニューの充実と、仙台圏の学校・旅行者への営業活動の実施						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	2,224	2,230	2,230	2,230			
令和5年度決算内訳(円)	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン&ブルーツーリズム体験事業委託料:2,150,000円 ・県グリーンツーリズム推進協議会負担金:80,000円 						
成果指標設定の考え方	参加者数						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	534人	290人	1,119人	目標値	2,300人		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	1	3	3	2	2	D	縮小
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	仙台圏など県外の学校における教育旅行は、数年先の旅程を組んでいることからコロナが未だに影響している。しかしながら「鳥海山“おもしろ自然塾”」の体験メニューは人気があり、近郊の学校からの利用は増加している。						
課題(改善すべき点/方向性)	教育旅行のニーズは増えていることから、数年先を見据え商品を提供し誘客を促進させる必要がある。民泊先の確保については常に課題となっており、民泊の在り方について関係機関と検討する必要がある。						
外部評価委員会の意見	遊佐町に不足している宿泊施設の確保に努めていただきたい。			方向性			
				改善			
町としての考え方	農泊の推進などにより宿泊施設の確保に努める。			方向性			
				改善			

事務事業評価シート

令和5年度

事業No.	597
-------	-----

所管課・係名	企画課 定住促進係	予算科目	2 款 1 項 8 目				
事務事業名	IJUターン就職支援事業	予算大事業名	定住促進対策事業				
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり《移住・定住》						
総合発展計画【節】	第1節 移住(帰郷・新規転入)希望者の定住促進						
総合発展計画【項】	第1項 遊佐が好きになる、住みたくなる情報の発信と回帰支援						
事業の概要	目 的 IUターン者の雇用促進						
	内 容 ①IUターン定着促進事業(就職面接会参加時の交通費の1/2助成) ②IUターン定着激励金(転入者で正規雇用の方へ一人10万円、家族上限額30万円)						
令和3年度分の外部評価の意見	対象ケースの拡充に努めていただきたい。				方向性		
					改善		
令和4年度分の町としての考え方	IUターンのための就職説明会へ参加する際の交通費補助の対象を見直し、引き続き制度の周知を図る。				方向性		
					改善		
令和5年度に対応した主な活動	町広報による周知の他、町に転入届を提出する際に町民係で配布するパンフ等資料の中に、制度のチラシを同封し周知に努めた。また、移住相談フェアなどでも説明しながら周知を図った。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	100	400	880	0			
令和5年度決算内訳(円)	両事業とも利用実績なし						
成果指標設定の考え方	IUターン就職者数(IJUターン定着激励金交付者数)						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	1人(1件)	4人(2件)	0人(0件)	目標値	6人/年		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	1	3	2	3	2	C	縮小
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	問い合わせはあったが、IUターン定着促進事業(就職面接会参加時の交通費補助)並びにIUターン定着激励金(正規雇用時の激励金)については該当者がいなかった。						
課題(改善すべき点/方向性)	IUターン定着促進事業については、山形県でも同様の助成と空港利用促進助成があることから、見直しを行う必要がある。						
外部評価委員会の意見	各種助成金の見直しを行っていただきたい。				方向性		
					改善		
町としての考え方	移住相談フェアで制度の周知を図りながら、定住促進としての効果やニーズを踏まえ、また県の動向も考慮しながら見直しを行う。				方向性		
					改善		

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	586			
所管課・係名	企画課 定住促進係	予算科目	2 款 1 項 8 目				
事務事業名	若者ふるさと回帰推進事業	予算大事業名	若者ふるさと回帰推進事業				
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり《移住・定住》						
総合発展計画【節】	第1節 移住(帰郷・新規転入)希望者の定住促進						
総合発展計画【項】	第1項 遊佐が好きになる、住みたくなる情報の発信と回帰支援						
事業の概要	目的 地元に戻ってきたい若者への情報発信						
	内容 遊佐町出身の関東圏在住者を対象に、定期的な首都圏での交流イベント開催、LINE等による情報発信を行い新たなIJUターン促進につなげる。						
令和3年度分の外部評価の意見	町内出身者への事業の周知方法を工夫していただきたい。			方向性			
				改善			
令和4年度分の町としての考え方	遊佐町とのつながりを保ち、将来移住を検討する際に本町を選んでもらうきっかけづくりのため事業継続が必要。町公式LINE等を活用し、町外在住の本町出身者に情報を発信しながら、引き続き交流会等のイベント開催を行う。			方向性			
				改善			
令和5年度に対応した主な活動	コロナ禍により2019年を最後に中止していたが、運営体制と会場設定等を見直し、新たな内容で再開した。町HPのほか、イベントチラシを全戸配布し、町民を通じて首都圏で暮らす家族への周知を図った。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	17	12	360	254			
令和5年度決算内訳(円)	事業協力謝礼:253,682円						
成果指標設定の考え方	イベント等参加者の年度毎のUターン者数						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	1人	0人	0人	目標値	1人		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	2	3	3	3	3	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	目標値に達しなかったため有効性を2としたが、長期的な視点で効果を期待する事業であるため、再開した今回の内容をベースに、首都圏で暮らす遊佐町出身者に対する町の情報発信とUターン支援制度を周知、関係人口の創出と遊佐町とのつながりを保ちながら、将来移住を検討する際のきっかけ作りとして引き続き継続する。						
課題(改善すべき点/方向性)	在京出身者への事業周知を効率的に行うため、遊人会の次の世代の協力体制づくりやイベント参加者とのネットワークづくりを行う必要がある。						
外部評価委員会の意見	将来的にも大切な事業、着実に進めていただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	遊佐町とのつながりを保ち、将来移住を検討する際に本町を選んでもらうきっかけづくりとして、引き続き事業を実施する。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	468			
所管課・係名	企画課 定住促進係	予算科目	2 款 1 項 8 目				
事務事業名	移住・交流推進事業	予算大事業名	移住・交流推進事業				
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり《移住・定住》						
総合発展計画【節】	第1節 移住(帰郷・新規転入)希望者の定住促進						
総合発展計画【項】	第1項 遊佐が好きになる、住みたくなる情報の発信と回帰支援						
事業の概要	目的 移住希望者に適切な情報を提供する						
	内容 移住定住の促進を図るため、移住相談総合案内窓口の一元化、移住・交流に関する情報収集や体験ツアー等を実施する ・移住者相談、移住交流体験ツアーの実施 ・HP管理等、移住定住パンフレット作成等						
令和3年度分の外部評価の意見	YouTube、SNS等の魅せ方について工夫していただきたい。			方向性			
				改善			
令和4年度分の町としての考え方	対面での移住相談や移住体験ツアーへの参加は、移住につながる可能性が高いため引き続き積極的に実施していく。また、それらにつなげるための情報発信としてIJUターナーポータルサイトを中心に魅力的でわかりやすい情報を掲載していく。			方向性			
				継続			
令和5年度に対応した主な活動	首都圏での移住フェア等での移住相談や、遊佐町に実際来ていただき暮らしを体験するお試し移住体験等で、移住検討者へPRを行った。ツアーに関しては、移住セミナーと連携して周知を行い、セミナー参加者からの申し込みもあり、2019年以來の開催となった。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	4,313	6,820	10,860	8,660			
令和5年度決算内訳(円)	旅費:495,920円、消耗品費:3,536円、委託料:5,193,527円、負担金・補助金:2,967,398円						
成果指標設定の考え方	移住相談(相談して移住した)世帯数						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	53% 8世帯	80% 12世帯	66% 10世帯	目標値	15世帯		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	2	3	3	3	2	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	移住希望者から遊佐町を発見してもらい、興味関心層へアプローチするためには情報発信が重要であるため、妥当性・貢献度は高いが、目標値に達しなかったため有効性を2とした。IJUポータルサイト以外にも県や民間サイト、SNSを活用しながら、効果的な情報発信を継続する。						
課題(改善すべき点/方向性)	首都圏のみならず、隣県・県内在住者やUターン希望者、町内在住者にも新たに整備した駅前のお試し住宅についての情報発信を積極的に行いながら、委託先であるNPO法人いなか暮らし遊佐応援団と連携し、SNSの活用とIJUポータルサイトの充実に取り組む必要がある。						
外部評価委員会の意見	効果的な情報発信に努めていただきたい。				方向性		
					継続		
町としての考え方	対面での移住相談やお試し移住体験の利用者は、移住につながる可能性が高いため、IJUターナーポータルサイトを中心に魅力的でわかりやすい情報発信を行う。				方向性		
					継続		

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	325			
所管課・係名	企画課 定住促進係	予算科目	2 款 1 項 8 目				
事務事業名	移住交流推進支援事業	予算大業名	移住・交流推進事業				
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり《移住・定住》						
総合発展計画【節】	第1節 移住(帰郷・新規転入)希望者の定住促進						
総合発展計画【項】	第1項 遊佐が好きになる、住みたくなる情報の発信と回帰支援						
事業の概要	目的 移住希望者の増加						
	内容 移住交流推進のための調査研究、情報収集、情報発信、体験活動の事業を行う地域団体等に予算の範囲内で補助金を交付(令和2年度:800千円)。JA、産業課と連携して食の安全、水と空気のおいしさなど遊佐町の魅力の発信と、遊佐町を知ってもらうための農業体験と生活体験を実施し、町民との交流を行う。						
令和3年度分の外部評価の意見	関係機関と連携を更に深め、積極的に進めていただきたい。			方向性			
				継続			
令和4年度分の町としての考え方	移住促進と遊佐町での暮らしを情報発信するため、首都圏で開催する夢都里路くらぶフェアへの参加再開と、事業の周知を行い新規団体の事業活用を促しながら、関係団体と連携を密にして進める。			方向性			
				改善			
令和5年度に対応した主な活動	昨年に引き続き生活クラブ組合員との庄内交流会、援農ツアーの受け入れを行うJAへの補助を行った。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	0	800	800	800			
令和5年度決算内訳(円)	移住・交流推進支援事業負担金:800,000円						
成果指標設定の考え方	援農参加者の延べ人数						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	-	115人	141人	目標値	170人		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	2	3	3	3	3	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	生活クラブ組合員が援農ツアーや交流会を通じ、遊佐町に実際に訪れ、興味を持ってもらい将来的に移住先として検討するきっかけとして効果的であり、妥当性・貢献度は高い。再開から2年経過したが、目標値に達しなかったため有効性を2とした。						
課題(改善すべき点/方向性)	今後も生活クラブ連合・JAと連携しながら進める必要がある。						
外部評価委員会の意見	関係団体と連携し、進めていただきたい。			方向性			
				継続			
町としての考え方	実際に遊佐町を訪れてもらうことで、町の魅力に気づいてもらい、移住先として検討するきっかけづくりにもなることから、今後も関係団体と連携を密にして進める。			方向性			
				継続			

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	618			
所管課・係名	企画課 定住促進係	予算科目	2 款 1 項 8 目				
事務事業名	空き家再生地域おこし事業	予算大事業名	空き家再生地域おこし事業				
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり《移住・定住》						
総合発展計画【節】	第1節 移住(帰郷・新規転入)希望者の定住促進						
総合発展計画【項】	第2項 空き家の活用による移住者支援とアフターケアの充実						
事業の概要	目 的 空き家の再生と移住起業者の定住化						
	内 容 移住希望者及び移住者が、空き家バンク登録物件を活用して起業する場合のリフォーム費用・設備費用の補助を行う。 【対象物件】①空き家バンク物件 ②改修等に着手していない物件 【補助率】リフォーム費用・設備費用の2/3 上限170万円						
令和3年度分の外部評価の意見	事業の更なる周知を図り、積極的に取り組んでいただきたい。			方向性			
				継続			
令和4年度分の町としての考え方	広報・町HPだけでなく、移住相談や産業部局での起業相談等の機会を利用し事業周知を図りながら取り組む。			方向性			
				継続			
令和5年度に対応した主な活動	町HP、移住相談、空き家バンク利用者登録相談時など、機会を捉えて事業の更なる周知を図った。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	0	770	1,700	0			
令和5年度決算内訳(円)	利用実績なし						
成果指標設定の考え方	補助活用店舗/移住起業者						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	0棟/0組	1棟/1組	0棟/0組	目標値	1棟/1組		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	2	3	3	2	2	B	改善
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	移住希望者の幅広い起業希望に合わせた物件を選択することが可能となると同時に、空き家流通促進に繋がることから、妥当性・貢献度は高い。目標値に達しなかったため有効性は2とした。移住希望者の起業支援や空き家の流通促進のためこの事業を継続する。						
課題(改善すべき点/方向性)	町広報やHP、移住相談、空き家バンク利用者登録相談時など、機会を捉えて事業の更なる周知を図る必要がある。						
外部評価委員会の意見	メディアを活用した周知方法を検討していただきたい。			方向性			
				改善			
町としての考え方	広報・町HPのほか、SNS等を活用しながら周知に努め、また起業に繋がる空き家バンク物件の登録促進も併せて行う。			方向性			
				改善			

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	617			
所管課・係名	企画課 定住促進係	予算科目	2 款 1 項 8 目				
事務事業名	定住住宅空き家活用事業	予算大業名	空き家利活用促進事業				
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり《移住・定住》						
総合発展計画【節】	第1節 移住(帰郷・新規転入)希望者の定住促進						
総合発展計画【項】	第2項 空き家の活用による移住者支援とアフターケアの充実						
事業の概要	目 的 空き家を整備し、移住希望者への貸出を行う						
	内 容 空き家を町が10年間借上げしている11棟を移住希望者へ賃貸住宅として貸与するほか、お試し住宅の管理及び空き家バンクの利活用に対する各種補助を行う。 ・移住促進空き家利活用支援補助、空き家利活用促進事業補助、お試し住宅利用促進事業補助						
令和3年度分の外部評価の意見	新しい制度内容の周知・PRを徹底していただきたい。			方向性			
				改善			
令和4年度分の町としての考え方	広報・町HPだけでなく、空き家相談や集落支援員の集落巡回等の機会を捉え事業周知を行い、町内の賃貸住宅確保に取り組む。			方向性			
				改善			
令和5年度に対応した主な活動	借上げ期間満了した物件が1棟あり、期間満了後の所有者と利用者の調整を行ったほか、10棟あるリフォーム空き家の維持管理を行った。補助制度については、定住支援ガイドを作成し、移住相談対応のほか全戸配布を行い周知を図った。また、空き家バンクへの登録を促すためのチラシを作成し制度周知を行った。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	0	1,776	4,204	2,325			
令和5年度決算内訳(円)	事業協力謝礼:30,000円、折込手数料:21,470円、お試し住宅管理委託料:214,440円、空き家活用住宅賃借料:322,900円、IJU負担金:1,256,000円、家財道具処分補助:334,000円、お試し住宅利用促進事業補助:146,000円						
成果指標設定の考え方	空き家バンク登録物件の成約数(R4目標値修正)						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	-	4軒	5軒	目標値	10軒		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	2	3	3	3	3	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	この事業は移住希望者に紹介するための物件確保を図る観点から、妥当性・貢献度は高い。目標値に達しなかったため有効性は2とした。リフォーム空き家の維持管理と空き家バンクや補助制度の周知は、賃貸物件を確保するためこの事業を継続する。						
課題(改善すべき点/方向性)	移住希望者は売買よりも賃貸を希望するケースが多いが、賃貸物件が不足しているため、空き家バンクを利用する際の支援制度周知を図り、集落支援員と連携しながら、賃貸物件を確保する必要がある。						
外部評価委員会の意見	引き続き着実に進めていただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	引き続きリフォーム空き家の維持管理を行いながら、移住相談において居住物件を紹介できるよう、空き家バンク登録物件を確保しながら、各支援制度の周知を図る。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	498			
所管課・係名	企画課 定住促進係	予算科目	2 款 1 項 8 目				
事務事業名	集落支援員活用事業	予算大事業名	集落支援員活用事業				
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり《移住・定住》						
総合発展計画【節】	第1節 移住(帰郷・新規転入)希望者の定住促進						
総合発展計画【項】	第2項 空き家の活用による移住者支援とアフターケアの充実						
事業の概要	目 的 移住希望者の定住促進						
	内 容 ①集落巡回、空き家の点検及び課題整理②移住希望者の空き家への現地案内③移住希望者と集落との話し合いの調整④空き家調査⑤空き家データベースの作成⑥移住定住者へのアフターフォロー						
令和3年度分の外部評価の意見	関係機関との連携を深め、事業を進めていただきたい。			方向性			
				継続			
令和4年度分の町としての考え方	移住希望者・移住者のニーズに対応できるよう、町・集落・関係団体と連携して取り組む。			方向性			
				継続			
令和5年度に対応した主な活動	全集落、各まちづくりセンターなどを訪問し移住者対応と空き家バンク制度の説明、空き家情報提供の呼びかけを行った。新たな移住者がいる場合は、区長や近所へのあいさつ回り時に同行、更に定期的な移住者訪問により移住後のフォローや相談対応を行った。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	2,880	2,880	2,880	2,880			
令和5年度決算内訳(円)	集落支援員活動謝礼:2,880,000円						
成果指標設定の考え方	空き家を活用した利用者数						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	8組17人(42.5%)	12組21人(52.5%)	10組19人(47.5%)	目標値	40人		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	2	3	3	3	3	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	移住希望者への空き家案内のほか、集落との情報交換、関係構築を図りながら空き家状況の把握や情報提供を呼びかけや、また移住後のフォローなど、移住者の相談役としても非常に重要な役割を担っていることから、妥当性・貢献度は高いが、目標値に達しなかったため有効性は2とした。						
課題(改善すべき点/方向性)	地域に積極的に入り込みながら、空き家情報の把握や移住者のフォローなどを行っており、今後も継続的な活動が必要である。						
外部評価委員会の意見	現状に沿い計画的に進めていただきたい。			方向性			
				継続			
町としての考え方	移住希望者・移住者の支援を行いながら、引き続き集落・関係団体と連携して取り組んでいく。			方向性			
				継続			

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	613			
所管課・係名	企画課 定住促進係	予算科目	2 款 1 項 8 目				
事務事業名	移住世帯上水道使用料助成事業	予算大事業名	定住促進対策事業				
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり《移住・定住》						
総合発展計画【節】	第1節 移住(帰郷・新規転入)希望者の定住促進						
総合発展計画【項】	第2項 空き家の活用による移住者支援とアフターケアの充実						
事業の概要	目的 若者移住世帯の新生活を支援						
	内容 <ul style="list-style-type: none"> ・40歳未満の者1人以上が属する若者移住世帯移に対し、移住してから3年間、上水道使用料が庄内地域の最低料金自治体並みの水道料金になるよう、使用料補助金の交付を行う。 ・補助金額=(月使用料〇m³-基本量10m³)×@140 						
令和3年度分の外部評価の意見	今後も計画的に事業を進めていただきたい。			方向性			
				継続			
令和4年度分の町としての考え方	移住相談等の機会に特徴ある取り組みとしてPRを行いながら、庁内他係と連携して計画的に取り組む。			方向性			
				継続			
令和5年度に対応した主な活動	移住相談対応のほか、転入手続きの際に窓口職員から該当者に制度案内してもらうなど、制度の周知と手続き漏れがないように努めた。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	47	43	389	89			
令和5年度決算内訳(円)	移住世帯上水道使用料補助金交付事業補助金:89,320円						
成果指標設定の考え方	若者移住世帯の補助活用世帯数						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和6年		
	31	37	39	目標値	24世帯		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	2	2	2	B	改善
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	近年の物価高騰の影響や、子どもの成長とともに増額する家計負担の軽減に繋がることから、利用者からも好評を得ている。						
課題(改善すべき点/方向性)	補助要件として、一定量以上使用した分に対しての補助であり、申請しても該当にならないケースも多く、支援を受けているか実感できない世帯もあることから、要件を見直す必要がある。						
外部評価委員会の意見	幅広く支援が受けられるように要件を見直していただきたい。						方向性
							改善
町としての考え方	申請者から幅広く移住支援を実感していただけるよう要件を見直す。						方向性
							改善

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	398			
所管課・係名	企画課 定住促進係	予算科目	2 款 1 項 8 目				
事務事業名	結婚支援推進事業	予算大業名	結婚支援推進事業				
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり《移住・定住》						
総合発展計画【節】	第2節 若者の定住促進						
総合発展計画【項】	第1項 同級会などへの積極的な支援と若者対象事業の充実						
事業の概要	目的 結婚を希望する独身男女に出会いの機会を提供						
	内容 <ul style="list-style-type: none"> ○結婚支援推進員、結婚支援推進員成婚謝礼事業 ・推進員の仲介による成婚時に報奨金10万円支給。 ○若者交流事業 ・職員実行委員会による婚活イベントの開催、他団体等の婚活イベント支援 						
令和3年度分の外部評価の意見	マッチングアプリの導入等、交流手法を工夫していただきたい。			方向性			
				改善			
令和4年度分の町としての考え方	近隣自治体の動向を踏まえ、結婚支援推進員制度を整理する。若者交流事業については、実行委員会に民間委員から入っていただき、これまでの実績等を踏まえ内容を検討する。			方向性			
				改善			
令和5年度に対応した主な活動	山形県とやまがたハッピーサポートセンターと連携して、庄内地区合同結婚相談会を開催し、結婚推進員による結婚相談を実施した。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	673	38	789	49			
令和5年度決算内訳(円)	事業協力謝礼:10,000円、食糧費:1,628円、負担金及び交付金:37,000円						
成果指標設定の考え方	若者交流事業参加者数(R4年度より成果指標変更)						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	-	0名	0名	目標値	10名		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	1	2	2	3	2	C	縮小
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	やまがたハッピーサポートセンターが運営する「Aiナビやまがた」への登録補助を行い、また結婚推進員による合同相談会への参加は今後も引き続き実施する。また、若者交流事業実行委員会の見直しを検討したものの、開催まで至らなかった。						
課題(改善すべき点/方向性)	若者交流実行委員会はコロナの影響で中止していたが、若者の結婚観や出会いの機会が変化している現状を踏まえ、若者にどのような支援が必要なのか協議検討し整理する必要がある。						
外部評価委員会の意見	現状を踏まえての進め方を検討していただきたい。						方向性
							縮小
町としての考え方	今の若者の課題やニーズに合った支援方法を整理しながら、町だけでなく庄内管内などの広域的な対応も含めてどのような支援が必要なのか検討する。						方向性
							改善

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	732
所管課・係名	企画課 企画係	予算科目	2 款 1 項 8 目	
事務事業名	遊佐高校魅力化地域連携支援事業	予算大業名	遊佐高校魅力化地域連携支援事業	
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり《移住・定住》			
総合発展計画【節】	第2節 若者の定住促進			
総合発展計画【項】	第2項 未来を担う”ゆざっ子”のはばたき支援			
事業の概要	目 的 遊佐高校に留学を希望する生徒の確保			
	内 容 ①地域みらい留学フェスタへの参加。遊佐町見学体験プログラムの実施。 ②遊佐町自然体験型留学生用住宅の整備、運営。			
令和3年度分の外部評価の意見	他校にはない、遊佐高独自の魅力を効果的に発信し、寮などの対応を検討しつつ、生徒増につなげていただきたい。			方向性
				改善
令和4年度分の町としての考え方	県外生徒の受入れ数の増加と比例し、住宅運営費を含めた事業費は増加するため、県外生徒だけに頼ることなく、地域内からの入学者確保に向けた高校魅力化の取組みを関係課と連携し、実施していく。			方向性
				改善
令和5年度に対応した主な活動	令和4年度同様、県外生募集のための説明会(オンライン6日、対面2日)、現地訪問プログラム(全3回:18組参加)を行い、7名の県外生の入学に至った。			
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額
	13,728	23,734	37,143	36,163
令和5年度決算内訳(円)	生活相談員等謝礼:12,204,568円、魅力化事業委託料:7,931,427円、住居賃借料:2,896,000円、住宅修繕費:783,990円、参画負担金1,100,000円、その他192,337円、魅力化支援事業負担金:11,055,000円(帰省旅費助成、寮光熱水費、募集事業経費)			
成果指標設定の考え方	遊佐高校に入学した県外留學生徒数			
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度
	7人	8人	7人	目標値
	評価欄			
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性
	3	3	3	2
	活動量	評価値	方向性	
	3	A	継続	
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	県外から生徒を受入れることで、遊佐高校の存続のみならず、関係人口の創出拡大や若者の移住に繋がっており、有効性や貢献度は高い。近年は恒常的に年間7人程度の留學生を確保しており、地域みらい留学への参画校が増える中でも一定の成果を出している。			
課題(改善すべき点/方向性)	県外生の確保は順調に推移する一方、地元中学校の獲得に苦慮している。近年は中学校に対して県外出身の高校生が講話を行うなど相互の関わりしるを増やすための取組みを行っており、引き続き、教育課と連携し入学者の確保に努める。			
外部評価委員会の意見	引き続き計画的に進めていただきたい。			方向性
				継続
町としての考え方	引き続き県外留學生を確保するとともに、地元中学生の入学者確保に向けた取組みを、教育課と連携し実施していく。			方向性
				継続

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	580-1			
所管課・係名	教育課 総務学事係	予算科目	10 款 1 項 2 目				
事務事業名	遊佐高校就学支援事業(キャリアアップ支援)	予算大事業名	事務局費一般経費				
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり《移住・定住》						
総合発展計画【節】	第2節 若者の定住促進						
総合発展計画【項】	第2項 未来を担う“ゆざっ子”のはばたき支援						
事業の概要	目的 地元定住を望む遊佐高校の生徒の地元就職をめざした人材育成と定住化を図る。						
	内容 ①3年生の普通自動車運転免許取得支援(1人あたり6万円) ②介護ヘルパー資格研修受講者への支援金給付(一人あたり2万5千円)						
令和3年度分の外部評価の意見	今後も計画的に事業を進めていただきたい。			方向性			
				継続			
令和4年度分の町としての考え方	引続き事業周知を図っていくとともに近隣市町の中学校へ遊佐高校の魅力化事業としてPRする。新たなニーズがあれば柔軟に対応していく。			方向性			
				継続			
令和5年度に対応した主な活動	入学者へに対してはオリエンテーション等で利用案内のチラシを配布し、事業内容について説明して利用を促した。また、近隣市町村の中学校へ訪問し事業PRを行うなど、効果的な周知に努めた。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	1,085	1,445	1,560	865			
令和5年度決算内訳(円)	①3年生18名のうち14名から申請があり交付。60,000円×14名=840,000円 ②1名から申請があり交付。25,000円×1名=25,000円						
成果指標設定の考え方	卒業後も定住を決めた生徒数						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	11人	12人	9人	目標値	10人		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	2	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	事業周知の効果もあり、キャリアアップ支援の利用率は高い状態で維持できている。卒業後に地元(県内)に就職した生徒の割合も高い傾向が続いており、一定の効果が認められるため継続していく。介護ヘルパー資格研修については受講者が減少傾向であるため、他の資格取得についても対象とすることを検討していく。						
課題(改善すべき点/方向性)	引き続き効果的な事業周知のために、遊佐高校と連携し近隣市町の中学校へのPRに努める。また、利用率の向上のために在学生へ呼びかけ申請を促していく。						
外部評価委員会の意見	計画的に事業を進めていただきたい。			方向性			
				継続			
町としての考え方	これまでの支援事業は継続しつつ、生徒の要望に応じた新たな資格取得に向けた支援事業を高校と協議していく。			方向性			
				継続			

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	261			
所管課・係名	地域生活課 管理衛生係	予算科目	8 款 5 項 2 目				
事務事業名	若者住宅建設支援(取得支援)事業	予算大事業名	定住促進住宅建設整備支援金交付事業				
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり《移住・定住》						
総合発展計画【節】	第2節 若者の定住促進						
総合発展計画【項】	第2項 未来を担う“ゆざっ子”のはばたき支援						
事業の概要	目的 住宅の取得による若者の定住促進						
	内容 ①パンフレット、広報等での制度周知 ②申請の受理・審査、現地確認、補助金の交付						
令和3年度分の外部評価の意見	今後も計画的に進めていただきたい。			方向性			
				継続			
令和4年度分の町としての考え方	町内外に対しての広報活動を行うとともに定住促進係との連携を強化し、予算額に注視しながら事業に取り組んでいく。			方向性			
				継続			
令和5年度に対応した主な活動	前年度に引き続き、予算残額に注視しながら事業に取り組んだ。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	2,830	4,500	30,000 (建設・賃貸含む)	6,540			
令和5年度決算内訳(円)	交付決定:8件、6,540,000円 内、町外又は40歳未満:8件(移住世帯4件)、6,540,000円						
成果指標設定の考え方	補助金交付申請件数						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	7件	8件	8件	目標値	10件		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	2	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	申請8件すべてが町外又は40歳未満の世帯であり、移住定住に繋がっていると判断し継続とした。						
課題(改善すべき点/方向性)	空き家バンクの利用者のほか、一般の不動産会社を経由しての売買にも制度を活用する人が増えていることから、町外・県外の利用者にも広く周知が行えるように、広報やHPの掲載による制度の周知に努めるとともに、定住促進係とも情報共有を行い、連携して事業に取り組んでいく。						
外部評価委員会の意見	町内外に今後も広報活動を幅広く行い、計画的に進めていただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	町内外に広くPRするとともに、定住促進係との支援事業の連携を強化し、より効果的な事業になるように取り組んでいく。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	261-2			
所管課・係名	地域生活課 管理衛生係	予算科目	8 款 5 項 2 目				
事務事業名	若者住宅建設支援(建設支援)事業	予算大事業名	定住促進住宅建設整備支援金交付事業				
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり《移住・定住》						
総合発展計画【節】	第2節 若者の定住促進						
総合発展計画【項】	第2項 未来を担う“ゆざっ子”のはばたき支援						
事業の概要	目 的 住宅の新築による若者の定住促進						
	内 容 ①パンフレット、広報等での制度周知 ②申請の受理・審査、工事完了検査、補助金の交付						
令和3年度分の外部評価の意見	今後も計画的に進めていただきたい。						方向性
							継続
令和4年度分の町としての考え方	需要の高い事業であるため、広報活動を引き続き行い、定住に繋がるように事業に取り組む。						方向性
							継続
令和5年度に対応した主な活動	前年度に引き続き、予算残額に注視しながら事業に取り組んだ。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	27,200	33,400	30,000 (建設・賃貸含む)	21,600			
令和5年度決算内訳(円)	交付決定:16件、21,600,000円 内、町外又は40歳未満:1,400,000円×12件(移住世帯4件)=16,800,000円 町内で40歳以上:1,200,000円×4件=4,800,000円						
成果指標設定の考え方	補助金交付申請件数						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	20件	25件	16件	目標値	20件		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	2	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	この事業を推進することで若年層の移住定住が図られるため、有効性、妥当性は高く、継続して実施する。						
課題(改善すべき点/方向性)	町外・県外へ向けた広報やHPの掲載で制度の周知を行い、事業に取り組んでいく。						
外部評価委員会の意見	引き続き計画的に進めていただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	定住化に効果的な事業であるため、町内・外に事業の周知・PRを行い定住化を図っていく。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	261-3			
所管課・係名	地域生活課 管理衛生係	予算科目	8 款 5 項 2 目				
事務事業名	若者住宅建設支援(賃貸住宅建設)事業	予算大事業名	定住促進住宅建設整備支援金交付事業				
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり《移住・定住》						
総合発展計画【節】	第2節 若者の定住促進						
総合発展計画【項】	第2項 未来を担う“ゆざっ子”のはばたき支援						
事業の概要	目 的 民間賃貸住宅の新築による若者の定住促進						
	内 容 ①パンフレット、広報等での制度周知 ②申請の受理・審査、工事完了検査、補助金の交付						
令和3年度分の外部評価の意見	賃貸住宅の不足解消につなげるため、実態を踏まえて民間業者当へ補助制度について周知を図っていただきたい。			方向性			
				改善			
令和4年度分の町としての考え方	不足戸数の解消に繋がるように民間事業者への周知を続けていく。			方向性			
				改善			
令和5年度に対応した主な活動	民間事業者へ制度の周知を行うため、町のHPや広報にて事業周知に取り組んだ。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	-	-	30,000 (建設・賃貸含む)	0			
令和5年度決算内訳(円)	なし						
成果指標設定の考え方	新築賃貸住宅居住可能総戸数						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	0	0	0	目標値	2戸		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	2	3	1	B	改善
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	物価高騰の影響により中々建設に繋がっていないが、今年度も相談は受けており、有効性・妥当性は高い。一方で活動量が少ないのは補助金交付の手続きがなかったためであり、全体的な方向性としては改善とした。						
課題(改善すべき点/方向性)	事業の有効性・妥当性は高いため、この補助制度について、引き続き民間事業者等へ周知を図っていく。						
外部評価委員会の意見	引き続き民間事業者への制度の周知に努めていただきたい。			方向性			
				改善			
町としての考え方	町内での賃貸住宅不足への対応のため、引き続き民間事業者へ周知を行う。			方向性			
				改善			

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	674			
所管課・係名	企画課 定住促進係	予算科目	2 款 1 項 8 目				
事務事業名	舞鶴地区若者定住促進事業	予算大事業名	舞鶴地区若者定住促進事業				
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり《移住・定住》						
総合発展計画【節】	第2節 若者の定住促進						
総合発展計画【項】	第3項 家族の絆づくり支援						
事業の概要	目 的 若者世帯の定住						
	内 容 ①民間活力賃貸住宅建設促進事業 舞鶴地内若者定住住宅地を借り受け賃貸住宅を建設・経営する事業者を公募型プロポーザル方式で募集する。建設時の地盤改良工事費用、賃貸住宅建設費用の補助を行う。 ②舞鶴地内若者定住住宅地分譲						
令和3年度分の外部評価の意見	計画的に事業を進めていただきたい。			方向性			
				継続			
令和4年度分の町としての考え方	全体的に不足している賃貸住宅の確保、定住に向けた宅地分譲により、若者移住者の受入れ、若者転出の防止を図る必要があることから、宅地造成予定の町有地、残存民有地の取得も含め活用方法を再検討する。			方向性			
				改善			
令和5年度に対応した主な活動	民間活力賃貸住宅建設促進事業の区画は、市況状況を踏まえ用途変更に向けて見直しを行った。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	8,235	9,394	497	496			
令和5年度決算内訳(円)	測量設計委託料:496,100円						
成果指標設定の考え方	賃貸住宅・分譲後建築の住宅に入居した若者世帯数						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	7世帯(+3世帯)	18世帯(+11世帯)	20世帯(+2世帯)	目標値	23世帯		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	2	3	3	3	3	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	この事業は、宅地造成した町有地を有効活用し、若者の移住の受け入れ、若者転出の防止を図るうえで必要な取り組みであるため、妥当性・貢献度は高いが、目標値に達しなかったため有効性は2とした。						
課題(改善すべき点/方向性)	既に分譲した区画との整合性、公平性を図りながら、適切に実施していく。						
外部評価委員会の意見	適切に事業を進めていただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	定住に向けた宅地分譲により、若者移住者の受入れ、若者転出の防止を図る。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	366			
所管課・係名	地域生活課 管理衛生係	予算科目	8 款 5 項 2 目				
事務事業名	木造住宅耐震診断事業	予算大事業名	木造住宅耐震診断補助事業				
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり《移住・定住》						
総合発展計画【節】	第2節 若者の定住促進						
総合発展計画【項】	第3項 家族の絆づくり支援						
事業の概要	目 的 大規模震災(震度6~7)に向けて自らの住宅の地震強度を周知し、補強を促す						
	内 容 耐震診断希望者へ木造住宅耐震診断士を派遣、調査費用に対する助成						
令和3年度分の外部評価の意見	町民への周知を図り、今後も計画的に事業を進めていただきたい。			方向性			
				継続			
令和4年度分の町としての考え方	耐震診断の必要性の周知を毎年度行い、事業に繋げていく。			方向性			
				改善			
令和5年度に対応した主な活動	広報に2度掲載し、令和5年度における木造住宅耐震診断の申請は1件であった。R4年度に引き続き、住宅耐震化緊急促進アクションプログラムに則り、展示会を開催し、来場者へのアンケートを実施した。アンケート結果については令和6年5月の広報で公表した。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	300	0	300	100			
令和5年度決算内訳(円)	1件 100,000円						
成果指標設定の考え方	診断実施件数						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	3件	0件	1件	目標値	3件		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	2	3	2	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	令和2年度現在、遊佐町の耐震化率は65.2%で、令和12年度までに耐震化率90%を目標としており、耐震化率向上に有効な事業であるため継続と判断した。						
課題(改善すべき点/方向性)	町民の耐震に対する意識を高め、利用に繋げるために、引き続き広報の掲載による制度と必要性の周知を図っていく。						
外部評価委員会の意見	耐震診断対象家屋の実態把握に努め、計画的に診断を進めていただきたい。			方向性			
				改善			
町としての考え方	引き続き町民の住宅への耐震意識を高めるとともに、事業の周知を図り計画的に実施していく。			方向性			
				改善			

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	263			
所管課・係名	地域生活課 管理衛生係	予算科目	8 款 5 項 2 目				
事務事業名	持家住宅リフォーム支援金事業	予算大事業名	持家住宅リフォーム支援金交付事業				
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり《移住・定住》						
総合発展計画【節】	第2節 若者の定住促進						
総合発展計画【項】	第3項 家族の絆づくり支援						
事業の概要	目 的 個人住宅の改良による景気浮揚						
	内 容 ①パンフレット、広報等での制度周知 ②申請の受理・審査、工事完了検査 ③補助金の支払い						
令和3年度分の外部評価の意見	予算に注視しながら、今後も計画的に事業を進めていただきたい。			方向性			
				継続			
令和4年度分の町としての考え方	需要の高い事業のため、予算残額に注視しながら事業に取り組んでいく。			方向性			
				継続			
令和5年度に対応した主な活動	交付決定(申請)件数は前年度を下回ったものの、昨今の物価高騰の影響により工事費が高騰していることから、1件あたりの交付金額は前年度と比較して高額となっている。当初予算で対応しきれなかった分を補正予算を組んで対応したものの、予算不足により早急に締め切ることとなった。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	49,370	49,630	50,000 当初40,000+補正10,000	49,800			
令和5年度決算内訳(円)	交付決定:176件、49,800,000円 内、下水道接続工事:20件、4,740,000円、特殊工事14件、7,250,000円、 特殊工事+世帯要件 4件、2,260,000円						
成果指標設定の考え方	予算執行額 / 当初予算額						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	164%	124%	125%	目標値	100%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	3	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	元請業者を町内業者と限定していることもあり、町内の産業振興に繋がる事業と判断し方向性を継続とした。						
課題(改善すべき点/方向性)	需要が高く毎年度執行率の高い事業であるため、引き続き予算に注視しながら執行していくとともに、令和6年度より省エネリフォーム改修補助金の拡充をしたため令和5年度との相違点について周知を図っていく。						
外部評価委員会の意見	予算に注視しながら、今後も計画的に事業を進めていただきたい。			方向性			
				継続			
町としての考え方	今後も町民と業者のニーズに答えられるように、需要に応じた予算を確保しつつ、事業にあたっていく。			方向性			
				継続			

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	262			
所管課・係名	地域生活課 管理衛生係	予算科目	8 款 5 項 2 目				
事務事業名	住宅リフォーム資金利子補給事業	予算大事業名	住宅リフォーム資金利子補給事業				
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり《移住・定住》						
総合発展計画【節】	第2節 若者の定住促進						
総合発展計画【項】	第3項 家族の絆づくり支援						
事業の概要	目 的 個人住宅の改良による景気浮揚						
	内 容 ①パンフレット、広報等での制度周知 ②申請の受理・審査、工事完了検査 ③貸付金融機関への利子支払い						
令和3年度分の外部評価の意見	事業内容の周知を行い、制度の利用拡大に努めていただきたい。			方向性			
				改善			
令和4年度分の町としての考え方	リフォーム支援金事業との性質の違いを周知し、利用に繋がるように事業に取り組む。			方向性			
				改善			
令和5年度に対応した主な活動	利用者増加に繋げるため、町のHPや広報において事業周知に取り組んだ。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	217	199	400	159			
令和5年度決算内訳(円)	荘内銀行:12件、80,563円(上半期:6件、45,329円/下半期:6件、35,234円) きらやか銀行遊佐支店:4件、10,781円(上半期:2件、7,242円/下半期:2件、3,539円) 庄内みどり農協:5件、68,150円(上半期:2件、23,538円/下半期:3件、44,612円)						
成果指標設定の考え方	予算執行額/当初予算額						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	31%	39%	40%	目標値	100%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	2	3	3	3	2	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	持家住宅リフォーム支援金制度では対象とならない工事や町外業者でも利用できることから継続と判断した。						
課題(改善すべき点/方向性)	持家住宅リフォーム支援金制度との違いを明確にし、利用のしやすさを周知していく。						
外部評価委員会の意見	町民への周知を図り、今後も計画的に事業を進めていただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	持家住宅リフォーム支援金との特性の違いを周知し、計画的に事業を進めていく。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	175			
所管課・係名	健康福祉課 健康支援係	予算科目	4 款 1 項 1 目				
事務事業名	幼児むし歯予防事業	予算大事業名	乳幼児虫歯予防事業				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第1節 子育てしやすい環境の整備						
総合発展計画【項】	第1項 出産・子育てにおける切れ目のない環境整備						
事業の概要	目 的 幼児期のう歯罹患予防						
	内 容 ①歯科健診 ②フッ素塗布(希望者) ③保健指導(面接指導)						
令和3年度分の外部評価の意見	計画的に進めていただきたい。			方向性			
				継続			
令和4年度分の町としての考え方	歯科指導プログラムに沿って、子どもの成長に合わせた媒体を工夫しながら計画的に事業を実施していく。			方向性			
				継続			
令和5年度に対応した主な活動	1歳児、2歳児、1歳6か月、2歳、2歳6ヶ月、3歳まで歯科健診とフッ素塗布を実施した。歯科健診と同時に子どもの成長に合わせ、歌・絵本・寸劇などでむし歯予防の健康教室を実施した。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	276	295	354	329			
令和5年度決算内訳(円)	歯科医師雇上委託料246,000円、通信運搬費15,900円、消耗品費58,857円他						
成果指標設定の考え方	3歳児健診でう歯のある児の人数/受診者数(3歳児) 過去3年間の平均値(H30～R2)						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	6.2%	5.5%	6.1%	目標値	6.7%以下		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	2	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	歯が数本生えた頃の生後9～10ヶ月頃から歯科衛生士が子どもの歯の手入れ方法などを伝えたり、歯科健診の時には歯科衛生士が個別の相談に応じており、親子ともにむし歯予防に取り組むことができている。目標を達成しており有効性、妥当性、貢献度は高い。						
課題(改善すべき点/方向性)	効果が出ており、これまで通り計画的に実施していく。						
外部評価委員会の意見	引き続き計画的に実施していただきたい。			方向性			
				継続			
町としての考え方	今後も歯科指導プログラムに沿って、計画的に事業を実施する。			方向性			
				継続			

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	408			
所管課・係名	健康福祉課 子育て支援係	予算科目	3 款 2 項 3 目				
事務事業名	放課後児童クラブ事業	予算大事業名	放課後児童クラブ事業				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第1節 子育てしやすい環境の整備						
総合発展計画【項】	第2項 充実した子育て支援体制の推進						
事業の概要	目 的 放課後児童クラブ利用による共働き世帯等の子育てと仕事の両立						
	内 容 ①放課後児童クラブ(蕨岡・遊佐)への補助金交付・実績報告書の提出 ②放課後児童クラブ運営への助言、指導 ③放課後児童対策未実施学区児童への交通支援 ④放課後児童クラブの利用を希望する児童を受入れられるクラブの整備						
令和3年度分の外部評価の意見	関係機関と連携し、事業を着実に進めていただきたい。			方向性			
				継続			
令和4年度分の町としての考え方	2つの放課後児童クラブ、保護者、放課後子ども教室、関係各課との情報共有や意見交換を継続し、児童が安心して放課後を過ごすことのできる環境の整備を進めていく。			方向性			
				継続			
令和5年度に対応した主な活動	あそぶ塾の旧蕨岡小学校移転に際して、内装や空調、トイレなど施設の改修工事を実施した。また、小学校が統合したため、バスの運用について教育委員会と連絡調整し対応した。また、放課後児童クラブを利用する保護者を対象として、利用料補助の範囲を拡大し、全ての利用者に対し補助できるようにした。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	23,366	24,223	53,882	49,575			
令和5年度決算内訳(円)	子どもセンター分館改修工事費他:23,386,320円 放課後児童健全育成等補助金: ぽっかぽかクラブ:11,551,600円 あそぶ塾:13,418,999円、 放課後児童クラブ利用料補助金:1,217,150円						
成果指標設定の考え方	放課後児童クラブの受入者人数/希望人数						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	100%	100%	100%	目標値	100%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	2	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	放課後児童クラブの申し込み状況や、運営委員会等で保護者のニーズから判断し、今後も環境を整備しつつ継続するよう考える。						
課題(改善すべき点/方向性)	遊佐地区にあるぽっかぽかクラブは登録児童数が定員を超え短期利用の児童数が多くなっている。教育委員会所管の放課後子ども教室と協力しながら今後の方向性について協議推進していく必要がある。						
外部評価委員会の意見	希望する児童を受入れできるような体制整備を図っていただきたい。						方向性
							改善
町としての考え方	放課後児童対策推進会議により放課後子ども教室の受け皿の具体的な整備を推進するとともに、将来的な児童数の推移を考慮し計画的な制度設計を進める。						方向性
							改善

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	63			
所管課・係名	健康福祉課 子育て支援係	予算科目	3 款 2 項 3 目				
事務事業名	子育て支援センターの運営事業	予算大事業名	地域子育て支援センター事業				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第1節 子育てしやすい環境の整備						
総合発展計画【項】	第2項 充実した子育て支援体制の推進						
事業の概要	目 的 子育てに対する親の身体的負担及び不安の解消						
	内 容 <ul style="list-style-type: none"> ・子育てに対する身体的負担及び不安の解消を図るため、あそびの広場、らくらく育児講座、0-2歳児対象の身体計測 発達相談等の事業実施 ・子育てサークル(すくすくクラブ)育成、一時預かり等の実施 						
令和3年度分の外部評価の意見	子育てしやすい環境の整備に向けて、引き続き推進していただきたい。			方向性			
				継続			
令和4年度分の町としての考え方	新型コロナウイルス感染症の感染防止策をとりつつ、近隣施設の状況や利用者の意向をふまえつつ、土日の事業開催について検討を続ける。			方向性			
				継続			
令和5年度に対応した主な活動	通年で実施しているあそびの広場をはじめ、定期的実施される子育て支援各事業や、相談業務等の実施により、幼児期における育児に対する精神的負担や不安を解消、育児に関する技術知識の指導をするとともに、母親同士の仲間づくりや育児体験の共有により心理的不安の軽減を図った。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	2,143	2,094	2,568	2,358			
令和5年度決算内訳(円)	会計年度職員報酬、手当等 1,758,547円、事業協力謝礼 77,247円(各種事業協力謝礼)費用弁償53,760円 消耗品費 362,634円、食糧費 1,126円、通信運搬費 56,091円 手数料8,789 保険料 352,000円						
成果指標設定の考え方	事業に参加し、かつアンケートを記入した人のうち、アンケートに「満足した」と回答した人の割合						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	99.6%	98.4%	99.1%	目標値	100%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	2	3	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	新型コロナウイルス感染症が5類に移行し規制が緩和されてからも、引き続き感染予防に注意しながら予定していた事業をすべて実施することができ、参加者のアンケート内容でも好意的な評価がほとんどだった。						
課題(改善すべき点/方向性)	新型コロナも5類に移行して以前の生活に戻つつあるが、日中の学童利用がなくなったためコロナ前の水準に至らない状況。庄内子育て支援団体に計画している「庄内地域 わくわく☆スタンプラリー」に参加してより多くの方に遊佐町子どもセンター「わくわく来館」を知っていただき新規の来館者数増を目指す。						
外部評価委員会の意見	引き続き子育て世代が利用しやすい運営を行っていただきたい。			方向性			
				継続			
町としての考え方	コロナ禍後における利用者のニーズ把握を行い、利用者の意向に沿った新規事業の検討や情報発信等を行い新規利用者の拡大を図る。			方向性			
				継続			

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	176			
所管課・係名	健康福祉課 子育て支援係	予算科目	3 款 2 項 3 目				
事務事業名	育児支援家庭訪問事業	予算大業名	育児支援家庭訪問事業				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第1節 子育てしやすい環境の整備						
総合発展計画【項】	第2項 充実した子育て支援体制の推進						
事業の概要	目的	エンゼルヘルパーの派遣により、出産後、日中 母子のみになる世帯の母の身体的及び精神的な負担の軽減を図る。					
	内容	①母子健康手帳交付時、また、赤ちゃん訪問時等に本制度について説明 ②利用希望者からの申請時に利用日時及び回数、支援内容について確認 ③申請内容審査後、申請者に決定通知、受託先にヘルパーの派遣依頼					
令和3年度分の外部評価の意見	育児にあたる母親等の負担軽減を図り、計画的に進めていただきたい。			方向性			
				継続			
令和4年度分の町としての考え方	授乳期の手が離せない世帯など一定の需要はある。資金面だけでなく、サービス面で子育て支援の充実のため事業を実施する。			方向性			
				継続			
令和5年度に対応した主な活動	健康支援係に母子手帳交付時・新生児訪問の際に呼びかけを行ってもらう他に、子育てについて相談があった際に事業の説明を行ったが新規の利用には繋がらなかった。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	504	50	60	42			
令和5年度決算内訳(円)	育児支援家庭訪問委託料:42,000円(利用者1名)						
成果指標設定の考え方	満足した人数/アンケート回答者数またはヒアリング回答者数						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	100% (1人/1人)	100% (1人/1人)	100% (1人/1人)	目標値	100%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	2	3	3	2	C	縮小
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	日中、母子のみで過ごす世帯に対し、家事及び育児支援を行うことにより、母親の心身の負担軽減に繋がるため貢献度が高い。一方で、利用世帯が1年間で1世帯のみで活動量が事業として少なかったため方向性を縮小とした。						
課題(改善すべき点/方向性)	慣れない育児で、心身の負担が多いことから継続的に支援を行っていく必要がある。しかし、家に他人を入れることに抵抗がある方が多いので、子育て世代に意見を聞きながらどのような支援が必要かを考えていく。						
外部評価委員会の意見	関係機関と連携し、必要な人に支援が届くようにしていただきたい。						方向性
							改善
町としての考え方	出産後の母親の身体的及び精神的負担を軽減でき、母親の心身の安定や、児童虐待防止の要素もあるため事業は継続していく。利用者が少ないことについては、自宅にヘルパーを入れることへの抵抗感を緩和するため、SNSの活用など情報の発信方法を改善して対応する。						方向性
							改善

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	648			
所管課・係名	健康福祉課 子育て支援係	予算科目	3 款 2 項 1 目				
事務事業名	すくすくゆざっ子支援金支給事業	予算大事業名	すくすくゆざっ子支援金支給事業				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第1節 子育てしやすい環境の整備						
総合発展計画【項】	第2項 充実した子育て支援体制の推進						
事業の概要	目的 0歳～3歳に到達する年度末までの子を持つ子育て世帯の負担軽減を図る。						
	内容 ①対象者の把握:出生届や転入届により事業対象の子どもがいる世帯情報の把握 ②内容説明及び申請:申請にあたり制度説明を行い、手続きについて案内 ③支給:年3回(8、12、4月)支給						
令和3年度分の外部評価の意見	支給事務処理について改善をしていただきたい。			方向性			
				改善			
令和4年度分の町としての考え方	子育て世帯の関心が高い事業であることを踏まえ、支給処理事務については安定して確実性の高いシステムの構築に努める。			方向性			
				継続			
令和5年度に対応した主な活動	昨年度までと同様、出生や転入による対象者への本事業の制度説明と併せて、子育て世帯移住奨励金などの、町が実施している子育て支援について丁寧な説明に努めた。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	23,075	19,901	23,000	17,560			
令和5年度決算内訳(円)	・すくすくゆざっ子支援金:17,560,000円 (R5.8月:141人 5,48,000円、R5.12月:148人 5,830,000円、R6.4月:161人 6,250,000円)						
成果指標設定の考え方	事業対象者への確実な支給						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	100%	100%	100%	目標値	100%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	2	3	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	出生や転入により対象となる世帯に対し、申請時に本事業や子育て世帯移住奨励金などの、町が実施している子育て支援の内容も含めて丁寧な説明を心がけた。また、住民異動情報による確認により、対象者の把握漏れ防止に努めた。引き続き対象者への確実な支給の実施に努める。						
課題(改善すべき点/方向性)	支給事務処理方法について担当部署と協議をし、昨年度末より住民基本台帳システムの拡張機能を利用した汎用給付システムを導入している。既存の支給方法から切り替えていくが、当面は事務に誤りがないよう新旧システムを確認しながら慎重に移行作業を進める。						
外部評価委員会の意見	適切な支給事務処理のもと、引き続き事業を継続していただきたい。			方向性			
				継続			
町としての考え方	子育て世帯の関心が高い事業であることを踏まえ、引き続き事業を継続する。			方向性			
				継続			

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	527			
所管課・係名	健康福祉課 子育て支援係	予算科目	3 款 2 項 1 目				
事務事業名	子育て世帯移住奨励金交付事業	予算大事業名	子育て世帯移住促進事業				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第1節 子育てしやすい環境の整備						
総合発展計画【項】	第2項 充実した子育て支援体制の推進						
事業の概要	目的	移住された義務教育課程の子どもを有する世帯に対し、子育てにかかる経済的負担の軽減と安心して子育てができる環境整備の支援を通じた定住促進					
	内容	①町民課受付からの転入の情報を受け、交付対象者であるかの確認 ②対象者である場合に交付要件及び返還義務の説明を行い、申請を受付 ③対象者に四半期ごとに交付					
令和3年度分の外部評価の意見	関係部署と調整を図り、子育てしやすい環境を継続的に進めていただきたい。			方向性			
				継続			
令和4年度分の町としての考え方	定住を目的として移住した子育て世帯に対する経済的負担の軽減及び安心して子育てができる環境の創出のため、今後も関係する係と連携し、一層の子育て支援の充実のために着実に事業を実施していく。			方向性			
				継続			
令和5年度に対応した主な活動	移住施策担当課である定住促進係と連携し、移住相談等で希望者に周知を図り、申請・支払い事務については子育て支援係で実施した。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	3,710	4,130	4,950	4,580			
令和5年度決算内訳(円)	子育て世帯移住奨励金:4,580,000円 【内訳】 ①R5.7月:1,100,000円(児童数37人) ②R5.10月:1,080,000円(児童数37人) ③R6.1月:1,170,000円(児童数38人) ④R6.4月:1,230,000円(児童数43人)						
成果指標設定の考え方	子育て世帯移住奨励支給対象児童数(新規認定)前年度認定数+1						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	13人	12人	10人	目標値	13人		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	2	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	庁内の関係する係間で情報を共有し、定住促進施策の一つである本事業について連携して取り組んだ。また、対象者の把握漏れ防止のため住民異動情報による確認を引き続き実施した。平成25年度から実施してきた本事業は、事業の認知度は高く、子育てに係る経済的負担の軽減が図られる事業であるため継続する。						
課題(改善すべき点/方向性)	移住奨励金に合わせる形で後からすくすくゆざっ子支援金があったが、支給要件などですくすくゆざっ子支援金とバランスが取れないところがある。						
外部評価委員会の意見	適正な制度説明を行い、引き続き事業を継続していただきたい。			方向性			
				継続			
町としての考え方	定住を目的として移住した子育て世帯に対する経済的負担の軽減及び安心して子育てができる環境の創出のため、今後も関係する係と連携し、一層の子育て支援の充実のために着実に事業を実施していく。			方向性			
				継続			

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	181			
所管課・係名	健康福祉課 健康支援係	予算科目	5 款 2 項 1 目				
事務事業名	介護予防事業	予算大事業名	介護保険特別会計				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらす環境整備						
総合発展計画【項】	第1項 高齢者のいきがいくつくりと社会参加の推進						
事業の概要	目的 健康寿命の延伸						
	内容 ①「通いの場」創設支援 ②いきいき百歳体操の普及啓発						
令和3年度分の外部評価の意見	プログラムの内容をさらに工夫をしていただきたい。			方向性			
				改善			
令和4年度分の町としての考え方	通いの場の有効性やメリットを記したチラシの作成による参加者の勧奨、福祉推進委員会における事業説明をとおして地域の理解も得られるよう支援する。また、参加者のモチベーション維持のため、リハ職派遣の継続、フレイル予防に着目した健康教室の実施による継続支援を行っていく。			方向性			
				継続			
令和5年度に対応した主な活動	令和5年度から、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業により健康えがお講座を開催し、低栄養、認知症、オーラルフレイルの予防をテーマにした講座を開催した。また、地域リハビリテーション活動支援事業を活用し、作業療法士による講座も継続している。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	63	14	104	11			
令和5年度決算内訳(円)	通信運搬費 8,865円 消耗品費 1,760円						
成果指標設定の考え方	週1回以上百歳体操を実施している「通いの場」の新規創設数/年(令和7年度までの全創設数 45か所)						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和7年		
	新設2か所 (全45か所)	新設1か所 (全40か所)	新設3か所 (全42か所)	目標値	新設 2か所/年 (全45か所)		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	2	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	令和5年度は新規に始めた集落が3か所あった。始めるにあたり、楽しんで継続していけるよう動機づけとしてデモンストレーションを丁寧に行った。高齢者の閉じこもり予防、フレイル予防に効果が期待できる通いの場の役割は大きく、妥当性、貢献度ともに高い。令和7年度の目標達成までの経過もよく、有効性は3とした。						
課題(改善すべき点/方向性)	コロナ禍により、この2～3年間は活動を自粛する集落があり、再開しても以前のような人数が集まらない等、集落によって活動の規模は様々である。高齢化率が年々高くなっていくわが町において、介護予防事業は自立した日常生活を営むことができるよう支援するための重要事業であることを認識し、新規開設や継続に向けて働きかけていく。						
外部評価委員会の意見	今後も新規集落が開設できるように、計画的に進めていただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	新規開設に向けて集落区長や老人クラブの代表者へ働きかけるとともに、既に開設している集落へも参加者のモチベーション維持のため継続的に支援する。					方向性	
						継続	

事務事業評価シート

令和5年度

事業No.	570
-------	-----

所管課・係名	健康福祉課 福祉係	予算科目	3 款 1 項 1 目				
事務事業名	高齢者福祉タクシー事業	予算大事業名	福祉タクシー利用助成事業				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとらせる環境整備						
総合発展計画【項】	第2項 安心してらせる環境整備						
事業の概要	目 的 高齢者に対する外出支援						
	内 容 タクシー乗車時の基本料金割引						
令和3年度分の外部評価の意見	日曜日の利用について検討していただきたい。		方向性				
			改善				
令和4年度分の町としての考え方	高齢者が免許返納後も安心して外出できるよう、サポートを行っていく。また、今現在の交付枚数や利用方法について、月々の利用状況から実態を把握し、よりよい制度にしていきたい。		方向性				
			改善				
令和5年度に対応した主な活動	タクシー料金が改定されたことを踏まえ、現状の実績をもとに利用傾向を分析し、令和6年度以降の事業内容について、当初の交付枚数を36枚から42枚、1回あたりの利用枚数上限を3枚から4枚に増やす方向で見直しを行った。						
予算・決算 (千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	9,352	8,902	11,200	8,204			
令和5年度決算内訳(円)	2,495枚×680円=1,696,600円 108枚×590円=63,720円 7,122枚×620円=4,415,640円 332枚×540円=179,280円 3,697枚×500円=1,848,500円 合計 8,203,740円						
成果指標設定の考え方	①:申請率(申請人数/対象人数) ②:利用率(年間利用枚数/交付総枚数)						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	①=42.4% ②=55.7%	①=41.2% ②=56.0%	①=35.8% ②=56.1%	目標値	①=45% ②=55%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	2	3	3	2	2	B	改善
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	この事業は高齢者の交通支援として欠かせない事業であり、妥当性および貢献度については評価できる。有効性については65歳以上の免許所有者が増加している傾向にあり、申請率が令和4年度を下回る結果となったため、評価を2とした。方向性としては、免許返納後に高齢者が安心して暮らせる移動支援について、引き続き検討していく必要があるため、改善とした。						
課題(改善すべき点/方向性)	高齢者の移動支援は重要な課題であり、引き続き利用分析を行うとともに、他係等と連携のうえ事業内容を検討する。						
外部評価委員会の意見	関係機関と連携して、町内全体の移動手段の在り方について検討していただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	タクシー券の利用分析による利用傾向を踏まえつつ、町内全体の移動支援としてどういう形が良いか、関係機関と連携して検討する。					方向性	
						改善	

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	441			
所管課・係名	健康福祉課 福祉係	予算科目	3 款 1 項 1 目				
事務事業名	高齢者鍼灸マッサージ助成事業	予算大事業名	高齢者鍼・灸マッサージ助成事業				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとらせる環境整備						
総合発展計画【項】	第2項 安心してとらせる環境整備						
事業の概要	目 的 高齢者の健康増進						
	内 容 鍼灸治療を行った際、治療費の一部を助成						
令和3年度分の外部評価の意見	広報の仕方を工夫していただきたい。			方向性			
				改善			
令和4年度分の町としての考え方	利用者にとって通院への周知が、一番効果的な方法だと考えられる。広報だけでなく、院内への申請書類常設等、今後も連携を図りながら取り組む。			方向性			
				継続			
令和5年度に対応した主な活動	広報周知のほか、施術院での呼びかけに協力をいただきながら周知を図った。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	505	578	680	475			
令和5年度決算内訳(円)	475枚×1,000円=475,000円						
成果指標設定の考え方	①:申請率(申請者数/対象人数) ②:利用率(年間利用枚数/交付総枚数)						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	①=3.7% ②=55.7%	①=4.1% ②=56.9%	①3.4% ②56.5%	目標値	①=5% ②=60%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	2	3	3	3	2	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	申請率および利用率ともに令和4年度を下回る結果となったが、事業利用者からは「大変助かっている」などといった声もあり、事業目的である高齢者の健康増進について、妥当性および貢献度は高い。周知方法を工夫し、高齢者支援事業として継続して支援を行っていく。						
課題(改善すべき点/方向性)	施術院への申請書類常設等により事業の周知を図るとともに、施術院との連携を密にし柔軟に対応していく。						
外部評価委員会の意見	施術院との連携を密に、引き続き事業を実施していただきたい。				方向性		
					継続		
町としての考え方	施術院との連携を密に事業周知を行い、引き続き高齢者の健康維持のために支援を行う。				方向性		
					継続		

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	150			
所管課・係名	健康福祉課 介護保険係	予算科目	5 款 2 項 1 目				
事務事業名	介護予防事業(ゆったり健康サロン)	予算大事業名	介護保険特別会計				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらす環境整備						
総合発展計画【項】	第3項 健康づくりの推進と介護予防の充実						
事業の概要	目 的 高齢者の介護予防						
	内 容 町内の温泉施設を活用し、介護予防に役立つレクリエーションの実施						
令和3年度分の外部評価の意見	地区の実情に応じた周知方法を工夫していただきたい。			方向性			
				改善			
令和4年度分の町としての考え方	どのようなことを実施しているかわかるような周知方法を検討したい。令和5年度は福祉推進委員会及び社会福祉推進委員会で事業について周知をする予定である。			方向性			
				継続			
令和5年度に対応した主な活動	温泉施設(あぼん西浜)を利用した介護予防事業。健康チェック、介護予防体操、栄養バランスのとれた昼食の提供・紹介をおこない、介護状態に陥ることなく健康でいきいきとした生活を送れるよう支援した。11回実施、85名の方の参加があった。送迎もおこなっている。フリー参加の日を4回設けて実施した。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	271	363	800	423			
令和5年度決算内訳(円)	委託料423,270円(遊佐町総合交流施設株式会社) 遊佐町総合交流施設株式会社と80万円以内での実施で委託契約している。						
成果指標設定の考え方	推定元気高齢者数/全体高齢者数 (推定元気高齢者数の出し方:3月31日現在の町内65歳以上の人口-年度末時点の町内要介護認定者数)						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	80.98%	81.24%	82.07%	目標値	80%以上		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	2	3	3	1	D	縮小
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	この事業は、介護状態に陥ることなく健康でいきいきとした生活をおくることを目的として実施している。全23回実施の内、11回実施のため活動量を1としたが、リピーターが多い事業である。方向性は縮小と判定されたが、新規参加者の申し込みが増えるよう、参加申し込み方法を改善して実施していく。						
課題(改善すべき点/方向性)	これまでは集落単位の申し込みをメインとしており、フリーの日を年4回実施していた。フリーの日の参加者が多いことから、フリーの日を1月に1回実施としたり、集落にこだわらない3名以上1グループの参加申し込みを可としたりするなど参加申し込み方法を工夫する。						
外部評価委員会の意見	参加申込方法を見直し、計画的に進めていただきたい。				方向性		
					改善		
町としての考え方	集落の申し込みは区長宛とし、また、集落にこだわらない申し込み方法も増やすなど見直しをおこない、新規参加者の申し込みが増えるよう工夫する。				方向性		
					改善		

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	342			
所管課・係名	健康福祉課 介護保険係	予算科目	5 款	1 項	1 目		
事務事業名	いきいき健康教室	予算大事業名	介護保険特別会計				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらす環境整備						
総合発展計画【項】	第3項 健康づくりの推進と介護予防の充実						
事業の概要	目 的 要介護予防状態になることの予防						
	内 容 運動器の機能向上及び認知機能の低下予防、口腔機能の向上等の包括的プログラムを実施。						
令和3年度分の外部評価の意見	会場ごとの特性が分かるようにPR方法を工夫していただきたい。				方向性		
					改善		
令和4年度分の町としての考え方	周知方法が課題であったため、単に、事業の内容の紹介だけではなく、教室に参加する前、参加した後がわかるような動画を作るなど、教室に参加することで、利用者の体の変化がわかるような形での周知方法を検討した。				方向性		
					改善		
令和5年度に対応した主な活動	遊佐会場としてデイサービスあいあいと、酒田会場として榊福祉のひろばと業務を委託し実施している。春(5月～7月)、秋(8月～11月)、冬(12月～3月)と時期を分け、運動、栄養、口腔、認知症等に関するリスクを抱える高齢者に対し、ストレッチや口腔体操、脳トレなどを実施。社会福祉推進委員会、福祉推進委員会で事業の様子を動画を使い周知活動をおこなった。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	995	989	2,000	1,150			
令和5年度決算内訳(円)	委託料1,149,750円 社会福祉法人遊佐厚生会(デイサービスあいあい) 3,150円×296名(延べ)=932,400円 株式会社福祉のひろば 3,150円×69名(延べ)=217,350円						
成果指標設定の考え方	事業参加者人数						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	24人	22人	24人	目標値	25人		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	3	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	参加者数は目標値までいかなかったが、感染症等の状況で参加者数を調整していることも達成できなかった理由となる。参加者たちの体調等の状況はあるが、概ね現状維持、良好となっている方が多いことから継続して実施する。						
課題(改善すべき点/方向性)	令和5年度は動画を活用し周知をおこなったが、介護予防事業を「我が事」として考えてもらうためにはどうしたら良いか、周知等をさらに工夫する。						
外部評価委員会の意見	周知に努め、引き続き進めていただきたい。				方向性		
					継続		
町としての考え方	国の介護予防活動普及展開事業の伴走的支援を活用し、課題を明らかにしより良い事業となるよう進める。				方向性		
					継続		

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	395			
所管課・係名	健康福祉課 福祉係	予算科目	3 款 1 項 1 目				
事務事業名	寝具乾燥消毒サービス事業	予算大事業名	寝具乾燥消毒サービス事業				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらす環境整備						
総合発展計画【項】	第3項 健康づくりの推進と介護予防の充実						
事業の概要	目的 寝具洗濯等を行い、衛生的な住環境を整える						
	内容 寝具の洗濯等が困難な高齢者世帯に対し、寝具の洗濯から乾燥までのサービスを提供						
令和3年度分の外部評価の意見	町民の健康と衛生を守る事業であり着実に実行していただきたい。			方向性			
				継続			
令和4年度分の町としての考え方	広報周知だけではなく、引き続き介護支援専門員や民生委員等と連携し、高齢者の衛生的な環境づくりのため、計画的に事業を進めていく。			方向性			
				継続			
令和5年度に対応した主な活動	周知および利用者のとりまとめについて介護支援専門員や民生委員に協力をいただきながら事業を実施した。また、委託先との調整をこまめに行い、利用者からの要望に可能な限り対応できるよう取り組んだ。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	762	959	970	966			
令和5年度決算内訳(円)	寝具乾燥消毒サービス事業:966,000円 内訳(委託料 7,500円×140名)-(利用者負担 600円×140名)						
成果指標設定の考え方	利用率(利用世帯数/対象世帯数)						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	6.6%	6.6%	6.0%	目標値	5%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	2	3	3	3	2	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	この事業は高齢者の快適な生活を維持するため行っている事業で、有効性、妥当性、貢献度は高いと評価できる。リピーターも多く、一定の効果が見込まれることから、引き続き介護支援専門員等からも周知に協力いただきながら、継続して実施していく。						
課題(改善すべき点/方向性)	町民への周知方法を検討しながら、引き続き支援を行っていく。						
外部評価委員会の意見	高齢者の衛生的な環境づくりのため、引き続き事業に取り組んでいただきたい。			方向性			
				継続			
町としての考え方	周知方法を工夫して、利用率の向上につながるよう委託業者と連携しながら事業を実施し、高齢者世帯の衛生的な環境づくりに努める。			方向性			
				継続			

事務事業評価シート

令和5年度

事業No.	612
-------	-----

所管課・係名	健康福祉課 健康支援係	予算科目	4 款 1 項 1 目				
事務事業名	ゆげ健康マイレージ事業	予算大業名	保健衛生一般経費				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらす環境整備						
総合発展計画【項】	第3項 健康づくりの推進と介護予防の充実						
事業の概要	目的 町民の健康に対する意識の向上と主体的な健康づくりへの支援						
	内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ゆげ健康マイレージポイントカードの配布 ・対象事業参加者へのポイント付与 ・達成ポイントに応じ、1,000円相当の商品券贈呈、健康グッズの抽選応募 						
令和3年度分の外部評価の意見	健康グッズの景品の見直しと抽選方法の見直しについて工夫していただきたい。				方向性		
					改善		
令和4年度分の町としての考え方	健康づくりを楽しみながら行えること、継続することの大切さを随時説明していく。				方向性		
					改善		
令和5年度に対応した主な活動	20ポイント達成者から記入してもらっているアンケートを参考に、ポイントを付与する事業の見直しと景品の変更を行った。また、ポイント交換のために来所することが困難という意見があったため、各まちづくりセンターでのポイント交換会を行った。遊佐地区を除く5地区で1回ずつ実施し、計45名が交換に訪れた。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	1,033	982	1,227	1,089			
令和5年度決算内訳(円)	報償費:商品券1,000円×590件=590,000円 抽選景品購入費 260,194円 印刷製本費:221,100円 その他						
成果指標設定の考え方	マイレージ20ポイント達成者者数(R5より指標変更)						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和6年		
	415人	543人	582人	目標値	600人		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	2	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	コロナの5類移行に伴い、各種事業の参加や人数の緩和がみられ、20ポイントに達する方が昨年度より39名増加した。アンケートから、健康づくりのきっかけになっていると回答する方が99%にのぼり、妥当性、貢献度は高い。目標達成の経過もよく順調に推移しているため、有効性は3とした。						
課題(改善すべき点/方向性)	この事業が町民の健康づくりのきっかけとなっていることから、事業の周知を工夫するとともに、健康づくりの継続を目的とするために、20ポイントを達成することをさらに意識してもらう必要がある。また、ポイント交換会に関して一定数の要望があることから、交換会の実施方法、回数について見直しが必要である。						
外部評価委員会の意見	ポイント交換回数とポイント付与対象事業の拡大を検討していただきたい。				方向性		
					改善		
町としての考え方	町民からの意見、アンケートを参考にポイント付与対象事業の検討を行う。				方向性		
					改善		

事務事業評価シート

令和5年度

事業No.	379
-------	-----

所管課・係名	健康福祉課 健康支援係	予算科目	4 款 1 項 2 目				
事務事業名	がん検診受診率向上事業	予算大業名	健康増進法健診事業				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらす環境整備						
総合発展計画【項】	第3項 健康づくりの推進と介護予防の充実						
事業の概要	目的 がんの早期発見						
	内容 ①検診の周知・案内、未受診者への受診勧奨 ②検診の実施						
令和3年度分の外部評価の意見	計画的に実施していただきたい。				方向性		
					継続		
令和4年度分の町としての考え方	「各種がん検診精密検査未受診者対策の推進」「各種がん健診事業」を統合し、「がん検診受診率向上事業」とする。				方向性		
					統合		
令和5年度に対応した主な活動	胃がん・肺がん・大腸がんの3がんは、特定健診事業との同時受診が見込めるため、勧奨も同時に実施した。子宮頸がん・乳がんについては、無料クーポンの対象者を中心に、期限が切れる1ヵ月前に最後の一押しとなるように勧奨を実施した。精検未受診者への受診勧奨については、年3回(8月・11月・1月)の文書による勧奨の他、電話・訪問も実施した。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	33,956	34,105	41,457	33,681			
令和5年度決算内訳(円)	各種検診業務委託料 : 32,076,766円、その他(報酬・消耗品費等) : 797,543円 通信運搬費 : 574,454円、印刷製本費 : 232,100円						
成果指標設定の考え方	各がん検診受診者数(延べ) /各がん検診対象者数(延べ) (がん検診成績表より)						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	50.50%	51.50%	50.50%	目標値	50%以上		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	2	3	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	本事業は、「がん」の早期発見・早期治療に寄与する事業であり、妥当性と貢献度は高い。活動量についても、がん検診の対象年齢の者、未受診者のほぼ全数に受診勧奨を実施できているため3にした。効率性は、町側が想定する最大受診者数と現実の受診者数の間に若干のギャップが生じているため、削減の余地が少しあると考え2としている。						
課題(改善すべき点/方向性)	特定健診と同様に、若い世代ほど、がん検診の受診率が低く課題となっている。特定健診と併せた受診や、会社の健診(一般健診)にプラスして受けることができる、「がんセット検診」をより広く周知していきたい。						
外部評価委員会の意見	受診率の維持向上に向けて、定期的な受診勧奨を計画的に進めていただきたい。				方向性		
					継続		
町としての考え方	受診率の維持向上に向けて、今後も定期的な受診勧奨を継続する。また、特定健診と併せた健診・検診の広報についても注力する				方向性		
					継続		

事務事業評価シート

令和5年度

事業No.	146・377
-------	---------

所管課・係名	健康福祉課 健康支援係	予算科目	4 款 1 項 2 目				
事務事業名	特定健診事業	予算大業名	特定健診事業				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらす環境整備						
総合発展計画【項】	第3項 健康づくりの推進と介護予防の充実						
事業の概要	目 的 生活習慣病の予防						
	内 容 ①健診の周知・案内、未受診者への受診勧奨 ②健診事業の実施						
令和3年度分の外部評価の意見	受診率向上のため、健診を受けやすい体制整備と若者の意識改革を進めていただきたい。				方向性		
					改善		
令和4年度分の町としての考え方	「わかば健診」「特定健診事業」「後期高齢者健診事業」を統合し、事業名を「特定健診事業(わかば・後期高齢を含む)」とする。				方向性		
					統合		
令和5年度に対応した主な活動	健診を受けやすくなるような体制整備として、男性のみが受診できる「男性日」の設定や(男女混合日は、女性の婦人科健診が間に入るため待ち時間が長くなる。)、平日受診ができない方向けの休日健診日を設定した。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	22,605	24,673	26,617	24,553			
令和5年度決算内訳(円)	特定健診委託料 … 9,380,694円 受診勧奨委託料 … 3,205,063円 高齢者健診委託料 … 7,468,340円 システム保守委託料 … 933,240円 若年者健診委託料 … 581,420円 その他(報償費・需要費等) … 2,982,905円						
成果指標設定の考え方	①国保健診受診者/遊佐町国保加入者 ②後期健診受診者/後期加入者 ③わかば健診受診者数						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和6年		
	①59.9%②26.0% ③131名	①61.4%②26.9% ③136名	①61.4%②28.4% ③126名	目標値	①60%以上②25%以上③120名以上		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	2	3	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	この事業は、町民の健康を維持するとともに、長期的な健康リスクを低減することで、医療費の増大を防ぐ効果が見込める事業であり、妥当性と貢献度は高い。若年者健診事業に費用圧縮の余地が若干あるものの、若年層における健診習慣の定着は、その先の健診事業にも影響を与える非常に重要な取り組みであるため、工夫をしつつ事業を継続していく。						
課題(改善すべき点/方向性)	若年者健診事業の充実を図るため、より若年層が健診を受けやすくなるような取り組みを推進していく。(会場・日程・費用等の実施内容の再検討)また、データ分析により、どの層へのアピールが足りていないのか確認をし、限られたコストの中でよりよい勧奨が実施できるようにしていく。						
外部評価委員会の意見	受診率の維持向上に向けて、定期的な受診勧奨を計画的に進めていただきたい。				方向性		
					継続		
町としての考え方	今後も受診率の維持向上に向けて、定期的な受診勧奨を実施するとともに、データ分析等による、狙いを絞った効果的な受診勧奨策を継続する。				方向性		
					継続		

事務事業評価シート

令和5年度

事業No.	627
-------	-----

所管課・係名	健康福祉課 健康支援係	予算科目	4 款 1 項 2 目				
事務事業名	特定保健指導	予算大業名	特定保健指導事業				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとらせる環境整備						
総合発展計画【項】	第3項 健康づくりの推進と介護予防の充実						
事業の概要	目 的 健康の自己管理の徹底						
	内 容 ①積極的支援・動機付け支援の実施(健診結果説明会、栄養相談会、家庭訪問の実施) ②対象者への案内・勧奨						
令和3年度分の外部評価の意見	計画的に実施していただきたい。				方向性		
					継続		
令和4年度分の町としての考え方	第3期特定健診計画に基づき、今後も計画的に保健指導を実施するとともに、対象者の生活状況に寄り添い自らの生活習慣改善に取り組めるよう支援を継続していく。				方向性		
					継続		
令和5年度に対応した主な活動	ドック受診者の特定保健指導を各健診機関(庄内検診センター、医療機関)に委託して実施している。直営(町実施)の保健指導においても、すべての健診日において健診結果説明会を開催し、指導の機会をとらえ計画的に実施した。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	1,634	1,631	2,167	1,086			
令和5年度決算内訳(円)	委託料 1,062,105円 講師謝礼 16,800円 通信運搬費 3,948円 食糧費 2,799円						
成果指標設定の考え方	動機づけ支援、積極的支援実施者数/保健指導対象者数(第3期特定健康診査等実施計画に基づく目標)						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	R4.9月確定 58.3%	R5.9月確定 67.5%	R6.3月末時点 41.2%	目標値	60%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	2	3	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	特定保健指導実施率は3年連続上昇している。酒田ドック及び病院ドック健診受診者が健診当日に初回面接を受けられることや直営(町実施)でもドック未実施者の掘り起こしや訪問や電話にて来所してもらえるようアプローチを行ったことが一定の成果につながり、妥当性・貢献度は高い。						
課題(改善すべき点/方向性)	指導を受けることに抵抗感があり、拒否する方に対しても訪問や電話にて生活状況の把握を行い、生活習慣改善のポイントや健診継続の言葉がけに努めていく。第4期特定健康診査等実施計画に沿って、指導を行っていく。						
外部評価委員会の意見	指導率の向上に向けて、計画的に実施していただきたい。				方向性		
					継続		
町としての考え方	第4期特定健診計画に基づき、特定保健指導率の向上に向けて、今後も訪問や電話等で細やかな対応を継続する。				方向性		
					継続		

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	574			
所管課・係名	健康福祉課 健康支援係	予算科目	8 款 2 項 2 目				
事務事業名	高齢者体力アップ事業	予算大業名	国民健康保険特別会計(疾病予防費)				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらす環境整備						
総合発展計画【項】	第3項 健康づくりの推進と介護予防の充実						
事業の概要	目的 高齢者の健康増進						
	内容 ①健康チェック・運動指導士等による運動指導 (はつらつ貯筋講座・サポーター養成講座) ②各講座への参加募集③傷害保険料						
令和3年度分の外部評価の意見	参加率向上のため、周知方法を工夫していただきたい。				方向性		
					改善		
令和4年度分の町としての考え方	体力の維持・向上や介護予防のため、運動の継続は効果的である。講座終了後も運動を継続できるよう、参加者へ自主サークルや運動施設の紹介、自宅のできる運動の紹介を行っていく。参加者については、ゆぎ元気サポーターの協力を得て、講座の周知、運営を行っていく。(ゆぎ元気サポーターのつどいの開催)				方向性		
					改善		
令和5年度に対応した主な活動	各事業で講座のちらしを配布しながら周知を行い、参加への声かけを行った。はつらつ貯筋講座を計32回、ほか運動サークル体験を5回実施。ゆぎ元気サポーターやはつらつ貯筋講座修了者を対象にスタイルアップ講座を5回実施した。また新規運動サークルの立ち上げに向けての支援を実施し、自主サークルの増加に繋がった。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	339	493	705	494			
令和5年度決算内訳(円)	事業協力謝礼403,000円 保険料22,000円 消耗品12,966円 通信運搬費54,971円						
成果指標設定の考え方	体力測定(長座体前屈、握力、開眼片足立ち)結果の合計点が維持・向上した人/はつらつ貯筋講座修了者数 ・・・参加者数						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	87.5%	71.4%	50%	目標値	85%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	2	3	3	2	2	B	改善
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	町民の介護予防、健康寿命の延伸に繋がる事業であり、貢献度は高い。一方、成果指標達成のため講座内容や事業の周知方法の見直しが必要であるため方向性は改善とした。						
課題(改善すべき点/方向性)	参加者の減少が課題である。申込方法は電話だけでなく、e申請にて参加希望者が申しやすい方法を取り入れて行く。またあらゆる事業で体力の維持・向上、介護予防のため運動継続の必要性を伝えながら本事業を周知していく。						
外部評価委員会の意見	事業内容と申込方法を工夫していただきたい。				方向性		
					改善		
町としての考え方	講座の開催時期や回数など、より運動の継続に繋がるような内容を検討する。広報やLINEを活用して広く周知し、申しやすいよう電話だけでなく、e申請等を活用する				方向性		
					改善		

事務事業評価シート

令和5年度

事業No.	158
-------	-----

所管課・係名	健康福祉課 健康支援係	予算科目	4 款 1 項 2 目				
事務事業名	食生活改善推進員養成事業	予算大事業名	食生活改善事業				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらす環境整備						
総合発展計画【項】	第3項 健康づくりの推進と介護予防の充実						
事業の概要	目的 食生活改善普及のための人材育成						
	内容 ①食生活改善推進員養成講習会・地区伝達講習会の実施 ②対象者への周知・案内等 ③食生活改善推進協議会へ指導委託 ④その他(食生活改善推進協議会研修費:講師謝礼、調理器具の補充等)						
令和3年度分の外部評価の意見	伝達講習の参加率の向上を図っていただきたい。				方向性		
					改善		
令和4年度分の町としての考え方	新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を徹底しながら、伝達講習を行っていく。また、講座の献立や内容をまとめたものを地区推進員が集落に配布する他、町内公共施設、保育施設、店舗等に設置したり、LINEを活用するなどして食生活に活用できるよう、地域に広く周知、情報提供を行っていく。				方向性		
					継続		
令和5年度に対応した主な活動	新型コロナ感染症が5類感染症に移行したが、引き続き感染予防対策を行いながら、調理実習を取り入れて通常の2回開催とした。献立や講話の内容を掲載したものを集落内へ配布、回覧した他、まちづくりセンター、保育園、子どもセンター、スーパー、図書館に設置し地域住民に広く情報提供、周知を行った。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	392	298	408	331			
令和5年度決算内訳(円)	委託料 140,000円	報償費 42,000円	消耗品費 100,917円	通信運搬費 47,769円			
成果指標設定の考え方	参加延人数/食改地区推進員数×開催回数(2回)(参加率)						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	40.4%	29.8%	35.6%	目標値	40%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	2	3	3	3	2	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	この事業は、食生活改善による町民の健康増進・健康の維持を目的としており、妥当性・貢献度は高い。参加者アンケートから、「献立を今後に活かそう」と回答した人が94%となっており、町民の健康づくりの一助になっていることから、この事業を継続して実施する。						
課題(改善すべき点/方向性)	今後も感染予防対策を行いながら講習会を実施していく。今後も講座の内容、献立を掲載したものを集落内のみならず、町内の保育施設や公共施設、店舗等に設置したり、ホームページ、LINE、e申請を活用するなど地域に広く周知、情報提供を行っていく。						
外部評価委員会の意見	計画的に実施していただきたい。				方向性		
					継続		
町としての考え方	今後も各地区年2回の伝達講習会を実施していく。講座の内容や献立についても回覧やホームページに掲載する他、町内の施設や店舗等に設置するなどし、食生活改善について地域に広く情報提供を行う。				方向性		
					継続		

事務事業評価シート

令和5年度

事業No.	180
-------	-----

所管課・係名	健康福祉課 健康支援係	予算科目	4 款 1 項 2 目				
事務事業名	訪問口腔衛生指導	予算大事業名	口腔衛生指導事業				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらす環境整備						
総合発展計画【項】	第3項 健康づくりの推進と介護予防の充実						
事業の概要	目的 要介護等高齢者の健康の保持増進						
	内容 ①口腔内観察 ②口腔内の保清(ブラッシング等) ③保健指導						
令和3年度分の外部評価の意見	着実に実施していただきたい。				方向性		
					継続		
令和4年度分の町としての考え方	在宅療養中の方にとって町歯科衛生士による訪問口腔衛生指導は身近な利用しやすい事業として利用されている。治療が必要な場合は町内の歯科医療機関から快く応じていただいている現状もあり、今後も継続して取り組んでいく。				方向性		
					継続		
令和5年度に対応した主な活動	介護支援専門員、保健師、介護している家族等からの要望に応じて訪問活動を実施した。訪問後の報告をタイムリーに行い、その後も関係機関と連絡を取り合っ、在宅療養を支援した。歯科治療へ紹介した人は13人おり、往診後も継続して経過観察を行い、歯科医師に報告した。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	791	778	803	794			
令和5年度決算内訳(円)	歯科衛生士報酬 779,441円、消耗品費14,381円						
成果指標設定の考え方	口腔内の状況が維持・改善した人数/2回以上訪問した人数						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	100%	91.6%	90.0%	目標値	90%以上		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	2	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	訪問した方の93.0%が70歳以上で、何らかの病気を抱え在宅療養しているため、口腔内の状態の改善は難しいものの、口腔ケアの必要性について介護者へ伝えることで口腔環境の改善と低栄養の予防につながることを期待できるため、有効性・妥当性・貢献度は高く、この事業を継続する。						
課題(改善すべき点/方向性)	在宅療養中の方の介護者も高齢化しておりこまめに口腔ケアをすることが難しいケースがある。各関係機関からの訪問要請にこたえていくとともに、介護支援専門員や事業所等と連携を取りながら事業を継続していく。						
外部評価委員会の意見	要介護高齢者の健康保持のため、引き続き計画的に実施していただきたい。				方向性		
					継続		
町としての考え方	要介護高齢者の健康保持のため、介護支援専門員等と連携しながら、その方に合わせた口腔ケアの実践に取り組む。				方向性		
					継続		

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	430			
所管課・係名	健康福祉課 国民健康保険係	予算科目	1 款 1 項 1 目				
事務事業名	医療制度の周知事業	予算大事業名	一般管理費・疾病予防費				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらせる環境整備						
総合発展計画【項】	第4項 医療・介護保険事業の推進						
事業の概要	目 的 医療制度の周知により、医療制度の適正な利用を促す						
	内 容 ①広報誌による周知 ②町HPへの掲載 ③医療証の更新時パンフレット発行 ④新規医療証取得者へのチラシ交付						
令和3年度分の外部評価の意見	住民サービス向上に向けて、継続して事業を実施していただきたい。			方向性			
				継続			
令和4年度分の町としての考え方	医療制度を理解することは、被保険者が安心して医療の給付を受けることや、医療費の適正化に繋がる。マイナンバーカード関連など年々状況が変化しているので、被保険者にとってわかりやすく、かつ納得できる広報記事・チラシ作成等に努める。			方向性			
				継続			
令和5年度に対応した主な活動	医療制度についての記事を広報掲載し、保険証・医療費のお知らせ送付時にパンフレット等を同封した。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	38	46	800	92			
令和5年度決算内訳(円)	<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品 30,998円 ・委託料 61,200円 						
成果指標設定の考え方	広報への掲載回数、及びパンフレットの発行回数						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	広報-4回 パンフレット-2回	広報-4回 パンフレット-2回	広報-4回 パンフレット-2回	目標値	広報掲載-3回 パンフレット発行回数-2回		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	3	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	医療高額療養費制度・国保加入喪失手続きに関することなどこまめな情報提供に努めたことで、問い合わせが増える等の効果も見られ、有効性・妥当性・貢献度は高い。保険証等の送付時に同封したり、様々な方法で定期的にお知らせできたことが町民の関心を高めることに繋がったと考えられるため、効率性・活動量としても評価できると判断し方向性を継続とした。						
課題(改善すべき点/方向性)	今年の12月2日をもって保険証が廃止となり、マイナンバーカードと一体化する。今後はより正確な情報提供が必要になるとと思われる。国からの情報収集及び被保険者へのきめ細かな情報提供に努めたい。						
外部評価委員会の意見	住民への情報提供を着実に進めていただきたい。			方向性			
				継続			
町としての考え方	医療制度を理解することは、被保険者が安心して医療の給付を受けることや、医療費の適正化に繋がる。現行の保険証が廃止されマイナ保険証へ移行されるなど年々状況が変化しているので、被保険者にとってわかりやすく、かつ納得できる広報記事・チラシ作成等に努める。			方向性			
				継続			

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	705			
所管課・係名	健康福祉課 介護保険係	予算科目	5 款 4 項 1 目				
事務事業名	家族介護継続支援事業	予算大事業名	介護保険特別会計				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらす環境整備						
総合発展計画【項】	第4項 医療・介護保険事業の推進						
事業の概要	目 的 在宅高齢者の介護を行う世帯の負担軽減						
	内 容 介護用品(紙おむつ)の現物支給(自宅に配達)						
令和3年度分の外部評価の意見	継続的に支援するための方策を検討していただきたい。			方向性			
				改善			
令和4年度分の町としての考え方	家族の精神的・経済的負担を軽減するための事業であるため、継続して実施するために、補助事業を活用せず実施している自治体の情報を収集し検討していきたい。			方向性			
				改善			
令和5年度に対応した主な活動	町内に住所を有し寝たきり等で常時失禁のある在宅高齢者へおむつの現物支給をおこなっている。令和5年度は延べ596名分の現物支給をおこなった。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	2,667	2,490	3,926	2,202			
令和5年度決算内訳(円)	【6,000円上限】168人 946,752円 おむつ890支給 【4,000円上限】282人 974,610円 おむつ686支給 【2,000円上限】146人 279,984円 おむつ364支給						
成果指標設定の考え方	おむつ支給延べ人数						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	771人	659人	596人	目標値	1,000人		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	2	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	家族の精神的・経済的負担を軽減するための事業であるため継続して実施していきたい。活動量については、登録者延べ742人に対し596名活用したため(80.32%)、2とした。						
課題(改善すべき点/方向性)	令和6年度から補助事業ではなく町特別給付事業として実施するため、これまで要介護2以上を対象としてきたが、要介護3以上であって、障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)B・Cもしくは認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ・ⅣまたはM該当者を対象とする。また第9期介護保険事業計画期間となるため、目標値を見直す。						
外部評価委員会の意見	目標値を見直し、進めていただきたい。			方向性			
				改善			
町としての考え方	第9期介護保健事業計画期間となるため目標値を見直し、家族の精神的・経済的負担を軽減できるよう今後も実施していく。			方向性			
				改善			

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	394			
所管課・係名	健康福祉課 福祉係	予算科目	3 款 1 項 1 目				
事務事業名	重度心身障がい者紙おむつ支給事業	予算大事業名	身体障がい者在宅福祉事業				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらす環境整備						
総合発展計画【項】	第4項 医療・介護保険事業の推進						
事業の概要	目的 重度心身障がい者を在宅で介護している介護者の負担軽減						
	内容 紙おむつの現物支給(自宅に配達)						
令和3年度分の外部評価の意見	介護者の経済的負担が軽減されるよう計画的に実施していただきたい。			方向性			
				継続			
令和4年度分の町としての考え方	介護者にとって、日用消耗品であるおむつの購入費用は大きな負担となっており、必要不可欠な事業であると思われる。家族が抱える精神的、経済的負担を軽減し、在宅での介護を支援していけるよう、今後も継続して実施していく。			方向性			
				継続			
令和5年度に対応した主な活動	介護者の経済的負担を軽減するため、おむつの定期購入にかかる支援を行った。また、物価高騰の影響でおむつ単価の値上がりもあったが、その都度利用者と上限額内で商品の調整を行い対応した。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	219	203	240	211			
令和5年度決算内訳(円)	10ヶ月×1名=65,120円 12ヶ月×2名=145,853円						
成果指標設定の考え方	支給要件に所得制限を設けているため目標値設定は不相当と判断、支給実績値(=支給月数)を挙げる。						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	43月	36月	34月	目標値	支給実績値		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	2	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	この事業は介護を行っている家族の負担軽減のため行う事業であり、令和5年度は利用者が1名減少したことに伴い、支給実績が2月分減少となった。方向性としては物価高騰が続く中、今後も経済的負担の増加が予測されることから、引き続き支援が必要であるため継続とした。						
課題(改善すべき点/方向性)	近年、新規利用者がいない状況のため、改めて事業周知に努め該当者の申請を促す。						
外部評価委員会の意見	物価高騰を考慮しながら、引き続き支援を続けていただきたい。			方向性			
				継続			
町としての考え方	該当者への事業周知を図るとともに、在宅介護における経済的負担を軽減するため、重度心身障がい者への支援を継続して行う。			方向性			
				継続			

事務事業評価シート

令和5年度

事業No.	514・515
-------	---------

所管課・係名	健康福祉課 健康支援係	予算科目	4 款 1 項 1 目				
事務事業名	地域医療充実支援事業	予算大業名	保健衛生一般経費				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらす環境整備						
総合発展計画【項】	第4項 医療・介護保険事業の推進						
事業の概要	目的 町内医療機関の看護師不足の解消						
	内容 ①看護師等を正規職員として採用した医療機関へ交付金を交付 ②町内医療機関等で勤務する意思のある看護学生へ奨学金の貸付						
令和3年度分の外部評価の意見	定期的な実態調査と、制度の周知を徹底していただきたい。		方向性				
			改善				
令和4年度分の町としての考え方	今後も町内医療機関の実情把握や制度周知に努め、地域医療の安定化を図るために助成金の交付及び奨学金の貸付を継続していく。		方向性				
			改善				
令和5年度に対応した主な活動	①令和5年度の要綱改正に基づき事業を実施した。雇用状況調査の他、交付金の助成対象者(算出基礎看護師)数の把握に努めた。 ②町広報やHPで周知。看護師養成機関、庄内地域の高等学校、県看護協会へ制度周知を行った。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	①6,500千円 ②1,730千円	①7,300千円 ②1,390千円	①10,060千円 ② 600千円	①10,038千円 ② 600千円			
令和5年度決算内訳(円)	①地域医療安定化対策支援交付金 2医療機関 10,038千円 ②看護師等奨学金貸付金 1件 ※50,000円×1人×12月=600千円						
成果指標設定の考え方	実績値として①交付金を交付した医療機関実数 ②奨学金貸付人数(新規人数・累計)を計上。						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和5年		
	①1件②新規2人・累計15人	①2件②継続2人・累計15人	①2件②継続1人・累計15人	目標値	実績値		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	2	3	3	3	2	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	本事業は、町内における医療の安定化並びに看護師等の働きやすい環境づくりや資質の向上を図ることと、町内医療機関等への就職を志す者への経済的支援を行い、看護師等の安定的な確保と定着を目的とした事業であり、妥当性と貢献度は高い。一方で奨学金利用者は増えておらず、継続者1人にとどまっているため、有効性・活動量は2を付けた。						
課題(改善すべき点/方向性)	制度の整備と、対象者がより利用しやすい制度にするための見直しが課題となっている。						
外部評価委員会の意見	学校の実情把握に努め、計画的な制度周知に努めていただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	今後も学校の実状把握に努めるとともに、関係機関等への制度周知を計画的に行う。					方向性	
						継続	

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	245			
所管課・係名	企画課 企画係	予算科目	2 款 1 項 8 目				
事務事業名	在町外国人等の「暮らし応援」助成金交付事業	予算大事業名	国際交流事業				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第3節 共に助け合う地域の絆の再生						
総合発展計画【項】	第2項 地域福祉を担う人材育成						
事業の概要	目 的 外国人住民の生活継続の確保						
	内 容 母国への里帰りの際の交通費や、就労に役立つ資格取得費に対する助成を行う						
令和3年度分の外部評価の意見	着実に進めていただきたい。			方向性			
				継続			
令和4年度分の町としての考え方	引き続き事業の周知を行いながら、在町外国人の定着・生活継続に資するよう進めていく。			方向性			
				継続			
令和5年度に対応した主な活動	広報ゆげでの周知と日本語講座受講者への周知を行った。また申請も含めた手続き等の問い合わせも21件程あり、NPO法人いなか暮らし遊佐応援団と連携し対応を行った。						
予算・決算(千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	0	234	500	475			
令和5年度決算内訳(円)	在町外国人等の「暮らし応援」助成金交付事業 交付金額 10件 475,100円						
成果指標設定の考え方	里帰り助成及び資格取得助成の申込件数						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度	令和6年		
	0件	4件	10件	目標値	10件		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	3	A	継続
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	新型コロナウイルス感染症が落ち着き、里帰り助成件数が目標値に達したため有効性・妥当性・貢献度を3とした。また事前の相談・問い合わせにも対応したため活動量を3とした。在町外国人の定着・生活継続に寄与しているため事業を継続する。						
課題(改善すべき点/方向性)	引き続き周知を行いながら、相談があった際は分かりやすい対応に努める。						
外部評価委員会の意見	引き続き周知に努め、計画的に進めていただきたい						方向性
							継続
町としての考え方	引き続き事業の周知を行い、在町外国人の定着・生活継続に資するよう進めていく。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和5年度

			事業No.	516			
所管課・係名	健康福祉課 福祉係	予算科目	3 款 1 項 1 目				
事務事業名	地域支え合い体制づくり事業補助金	予算大事業名	老人福祉一般経費				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第3節 共に助け合う地域の絆の再生						
総合発展計画【項】	第3項 地域福祉を支える仕組みの充実						
事業の概要	目 的 高齢者活動の体制づくりの推進						
	内 容 老人クラブのある集落に対して、高齢者活動拠点となる施設の整備費用を補助する。						
令和3年度分の外部評価の意見	補助金交付の対象の拡大を検討していただきたい。			方向性			
				改善			
令和4年度分の町としての考え方	未活用集落への事業の周知に引き続き取り組むとともに、百歳体操の実施状況やニーズ調査を行った上で、補助金交付対象の拡大について検討する。			方向性			
				継続			
令和5年度に対応した主な活動	コロナ禍以降、百歳体操の事業機会は減っていたが、徐々に再開するところも出てきて、保健師等を通じて未活用集落への制度周知を行った。また、事業内容の見直しを検討するためのアンケート調査を実施した。						
予算・決算 (千円)	令和3年決算額	令和4年決算額	令和5年度予算額	令和5年決算見込額			
	50	100	200	0			
令和5年度決算内訳(円)	0円						
成果指標設定の考え方	老人クラブのある集落数/集落数						
成果指標の年度経過	令和3年	令和4年	令和5年	目標年度			
	78.1%	78.0%	70.6%	目標年度 目標値			
				令和5年 70%			
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	2	3	3	2	1	B	改善
令和5年度担当課年度評価(方向性の理由)	日常的な支え合い体制づくりとして百歳体操に取り組む上で事業の有効性、妥当性は評価できる。一方、令和5年度は事業に対する問合せはあったものの実際の申請にはつながらず、周知面の取組みが足りなかったため活動量を1とし、周知活動の見直しが必要であるため方向性を改善とした。						
課題(改善すべき点/方向性)	アンケート調査では、回答いただいた集落のうち約半数が本事業を活用していたが、必要物品があると回答した集落で未申請の集落もあったので、そういった対象集落を中心に事業の活用について周知していく。						
外部評価委員会の意見	未申請の集落の活用に繋がるよう、周知を工夫していただきたい。						方向性
							改善
町としての考え方	事業を有効に活用していただくために、アンケート調査で未申請の集落のうち、必要物品があると回答した集落を中心に改めて周知を行っていく。						方向性
							改善

・ ・ ・ ・ ・ 第 2 部 ・ ・ ・ ・ ・

事務事業の外部評価報告書

1. 外部評価制度について

遊佐町行政評価外部評価委員会設置の目的

当町における行政評価制度の導入は、平成 15 年度より試行導入し、平成 16 年度から役場内部で遊佐町行政評価推進委員会を設置して、行政事務事業評価を実施してきました。具体的には、事業の目的や成果を検証し、更には課題を整理しながら当該事業を、より良い方向に改善していくという内部評価に取り組んできました。

しかし、この過程で三つの課題が浮び上がりました。一つ目は、行政評価は、町民への施策や事務事業の説明を目的として、事業の見直しや仕分けというものに繋げるための制度と位置づけているものの、実際には、行政評価の結果と遊佐町の振興計画の策定作業とが直接結びついていない状況でした。

二つ目は、行政評価を行った結果が町民への説明資料として作成されるものの、評価により明らかになった課題が次年度の計画や予算に直接反映することがない状況でした。その結果、普段の行政事務が整理されないまま、行政評価の事務が増えているだけといった状況があり、町民説明という目的は幾分果たしているものの、優先順位として直接業務に影響している度合いは、決して高いものではありませんでした。

三つ目は、評価の対象として、評価する必要性が低いと思われる事業や、町に裁量権が無い事業などが評価対象とされていることによって「何のための行政評価なのか」といった評価を行う目的がさらにぼやけてしまっている状況にありました。

以上のように、より効率的で効果的な政策運営を進める仕組みや、町民に分かりやすい町政の運営を図る仕組みというものが求められています。そこで、町民による客観的な評価により明らかになった課題を、迅速に次年度の計画に反映していくことで、町民本位の町政、町民の視点に立った町政に変えていく行政経営の一つの手段として、外部評価制度の導入ということが検討されました。その結果、平成 22 年度から外部評価制度を導入することとなり、遊佐町行政評価外部評価委員会を設置し、その目的を、町が実施する行政評価に関し、「評価制度の透明性と評価内容の客観性を確保すること」としました。

2. 評価の視点（外部評価に当たっての視点）

外部評価に際して、事業を町が本当にしなければならないものか、という「行政関与の妥当性・必要性」に重きを置き、その上で、「事業の効率性」さらにはその「事業の効果・成果」を順に検討しました。これら視点の具体的な内容は、

次の通りです。

(1) 行政関与の妥当性・必要性

- ・行政でなければできないことがあり、行政だからできることがあります。町の行政を町民の視点で検討し、行政が関与していく必要性を検証します。
- ・世の中には、社会的弱者と言われる人たちがいて、行政が関与しなければ、助けることができない場合があります。社会的弱者の視点で、行政が関与することは、妥当なのか、必要なのか、検証します。
- ・事業の中には、「なぜ行政がここまで関与するのか」というような疑問を抱く事業もあります。いろいろな協議会や協会の事務局を行政が行っている場合がありますが、行政サービスと行政が関与する必要性を混同しているときがあります。町民の視点で、見直す必要性があるかを検証します。
- ・以前は、声が大きい人や権威がある人が言うと、予算が通る時代がありました。しかし、近年の歳出抑制の時代には、行政でも、できないものはできないと言うべきであり、町民に任せることも必要です。行政がすべきことと町民ができることを比較しながら、検証します。
- ・例えば、国で決めた補助事業を、そのまま鵜呑みにして導入し、町で実施するのはいかがなものかと考えます。失敗する場合もあり、失敗してもだれも責任をとりません。町民にとって本当に必要な事業は何か、行政も本当に必要と考え実施している事業なのか、町民の視点で検証します。

(2) 事業の効率性

- ・ムダの排除ということを考え、まとめられる事業はまとめるべきです。同じような事業を、違う課にまたがって行っている場合もあるので、類似的な事業はないか、事業の再編や統合はできないか、事業の効率性を考えた合理化という視点で検証します。
- ・どんな事業も費用が優先されるが、費用をかけないサービスという効率的な視点で事業はできないか、検証します。

(3) 事業の効果・成果

- ・事業の効果・成果が、行政において、あまり確認されていない場合があります。町民の視点で費用対効果も含めて、事業の効果・成果を確認し、今後、どのようにすべきかを検証します。
- ・事業の効果・成果について、行政としての評価が甘くないか、過大すぎないか、検証します。

(4) その他

- ・費用対効果や受益と負担のバランス、町民への奉仕者としての役割を、企業経営という視点で比較しながら検証します。
- ・業務上の日常の管理が事業の実施上の管理に結びついているか、管理するための目標値がきちんと設定されているかという視点で検証します。
- ・事業も長期に渡り実施することで、マンネリ化、慢性化してくる。そのようなことによる弊害を防ぐという視点で検証します。
- ・外部評価の実施も15年目となり、昨年までとの比較という視点で検証します。

令和6年度 遊佐町行政評価外部評価委員会 名簿

班	種類	氏名	地区	推薦等	備考
1	1号	佐藤 陽	西遊佐	西遊佐地区まちづくりの会推薦	班長
	1号	渡辺 裕子	遊佐	遊佐地域づくり協議会推薦	
	3号	池田 恒紀	蕨岡		
	3号	阿部 恵美子	吹浦		
	3号	本間 功	稲川		
2	3号	佐藤 悦雄	遊佐		班長
	1号	高橋 智	蕨岡	蕨岡まちづくり協会推薦	
	1号	本間 美智	稲川	遊佐町広報委員会推薦	
	1号	佐藤 早苗	高瀬	高瀬まちづくりの会推薦	
	3号	佐藤 憲三	遊佐		委員長
3	1号	真嶋 敦子	稲川	稲川まちづくり協会推薦	班長
	1号	鈴木 由美子	吹浦	吹浦地区まちづくり協議会推薦	
	2号	長澤 良樹	蕨岡	庄内みどり農協推薦	
	2号	高杉 晋	遊佐	遊佐町商工会推薦	
	3号	池田 隆子	稲川		

事務局

企画課	渡会 和裕	企画課長
	佐藤 裕也	企画係長
	瀧口 めぐみ	主任
	高橋 愛	主任
	菅原 優輔	主事

遊佐町行政評価外部評価委員会設置要綱

(設置)

第1条 町が実施する行政評価に関し、評価制度の透明性と評価内容の客観性を確保することを目的に、遊佐町行政評価外部評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 町が実施した事務事業評価の内容の検証を行うこと。
- (2) 町が実施した事務事業評価の内容に関し、提言及び提案を行うこと。
- (3) 行政評価制度のあり方に関し、提言を行うこと。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、町長が必要と認めた事項

(組織等)

第3条 委員会は、委員15人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者の中から、町長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 町の区域内の公共的団体等の役員または職員
- (3) 公募による町民
- (4) 前3号に掲げるもののほか、町長が特に必要と認める者

3 委員の任期は、委嘱した日から2年以内とする。ただし、再任を妨げない。

4 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 町長は、委員が心身の故障のため職務の執行ができないと認めるとき、又は委員に職務上の義務違反その他委員たるに適しない行為があると認められるときは、その委員を罷免することができる。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 委員長に事故あるとき又は欠けたときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者又は関係職員の出席を求めることができる。

3 委員長は、第2条に規定する所掌事項を効率的に処理するため、委員に分業を指示することができる。この場合において、委員は、その結果を委員長に報告

するものとする。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、行政評価担当所管課において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、委員長が会議に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成22年5月31日から施行する。

附 則 (平成26年6月13日告示第121号)

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則 (平成29年6月20日告示第174号)

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則 (令和4年10月3日告示第181号)

この要綱は、公布の日から施行し、改正後の第3条第3項の規定は、現に委員である者について適用する。

附 則 (令和5年10月11日告示第170号)

この要綱は、公布の日から施行する。

遊佐町行政評価外部評価委員会公募委員選考要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、遊佐町行政評価外部評価委員会設置要綱第3条第2項第2号の規定に基づく公募による委員(以下「公募委員」という。)の選考方法等に関し必要な事項を定めるものとする。

(応募資格)

第2条 公募委員に応募しようとする者(以下「応募者」という。)は、次に掲げる要件を備えていなければならない。

- (1) 遊佐町の町政に関心のある者
- (2) 遊佐町の住民基本台帳に記載され、又は、外国人登録原票に登録されている者で、引き続き1年以上遊佐町内に居住している者
- (3) 応募する年度の4月1日現在の年齢が20歳以上の者
- (4) 平日に開催する会議等にも出席できる者
- (5) 国又は地方公共団体の職員、国会又は地方議会の議員でない者

(応募方法等)

第3条 公募委員の募集は、遊佐町役場の掲示場に掲示するほか、遊佐町広報等により行うものとする。

- 2 公募委員の募集人員、募集期間、応募方法等は、遊佐町行政評価外部評価委員募集要項に定める。
- 3 応募者は、遊佐町行政評価外部評価委員会応募用紙(別記様式。以下「応募用紙」という。)により応募するものとする。

(選考の方法)

第4条 公募委員の選考に当たり、遊佐町行政評価外部評価委員会選考委員会(以下「選考委員会」という。)を設置する。

- 2 選考委員会は、副町長、教育長、総務課長、企画課長で構成する。
- 3 選考委員会に委員長を置き、副町長をもってこれに充てる。
- 4 選考委員会は、応募資格及び応募用紙の記載内容を審査の上、選考するものとする。この場合において、次に掲げる事項を総合的に考慮するものとする。

- (1) 男女比や年齢構成の均衡
- (2) 職種の多様性
- (3) その他必要な事項

(選考結果の報告等)

第5条 委員長は、公募委員の選考を終了したときは、直ちに町長に報告しなければならない。

- 2 町長は、前項の報告を受けたときは、速やかに、選考結果を応募者全員に書面で通知するものとする。
- 3 応募用紙は、返却しないものとする。
- 4 応募者等からの選考過程についての問い合わせには応じないものとする。

(庶務)

第6条 選考委員会の庶務は、行政評価担当所管課において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、委員長が選考委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成22年5月31日から施行する。(遊佐町告示第70号)

令和6年度外部評価ヒアリング日程(令和5年度事後評価)

班	課名	係名	内部 評価	外部 評価	日程		場所
					日	時間	
1班 (19事業)	健康福祉課	介護保険係	0	3	7月11日	9:00~10:30	第1 会議室
	教育課	総務学事係	2	1		10:30~11:00	
	企画課	企画係	6	2		11:00~12:00	
		観光物産係	4	3		13:00~14:30	
		定住促進係	1	10	7月12日	9:00~15:00	
2班 (17事業)	健康福祉課	健康支援係	0	10	7月11日	9:00~15:00	第1 委員会室
		国民健康保険係	0	1		15:00~15:30	
	地域生活課	管理衛生係	5	6	7月12日	9:00~12:00	
3班 (19事業)	健康福祉課	福祉係	0	5	7月11日	9:00~11:30	第2 委員会室
		子育て支援係	0	5		11:30~15:00	
	産業課	水産林業係	1	3	7月12日	9:00~10:30	
		産業創造係	3	3		10:30~12:00	
		農業振興係	0	3		13:00~14:30	
今年度 ヒアリング なし	総務課	総務係	2	0			
		財政係	0	0			
		危機管理係	5	0			
		ICT推進室	4	0			
	企画課	PAT整備推進室	0	0			
	産業課	エネルギー政策推進室	2	0			
	農業委員会	農地管理係	0	0			
		地域生活課	土木係	2	0		
			上水道係	2	0		
	下水道係		2	0			
	町民課	課税係	3	0			
		町民係	2	0			
		納税係	2	0			
	議会事務局	議事係	1	0			
	教育課	文化係	0	0			
社会教育係		1	0				
合計			50	55			
事務事業総数			105				

令和 6 年度外部評価ヒアリング結果(令和 5 年度事後評価)

(1) 評価結果(事業の「方向性」の特徴・比較)

・全部で 55 事業について評価しましたが、次年度以降の事業の「方向性」について、担当課評価と外部評価に分けて集計した結果は、別表(P.88)の通りです。また、全事業の個々の評価については、次項「令和 6 年度外部評価結果一覧表」(P.89～P.95)をご覧ください。

・担当課評価の「継続」が 43 事業 78.18%に対して、外部評価の「継続」が 37 事業 67.27%、担当課評価の「改善」が 8 事業 14.55%に対して、外部評価の「改善」は 17 事業 30.91%となりました。なお、担当課年度の「縮小」は 4 事業 7.27%、外部評価の「縮小」は 1 事業 1.82%でした。

・担当課年度評価に比べて、外部評価の方が厳しい結果となることは例年どおりの傾向であると言えます。その中でも、過去3年ほどの外部評価を振り返ってみると、外部評価の「継続」「改善」の比率が、同率又は「改善」の割合が高くなる傾向が続いていたことを鑑みると、今年度の外部評価結果についてはある程度担当課評価(=内部評価)について、外部評価委員会からの支持を受けたと考えることができます。

・「方向性」の内訳について、担当課評価と外部評価を突き合わせると、「継続」、「改善」「縮小」の評価が一致している事業は、55 事業のうち 45 事業であり、一致している割合は 81.81%です。ほぼ同一の事業の外部評価を実施した令和 4 年度外部評価(令和 3 年度事後評価)では、一致している事業数が 59 事業のうちの 36 事業であり、割合として 61.01%だったため、令和 6 年度外部評価(令和 5 年度事後評価)の方向性と一致した事業の割合は、令和 4 年度(令和 3 年度事後評価)と比較して+20.8%となり、方向性が一致する割合は、大幅に改善したと言えます。ヒアリングでのやりとりを通じ、各課(各係)において、過去の外部評価の指摘事項に対して、真摯に対応できた事業が一定数見受けられました。

・今年度、担当課評価と外部評価の方向性の乖離が小さくなった理由としては、事務事業評価シート内の「担当課年度評価」欄の記載方法を一定程度、統一できたことにあると考えます。「担当課年度評価」欄に、担当者が当該事務事業を振り返り、有効性・妥当性・貢献度・効率性・活動量の 5 つの評価基準に対し、「各評価を付けた理由」を書くことを徹底させたことで、外部評価委員会としても担当課評価の方向性に納得感を持つことができたものと推察しています。

(2) 今後に向けて

- ・斎藤教授からの講評(P105～P106)にもあるとおり、「継続」と評価された事業であっても例年通りと判断せず、常に町民の視点に立ち返り、事業の妥当性等を再検討し、更なる事業の充実を図る必要があります。
- ・外部評価で「改善」の判定をされた事業は、外部評価委員より厳しい指摘、意見を受けた事業が多く、担当課が事業内容や制度設計の見直しを含め、具体的な改善策を示し、実施する必要があります。担当課年度評価で課題を明らかにしている事業が多いため、その課題の解決に向け、各課において具体的に改善に向けた取組を進めていただきたいと思います。
- ・事務事業評価シートは、決まった様式ではなく、必要に応じて適宜見直し、修正する必要があります。また外部評価委員、町民に対して分かりやすい内容にするため、評価シートの形式に留まらず評価基準・評価値といった本評価制度の抜本的な部分に関しても、わかりやすい形での見直しを図ります。
- ・今年度は、昨年度に引き続きヒアリング対象事業に係る事務事業について、各課に対し、事前の資料提出をお願いしたところです。また、班長会議を随時開催し、当日のヒアリングの進め方、各事業に対する指摘事項などについて意識共有を図り、円滑に外部評価ヒアリングが進むように努めました。このような取組みについては引き続き外部評価委員の意見を踏まえ、次年度以降も必要な事項については改善を図ってまいります。

(別表)

令和6年度(令和5年度事後評価) 外部評価の評価結果

方向性の集計

方向性	担当課評価	%	外部評価	%
拡大		0.00%		0.00%
継続	43	78.18%	37	67.27%
改善	8	14.55%	17	30.91%
縮小	4	7.27%	1	1.82%
統合		0.00%		0.00%
廃止		0.00%		0.00%
終了		0.00%		0.00%
対象外		0.00%		0.00%
計	55	100.0%	55	100.0%

方向性の内訳

		外部評価								
方向性		拡大	継続	改善	縮小	統合	廃止	終了	対象外	計 (%)
担当課評価	拡大									0 (0.0)
	継続		37	6						43 (78.18)
	改善			8						8 (14.55)
	縮小			3	1					4 (7.27)
	統合									0 (0.0)
	廃止									0 (0.0)
	終了									0 (0.0)
	対象外									0 (0.0)
	計 (%)		0 (0.0)	37 (67.27)	17 (30.91)	1 (1.82)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)



← 担当課評価と外部評価の「方向性」が一致するもの。

令和6年度外部評価結果一覧表(令和5年度事後評価) 総合発展計画第1章～第3章

←担当課評価と外部評価の方向性が異なる事業

第1章 地域の特性を活かした産業振興と多彩な働き場の構築<産業振興>

第1節 雇用の安定と就労環境の充実

第1項 新たな雇用を生み出す企業誘致の推進

章	節	項	事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
					評価値	方向性	方向性	意見
1	1	1	立地企業支援事業	産業課 産業創造係	A	継続	継続	雇用促進に繋がるよう、計画的に実施していただきたい。
1	1	1	ビジネスネットワーク事業	産業課 産業創造係	A	継続	継続	ネットワークを活かし、より一層企業の誘致に努めていただきたい。

第2項 未来の産業を担う人材育成と発掘

該当事業なし

第3項 多様な働き方を支える就労環境への支援

該当事業なし

第2節 所得の向上と後継者育成

第1項 農林水産業の育成

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
1	2	1	遊佐ブランド推進事業	産業課 産業創造係	B	改善	改善	ネット販売の活用方法を工夫し、遊佐ブランドの周知と売上額の向上を図っていただきたい。
1	2	1	あわびの放流事業	産業課 水産林業係	A	継続	継続	漁業収益の向上に努め、着実に進めていただきたい。
1	2	1	あわび陸上養殖事業	産業課 水産林業係	A	継続	改善	委託業者との連携を図り、飼育体制の強化及び販路拡大に取り組んでいただきたい。
1	2	1	サケふ化場増設更新事業	産業課 水産林業係	A	継続	継続	先進地の事例も参考にしつつ、計画的に進めていただきたい。

1	2	1	チャレンジファーム事業	産業課 農業振興係	A	継続	継続	就農者のサポート体制を充実させ、事業に取り組んでいただきたい。
1	2	1	まるごと遊佐推進事業	産業課 農業振興係	A	継続	継続	引き続き、消費者と生産者の交流を図り、遊佐産農作物のアピールに取り組んでいただきたい。
1	2	1	産地化推進作物転作促進 支援事業	産業課 農業振興係	A	継続	継続	引き続き、地域振興作物の積極的な拡大を図っていただきたい。

第2項 既存産業の競争力を引き出す経営基盤の強化 該当事業なし

第3節 地域資源を活かした観光振興

第1項 効果的な情報発信と観客活動の強化

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
1	3	1	観光イベント実施事業	企画課 観光物産係	A	継続	改善	目標値を見直し、誘客の促進に努めていただきたい。
1	3	1	観光情報提供事業	企画課 観光物産係	A	継続	継続	観光案内の一元化など計画的に進めていただきたい。

第2項 観光客受け入れ体制の整備・拡充

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
1	3	2	グリーン&ブルーツーリズム実施事業	企画課 観光物産係	D	縮小	改善	遊佐町に不足している宿泊施設の確保に努めていただきたい。

第3項 高速道路を活用した拠点整備 該当事業なし

第2章 若者に選んでもらえるまちづくり《移住・定住》

第1節 移住（帰郷・新規転入）希望者の定住促進

第1項 遊佐が好きになる、住みたくなる情報の発信と回帰支援

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
2	1	1	IJUターン就職支援事業	企画課 定住促進係	C	縮小	改善	各種助成金の見直しを行っていただきたい。
2	1	1	若者ふるさと回帰 推進事業	企画課 定住促進係	A	継続	継続	将来的にも大切な事業、着実に進めていただきたい。
2	1	1	移住・交流推進事業	企画課 定住促進係	A	継続	継続	効果的な情報発信に努めていただきたい。
2	1	1	移住交流推進支援事業	企画課 定住促進係	A	継続	継続	関係団体と連携し、進めていただきたい。

第2項 空き家の活用による移住者支援とアフターケアの充実

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
2	1	2	空き家再生 地域おこし事業	企画課 定住促進係	B	改善	改善	メディアを活用した周知方法を検討していただきたい。
2	1	2	定住住宅 空き家活用事業	企画課 定住促進係	A	継続	継続	引き続き着実に進めていただきたい。
2	1	2	集落支援員活用事業	企画課 定住促進係	A	継続	継続	現状に沿い計画的に進めていただきたい。
2	1	2	移住世帯上水道使用料 助成事業	企画課 定住促進係	B	改善	改善	幅広く支援が受けられるように要件を見直していただきたい。

第2節 若者の定住促進

第1項 若者対象事業の充実

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
2	2	1	結婚支援推進事業	企画課 定住促進係	C	縮小	縮小	現状を踏まえての進め方を検討していただきたい。

第2項 未来を担う“ゆざっ子”のはばたき支援

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
2	2	2	遊佐高校魅力化地域連携支援事業	企画課 企画係	A	継続	継続	引き続き計画的に進めていただきたい。
2	2	2	遊佐高校就学支援事業 (キャリアアップ支援)	教育課 総務学事係	A	継続	継続	計画的に事業を進めていただきたい。
2	2	2	若者住宅建設支援 (取得支援) 事業	地域生活課 管理衛生係	A	継続	継続	町内外に今後も広報活動を幅広く行い、計画的に進めていただきたい。
2	2	2	若者住宅建設支援 (建設支援) 事業	地域生活課 管理衛生係	A	継続	継続	引き続き計画的に進めていただきたい。
2	2	2	若者住宅建設支援 (賃貸住宅建設) 事業	地域生活課 管理衛生係	B	改善	改善	引き続き民間事業者への制度の周知に努めていただきたい。

第3項 家族の絆づくり支援

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
2	2	3	舞鶴地区 若者定住促進事業	企画課 定住促進係	A	継続	継続	適切に事業を進めていただきたい。
2	2	3	木造住宅耐震診断事業	地域生活課 管理衛生係	A	継続	改善	耐震診断対象家屋の実態把握に努め、計画的に診断を進めていただきたい。
2	2	3	持家住宅リフォーム支援 金事業	地域生活課 管理衛生係	A	継続	継続	予算に注視しながら、今後も計画的に事業を進めていただきたい。
2	2	3	住宅リフォーム資金利子 補給事業	地域生活課 管理衛生係	A	継続	継続	町民への周知を図り、今後も計画的に事業を進めていただきたい。

第4項 地域との絆づくり支援

該当事業なし

第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》

第1節 子育てしやすい環境の整備

第1項 出産・子育てにおける切れ目のない環境整備

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
3	1	1	幼児むし歯予防事業	健康福祉課 健康支援係	A	継続	継続	引き続き計画的に実施していただきたい。

第2項 充実した子育て支援体制の推進

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
3	1	2	放課後児童クラブ事業	健康福祉課 子育て支援係	A	継続	改善	希望する児童を受入れできるような体制整備を図っていただきたい。
3	1	2	子育て支援センターの運営事業	健康福祉課 子育て支援係	A	継続	継続	引き続き子育て世代が利用しやすい運営を行っていただきたい。
3	1	2	育児支援家庭訪問事業	健康福祉課 子育て支援係	C	縮小	改善	関係機関と連携し、必要な人に支援が届くようにしていただきたい。
3	1	2	すくすくゆざっ子支援金支給事業	健康福祉課 子育て支援係	A	継続	継続	適切な支給事務処理のもと、引き続き事業を継続していただきたい。
3	1	2	子育て世帯移住奨励金交付事業	健康福祉課 子育て支援係	A	継続	継続	適正な制度説明を行い、引き続き事業を継続していただきたい。

第2節 健康でいきいきとくらせる環境整備

第1項 高齢者のいきがづくりと社会参加の推進

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
3	2	1	介護予防事業	健康福祉課 健康支援係	A	継続	継続	今後も新規集落が開設できるように、計画的に進めていただきたい。

第2項 安心してくらせる環境整備

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
3	2	2	高齢者福祉タクシー事業	健康福祉課 福祉係	B	改善	改善	関係機関と連携して、町内全体の移動手段の在り方について検討していただきたい。
3	2	2	高齢者鍼灸マッサージ 助成事業	健康福祉課 福祉係	A	継続	継続	施術院との連携を密に、引き続き事業を実施していただきたい。

第3項 健康づくりの推進と介護予防の充実

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
3	2	3	介護予防事業 (ゆったり健康サロン)	健康福祉課 介護保険係	D	縮小	改善	参加申込方法を見直し、計画的に進めていただきたい。
3	2	3	いきいき健康教室	健康福祉課 介護保険係	A	継続	継続	周知に努め、引き続き進めていただきたい。
3	2	3	寝具乾燥消毒サービス事業	健康福祉課 福祉係	A	継続	継続	高齢者の衛生的な環境づくりのため、引き続き事業に取り組んでいただきたい。
3	2	3	ゆざ健康マイレージ事業	健康福祉課 健康支援係	A	継続	改善	ポイント交換回数とポイント付与対象事業の拡大を検討していただきたい。
3	2	3	がん検診受診率向上事業	健康福祉課 健康支援係	A	継続	継続	受診率の維持向上に向けて、定期的な受診勧奨を計画的に進めていただきたい。
3	2	3	特定健診事業	健康福祉課 健康支援係	A	継続	継続	受診率の維持向上に向けて、定期的な受診勧奨を計画的に進めていただきたい。
3	2	3	特定保健指導	健康福祉課 健康支援係	A	継続	継続	指導率の向上に向けて、計画的に実施していただきたい。
3	2	3	高齢者体力アップ事業	健康福祉課 健康支援係	B	改善	改善	事業内容と申込方法を工夫していただきたい。
3	2	3	食生活改善推進員 養成事業	健康福祉課 健康支援係	A	継続	継続	計画的に実施していただきたい。
3	2	3	訪問口腔衛生指導	健康福祉課 健康支援係	A	継続	継続	要介護高齢者の健康保持のため、引き続き計画的に実施していただきたい。

第4項 医療・介護保険事業の推進

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
3	2	4	医療制度の周知事業	健康福祉課 国民健康保険係	A	継続	継続	住民への情報提供を着実に進めていただきたい。
3	2	4	家族介護継続支援事業	健康福祉課 介護保険係	A	継続	改善	目標値を見直し、進めていただきたい。
3	2	4	重度心身障がい者紙おむつ支給事業	健康福祉課 福祉係	A	継続	継続	物価高騰を考慮しながら、引き続き支援を続けていただきたい。
3	2	4	地域医療充実支援事業	健康福祉課 健康支援係	A	継続	継続	学校の実情把握に努め、計画的な制度周知に努めていただきたい。

第3節 共に助け合う地域の絆の再生

第1項 地域福祉に対する町民意識の醸成

該当事業なし

第2項 地域福祉を担う人材育成

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
3	3	2	在町外国人等の「暮らし応援」助成金交付事業	企画課 企画係	A	継続	継続	引き続き周知に努め、計画的に進めていただきたい。

第3項 地域福祉を支える仕組みの充実

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
3	3	3	地域支え合い体制づくり事業補助金	健康福祉課 福祉係	B	改善	改善	未申請の集落の活用につながるよう、周知を工夫していただきたい。

令和6年度 外部評価制度に対して外部評価委員から出された意見

【外部評価制度全般に関して】

- ・町政に対して町民の視点で事業評価できる外部評価委員会は貴重な機会と感じます。人口変動など社会状況の変化の中で、町民の生活の質をどう保つかで、人々に支持される町政となっていくと感じさせられました。
- ・外部評価委員をすることで、事業に関心を持つようになり、情報を入手するため、「ゆぎ広報」「議会だより」「役場からの回覧物」など関連する資料に細かく目を通す時間も多く(増えた)なった。
- ・遊佐町のことを色々知れて勉強になりました。貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。
- ・初めて参加しましたが、事業への取組みを知る機会を得て、知識を深めることができました。より良い事業展開を目指し、がんばっている職員の方に一町民として感謝申し上げます。

【外部評価委員会について】

- ・各団体選出の外部評価委員は、会議に出席可能な人を選出してもらいたい。少ない委員の中で1人でも欠けると議論が偏ります。
- ・委嘱状交付から外部評価ヒアリングまでの期間が 21 日間で、事務事業評価シート内容確認にゆとりがあった。

【外部評価ヒアリングについて】

- ・自分に関係することは理解できたが、あまり関心がない事業については少々難しかった。
- ・資料が多すぎる。
- ・2班体制にして人数を減らし、欠席者が居ないような委員会にしていきたい。
- ・副班長を設けて、2年以上委員を務めた方は班長又は副班長に就き、各地区持ち回りで行うのはどうでしょうか。

【その他】

(事務事業評価シートに関して)

- ・事務事業評価シートの中にある「成果指標の年度経過」欄で、比率(%)を記載している場合、その根拠となるデータ(分子/分母)をシート上に記入するようにはどうか。本来ならシート1枚で見れる・確認できることが望ましいと思う。
- ・成果指標の目標年度が令和5年、令和6年、令和7年と3通りあったが、その理由が分からなかった。

(委員任期や体制について)

- ・長く委員をやっていると慣れあいが生じて来ると思う。再任を妨げないとあるが、見直しが必要ではないか。

評価対象外事業一覧表

(評価の必要性が低いため、評価対象から外す事業)

令和6年度(令和5年度実施事業)

① 町に裁量権がない事業(68事業)

※●は実施計画に記載のある事業

No	事業名	事業費(千円)	担当課名・係名
260	選挙管理事務事業	23,889	総務課総務係
9	自衛隊募集対策費	73	総務課危機管理係
12	交通災害共済事業	232	総務課危機管理係
16	消防補償等組合負担金	13,246	総務課危機管理係
37	LGWAN管理業務	179	総務課ICT推進室
258	住民基本台帳ネットワークシステムの安全な運用	884	総務課ICT推進室
444	電子申請システム整備事業	623	総務課ICT推進室
445	統計調査業務	727	総務課ICT推進室
●531	番号制度システム改修等事業	3,543	総務課ICT推進室
3	登山道の整備推進事業	2,643	企画課観光物産係
●51	産業活性化対策事業	5,944	産業課産業創造係
●203	産業立地促進資金融資制度貸付事業	270,299	産業課産業創造係
●207	勤労者生活安定資金融資事業	10,000	産業課産業創造係
●210	小規模事業者経営指導補助事業	4,555	産業課産業創造係
●251	小額融資制度保証料補給金交付事業	1,946	産業課産業創造係
●641	地域経済活性化事業	2,160	産業課産業創造係
●671	ゆざっとプラザ協議会交付金事業	2,090	産業課産業創造係
●700	中小企業緊急災害等対策利子交付金事業	4,668	産業課産業創造係
115	栽培漁業地域展開促進事業	682	産業課水産林業係
●122	松くい虫防除事業(地上散布)	12,320	産業課水産林業係
●234	保全松林健全化整備事業(衛生伐)	14,726	産業課水産林業係
●277	地域水産物供給基盤整備事業	23,114	産業課水産林業係
331	漁業就業者確保育成事業	160	産業課水産林業係
333	鳥海岩ガキ漁場再生事業	400	産業課水産林業係
●474	農地水保全管理支払交付金(共同活動)	129,524	産業課水産林業係
●474	農地水保全管理支払交付金(向上活動)	21,560	産業課水産林業係
●477	メジカ地域振興推進事業	800	産業課水産林業係
●594	松くい虫防除事業(町単独)	70,375	産業課水産林業係
●636	水利施設等保全高度化事業	2,682	産業課水産林業係
●637	圃場整備事業	70,000	産業課水産林業係
●736	農村環境保全機械整備事業	811	産業課水産林業係
●20	中山間地域等直接支払事業	98,495	産業課農業振興係
●319	庄内広域行政組合分賦金 (食肉流通センター事業)	3,338	産業課農業振興係
●349	米儒供給調整推進事業	3,033	産業課農業振興係
●473	環境保全型農業直接支払交付金	33,706	産業課農業振興係
●500	経営所得安定対策等推進事業	7,901	産業課農業振興係
●501	農業次世代人材投資事業	2,650	産業課農業振興係

評価対象外事業一覧表

(評価の必要性が低いため、評価対象から外す事業)

●737	新規就農者育成総合対策事業	3,000	産業課農業振興係
●758	庄内広域行政組合分賦金（青果市場事業）	802	産業課農業振興係
●156	臨時県道整備負担金事業	8,100	地域生活課土木係
32	狂犬病予防事業	258	地域生活課管理衛生係
●246	国民健康保険支援事業（一般会計）	116,570	健康福祉課国民健康保険係
●364	後期高齢者医療制度（一般会計）	274,437	健康福祉課国民健康保険係
●365	後期高齢者医療制度（特別会計）	203,520	健康福祉課国民健康保険係
●393	国民健康保険支援事業（特別会計）	1,140,372	健康福祉課国民健康保険係
432	国民健康保険制度資格管理業務	805	健康福祉課国民健康保険係
433	後期高齢者医療制度資格管理業務	41	健康福祉課国民健康保険係
436	福祉医療給付事業（県単）	53,430	健康福祉課国民健康保険係
●60	介護保険事業（特別会計）	1,677	健康福祉課介護保険係
151	介護保険啓発事業	289	健康福祉課介護保険係
173	介護保険制度認定業務	11,079	健康福祉課介護保険係
407	介護保険制度資格管理業務	1,755	健康福祉課介護保険係
●41	養護老人ホーム措置事業	5,344	健康福祉課福祉係
65	障害者自立支援総務費	2,350	健康福祉課福祉係
●66	障がい者自立支援医療給付事業	13,378	健康福祉課福祉係
144	高齢者の訪問実態調査事業	130	健康福祉課福祉係
●281	障がい者自立支援給付事業	333,753	健康福祉課福祉係
●347	障がい者地域生活支援事業	6,750	健康福祉課福祉係
●485	老人クラブ活動助成事業	1,723	健康福祉課福祉係
●518	障がい児通所給付費等事業	14,428	健康福祉課福祉係
●571	シルバー人材センター運営補助事業	2,004	健康福祉課福祉係
●687	シルバー人材センター空き家等管理事業	1,404	健康福祉課福祉係
●688	生活困窮者就労支援事業	11,070	健康福祉課福祉係
●145	母子保健事業	12,326	健康福祉課健康支援係
174	母子保健事業（1歳6ヶ月・3歳児健診）	673	健康福祉課健康支援係
421	献血推進事業	336	健康福祉課健康支援係
422	新型コロナワクチン接種事業	48,614	健康福祉課健康支援係
456	人権啓発活動事業	122	町民課町民係

② 扶助的性質の高い事業（66事業）

※●は実施計画に記載のある事業

No	事業名	事業費（千円）	担当課名・係名
505	情報公開等制度運用事業	3,718	総務課総務係
71	広域行政推進事業	2,214	企画課企画係
●554	合併70周年記念事業	150	企画課企画係
●733	移住者向け食の支援事業	110	企画課定住促進係
●34	中小企業技術者養成補助事業	1,413	産業課産業創造係
●741	六次産業化、加工品開発事業	996	産業課産業創造係
●232	土地改良施設農外利用負担金	3,450	産業課水産林業係
●714	水産業成長産業化支援事業	4,751	産業課水産林業係

評価対象外事業一覧表

(評価の必要性が低いため、評価対象から外す事業)

162	家畜伝染病予防対策事業	660	産業課農業振興係
376	有害鳥獣駆除事業	1,029	産業課農業振興係
13	全町美化運動事業(2回)	642	地域生活課管理衛生係
39	害虫防除事業	710	地域生活課管理衛生係
44	海岸クリーンアップ推進事業	550	地域生活課管理衛生係
●247	重度心身障がい(児)者医療給付事業	31,458	健康福祉課国民健康保険係
●248	ひとり親家庭等医療給付事業	3,316	健康福祉課国民健康保険係
●249	子育て支援医療給付事業	42,242	健康福祉課国民健康保険係
434	福祉医療給付事業(町単)	23,586	健康福祉課国民健康保険係
●59	児童手当支給事業	132,870	健康福祉課子育て支援係
●280	ゆざっ子誕生祝金事業	3,400	健康福祉課子育て支援係
●611	ひとり親家庭等家賃補助事業	1,501	健康福祉課子育て支援係
●623	幼稚園一時預かり事業	1,621	健康福祉課子育て支援係
●719	ゆざっ子エンゼルサポート事業	1,135	健康福祉課子育て支援係
●720	障がい児保育対策事業	2,130	健康福祉課子育て支援係
●723	ひとり親家庭等教育応援手当支給事業	5,750	健康福祉課子育て支援係
●451	介護保険事業(一般会計)	300,543	健康福祉課介護保険係
73	電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金支給事業(非課税5万円)	66,962	健康福祉課福祉係
74	物価高騰対策給付金支給事業(非課税7万円)	93,676	健康福祉課福祉係
75	物価高騰対策給付金支給事業(均等割10万円)	24,478	健康福祉課福祉係
409	社明運動費	130	健康福祉課福祉係
411	認知症老人対策事業(補助金)	80	健康福祉課福祉係
413	緊急時通報システム事業	333	健康福祉課福祉係
417	身障者福祉タクシー事業	1,622	健康福祉課福祉係
●483	民生児童委員協議会運営事業	5,233	健康福祉課福祉係
●484	社会福祉協議会補助事業	20,497	健康福祉課福祉係
●622	敬老年金給付事業	2,040	健康福祉課福祉係
●625	食の自立支援事業	3,102	健康福祉課福祉係
626	身障者在宅福祉(人工透析)	307	健康福祉課福祉係
629	在宅介護者育成事業(補助金)	613	健康福祉課福祉係
630	健康福祉の町推進事業費	82	健康福祉課福祉係
631	戦没者追悼事業	155	健康福祉課福祉係
●649	雪かき応援事業	717	健康福祉課福祉係
●147	定期予防接種事業	34,768	健康福祉課健康支援係
●449	任意予防接種事業	4,043	健康福祉課健康支援係
●750	地域医療施設整備補助事業	13,004	健康福祉課健康支援係
●130	外国人英語助手招致事業	11,550	教育課総務学事係
●134	特別支援教育支援員等設置事業	32,689	教育課総務学事係
199	学校給食調理事業	13,081	教育課総務学事係
208	友遊スクール設置事業	1,272	教育課総務学事係
209	就学時健診事業	207	教育課総務学事係
211	小学校学校保健事業	3,240	教育課総務学事係
212	中学校学校保健事業	5,185	教育課総務学事係
●312	要保護及び準要保護就学援助事業	4,485	教育課総務学事係
314	学校給食費負担軽減対策事業	722	教育課総務学事係

評価対象外事業一覧表

(評価の必要性が低いため、評価対象から外す事業)

397	元気な学校づくり推進事業	690	教育課総務学事係
●672	特別支援教育就学奨励事業	1,404	教育課総務学事係
●673	中学校部活動指導員配置事業	2,371	教育課総務学事係
●691	学習支援塾推進事業	850	教育課総務学事係
●166	芸術文化振興事業	773	教育課社会教育係
167	ボランティア活動推進事業	52	教育課社会教育係
169	青少年育成センター事業	88	教育課社会教育係
170	文化振興事業	666	教育課社会教育係
●171	奥の細道鳥海ツアーマーチ開催事業	3,367	教育課社会教育係
172	家庭教育推進事業	43	教育課社会教育係
●607	統合型地域スポーツクラブ支援事業	2,466	教育課社会教育係
●651	議会中継配信事業	1,360	議会事務局議事係
●706	議会ICT化推進事業	3,024	議会事務局議事係

③ 施設の維持管理、計画策定、県の要請や委託など確実な実施で目的が達成する事業 (121事業)

※●は実施計画に記載のある事業

No	事業名	事業費(千円)	担当課名・係名
235	遊佐町四大祭開催事業	350	総務課総務係
289	区長会費	15,625	総務課総務係
●328	例規整備事業	5,987	総務課総務係
●355	庁舎管理事業	8,823	総務課総務係
●459	公用車整備事業	16,297	総務課総務係
269	公共施設等総合管理計画策定事業	616	総務課財政係
270	町有地管理費	432	総務課財政係
275	一般財産臨時経費	240	総務課財政係
285	財政管理経費	95	総務課財政係
286	会計管理経費	3,741	総務課財政係
287	登記事務費	3	総務課財政係
583	公会計財務書類作成事業	5,478	総務課財政係
●14	防犯灯設置事業	2,786	総務課危機管理係
●15	防災行政無線整備事業	9,845	総務課危機管理係
17	水難救助活動費	1,189	総務課危機管理係
18	消防団員費	13,715	総務課危機管理係
19	火災出動手当	629	総務課危機管理係
22	消防施設維持補修費	1,580	総務課危機管理係
26	水難救助活動費	1,189	総務課危機管理係
27	水防費一般経費	302	総務課危機管理係
29	災害対策一般経費	7,668	総務課危機管理係
31	防火・防災普及啓発事業	89	総務課危機管理係
33	避難誘導看板等設置事業	225	総務課危機管理係
●266	酒田地区広域行政組合分賦金(消防費)	196,401	総務課危機管理係

評価対象外事業一覧表

(評価の必要性が低いため、評価対象から外す事業)

345	消防施設管理費	4,434	総務課危機管理係
●709	非常備消防活動費	13,234	総務課危機管理係
●227	地域イントラネット管理業務・改修業務	11,712	総務課ICT推進室
●301	地域情報通信基盤管理事業	8,099	総務課ICT推進室
447	電算機器管理業務	46,764	総務課ICT推進室
●271	まちづくりセンター管理事業	14,295	企画課企画係
●724	まちづくりセンター改築事業	10,484	企画課企画係
79	海水浴場清掃事業	6,497	企画課観光物産係
80	西浜海水浴場砂除去事業	6,397	企画課観光物産係
●219	山岳観光トイレ維持管理事業	14,320	企画課観光物産係
●316	しらい自然館運営事業	12,220	企画課観光物産係
●348	観光施設改修事業	55,109	企画課観光物産係
●386	着地型観光育成事業	6,500	企画課観光物産係
●418	二次交通対策事業	6,787	企画課観光物産係
●470	地域間交流事業	2,060	企画課観光物産係
●499	海水浴場開設事業	10,620	企画課観光物産係
●536	鳥海ふれあいの里関連施設指定管理事業	45,300	企画課観光物産係
●675	河原宿避難小屋整備事業	4,796	企画課観光物産係
●774	観光誘客対策事業	13,134	企画課観光物産係
●642	地域活性化拠点施設活用事業	9,285	産業課産業創造係
●678	ゆぎ元町地域交流センター整備事業	645	産業課産業創造係
●107	小規模土地改良事業(町単)	1,000	産業課水産林業係
●108	一般農道整備事業	3,674	産業課水産林業係
●116	林道改良事業	2,331	産業課水産林業係
341	女鹿漁港修築事業	479	産業課水産林業係
●352	湛水防除排水機場維持管理事業	2,617	産業課水産林業係
●555	農村公園整備事業	1,457	産業課水産林業係
593	漁村センター管理費	4,065	産業課水産林業係
●322	さんゆう・さんグリーン指定管理事業	6,864	産業課農業振興係
380	体験農園整備事業	650	産業課農業振興係
381	放牧地貸付事業	254	産業課農業振興係
●383	道の駅「鳥海」ふらっと整備事業	6,755	産業課農業振興係
●179	上水道量水器整備事業	11,201	地域生活課上水道係
●685	水道施設台帳作成事業	9,955	地域生活課上水道係
●703	公共下水道公営企業会計移行事業	8,800	地域生活課下水道係
48	紙類資源物収集事業	1,146	地域生活課管理衛生係
●76	酒田地区広域行政組合分賦金(清掃分)	91,789	地域生活課管理衛生係
●77	一般廃棄物収集事業	23,716	地域生活課管理衛生係
●284	斎場施設整備事業	2,640	地域生活課管理衛生係
541	都市公園費	10,642	地域生活課管理衛生係
543	町営住宅管理事業	743	地域生活課管理衛生係

評価対象外事業一覧表

(評価の必要性が低いため、評価対象から外す事業)

●645	廃棄物ステーション整備事業	3,000	地域生活課管理衛生係
●725	月光川水系環境整備事業	15,179	地域生活課管理衛生係
54	集落内の下水路整備事業	4,268	地域生活課土木係
●149	町道維持及び危険緊急箇所の整備事業	33,288	地域生活課土木係
●155	橋梁長寿命化事業	48,806	地域生活課土木係
●157	交通安全施設整備事業	2,984	地域生活課土木係
●264	除雪機購入事業	419	地域生活課土木係
●306	町道及び公共施設の除雪事業	58,712	地域生活課土木係
●306	除雪機械整備事業	19,567	地域生活課土木係
●332	道路台帳整備事業	4,510	地域生活課土木係
●443	畑藤井金俣線(広畑橋)改築事業	94,962	地域生活課土木係
●453	町道道路改良事業	49,720	地域生活課土木係
●454	町道側溝整備事業	9,955	地域生活課土木係
●540	畑西線道路改良事業	34,375	地域生活課土木係
●660	栄橋撤去事業	3,302	地域生活課土木係
●546	保育園改修事業	2,453	健康福祉課子育て支援係
●572	教育・保育給付事業	184,098	健康福祉課子育て支援係
●767	子ども・子育て支援事業計画策定事業	2,578	健康福祉課子育て支援係
●378	後期高齢者健診事業	7,832	健康福祉課健康支援係
●751	がん患者支援事業	1,883	健康福祉課健康支援係
●302	戸籍電子化管理事業	22,056	町民課町民係
●131	小中学校管理運営備品整備事業	770	教育課総務学事係
●133	小中学校ICT整備事業	5,268	教育課総務学事係
●135	小中学校教育振興整備事業	8,609	教育課総務学事係
●140	中学校施設改良事業	26,143	教育課総務学事係
●141	小学校施設改良事業	17,921	教育課総務学事係
201	小学校施設維持管理事業	34,697	教育課総務学事係
202	中学校施設維持管理事業	23,287	教育課総務学事係
●254	小学校・中学校スクールバス運行管理事業	70,748	教育課総務学事係
●297	小・中教師用コンピュータ整備事業	4,065	教育課総務学事係
●313	中学校給食業務民間委託事業	1,353	教育課総務学事係
●412	学校給食備品整備事業	404	教育課総務学事係
●650	コミュニティスクール推進事業	2,723	教育課総務学事係
●168	青山邸保存整備事業	6,216	教育課文化係
●296	町内遺跡発掘調査等事業	1,733	教育課文化係
414	町史下巻編さん発行事業	991	教育課文化係
●415	民俗芸能伝承事業	2,196	教育課文化係
416	文化財保護推進事業	733	教育課文化係
420	歴史民俗学習館管理事業	1,116	教育課文化係
424	ゆざ学講座事業	40	教育課文化係
425	遺跡等管理事業	2,163	教育課文化係

評価対象外事業一覧表

(評価の必要性が低いため、評価対象から外す事業)

610	埋蔵文化財保存活用事業	32	教育課文化係
●628	杉沢文化交流施設管理運営事業	3,090	教育課文化係
●693	遊佐の宝保存伝承事業	793	教育課文化係
●712	史跡小山崎遺跡整備事業	11,715	教育課文化係
●82	社会教育施設維持補修事業	1,841	教育課社会教育係
236	トレーニングルーム利用拡大支援事業	138	教育課社会教育係
237	町立学校体育施設の夜間開放事業	3,923	教育課社会教育係
●435	町民体育館指定管理事業	21,055	教育課社会教育係
●437	放課後子ども教室推進事業	24,897	教育課社会教育係
●446	社会体育施設整備事業	3,775	教育課社会教育係
●487	図書館施設整備事業	1,280	教育課社会教育係
●488	冬季レクリエーション施設運営事業	6,800	教育課社会教育係
●524	社会体育振興事業	148	教育課社会教育係
607	総合運動公園管理事業	4,673	教育課社会教育係
●608	図書館指定管理事業	34,900	教育課社会教育係

④長期的な評価しか適当でない事業 (34事業)

※●は実施計画に記載のある事業

N o	事業名	事業費 (千円)	担当課名・係名
268	財政の健全化促進事業	965,538	総務課財政係
●609	危険空き家解体撤去補助事業	5,757	総務課危機管理係
67	日沿道整備要望活動事業	49	企画課企画係
68	羽越本線等高速化早期実現要望活動事業	62	企画課企画係
250	まちづくり町政座談会開催事業	450	企画課企画係
252	まちづくり基本条例の推進	26	企画課企画係
273	振興審議会費	263	企画課企画係
274	地方版総合戦略策定事業	138	企画課企画係
●495	遊佐町水循環保全事業	2,772	企画課企画係
●752	遊佐高校魅力化地域連携支援事業 (地域みらい留学365事業)	1,805	企画課企画係
69	日沿道山形・秋田県境区間建設促進期成 同盟会の要望活動	100	企画課PAT整備推進室
●584	遊佐パーキングエリアタウン整備事業	161,607	企画課PAT整備推進室
●740	若者を中心としたビジネス創出事業	12,936	産業課産業創造係
109	公有林整備事業	117	産業課水産林業係
●123	松くい虫防除事業 (樹幹注入)	1,197	産業課水産林業係
●351	みどり環境税交付金事業 (高度公益 機能森林)	1,392	産業課水産林業係
●578	みどり環境税交付事業 (共存の森運 営事業)	500	産業課水産林業係
●670	森林環境譲与税活用事業	5,584	産業課水産林業係
384	飼料高騰対策支援事業	75	産業課農業振興係

評価対象外事業一覧表

(評価の必要性が低いため、評価対象から外す事業)

385	土づくり支援事業	1,950	産業課農業振興係
●589	農地利用効率化等支援事業	2,276	産業課農業振興係
●638	魅力ある園芸やまがた所得向上支援事業	26,054	産業課農業振興係
46	エコアクションプラン推進事業	741	産業課エネルギー政策推進室
●507	エネルギー基本計画策定事業	4,094	産業課エネルギー政策推進室
●549	上水道事業繰出金	19,400	地域生活課上水道係
●621	上水道管移設・布設替事業	38,071	地域生活課上水道係
●701	水道施設耐震化事業	25,124	地域生活課上水道係
160	都市下水路事業	34	地域生活課下水道係
●190	合併処理浄化槽設置整備事業	763	地域生活課下水道係
●194	下水道施設修繕事業	41,882	地域生活課下水道係
●512	公共下水道事業繰出金	430,000	地域生活課下水道係
●513	地域集落排水事業繰出金	68,000	地域生活課下水道係
●646	公共下水道事業下水道管渠移設・布設替事業(高速道路関連)	21,098	地域生活課下水道係
●748	下水道施設改築更新事業	62,689	地域生活課下水道係

おわりに

(令和6年度外部評価委員会を振り返って)

今年度の外部評価対象事業は、評価対象事業数全105事業のうちの55事業で、これを3班に分かれ、事業ごとの評価シートの確認と担当課ヒアリングによって吟味した。委員構成では再任委員が多いことから、昨年の経験を活かしてスムーズに進められた。しかし、委員会をより効率的な活動にしていくために、いくつかの工夫が求められる点が浮上した。そこで、以下に、評価シートのレイアウトとの変更と記述の仕方に関連する分かりにくさ、継続事業における事業改善上の着目点について述べたい。

1. 評価シートのレイアウトに関連する分かりにくさ

評価シートには、事業を理解するための基本情報が簡潔に記載されている。記載事項が簡潔であることと同様に、配置場所もそれと等しく重要である。この配置に注目して見ると、一瞥するだけでは理解しづらさを引き起こす可能性の高いのが「担当評価基準」欄の基準の配置順番である。昨年と異なり、この4月からは5段階評価から3段階評価へと評価基準の統一によってわかりやすさの工夫を施した。しかし、個々の評価基準の配置順番は、「評価値」「方向性」を導き出す手順の順番と合っていない。そのため、この点を解消することで、評価シートの理解しやすさを確保することが必要である。具体的な評価基準の配置順番は、妥当性→貢献度→有効性→効率性→活動量ということが望ましいだろう。

2. 評価シートの記載に関連する分かりにくさ

評価シートの記載方法については昨年指摘しているのですが、そちらを参考にしていたきたいが、今回の指摘事項は、目標値の設定が合理性を欠いていることである。例えば、予算が前年度とほぼ変わらないのに対して目標値が倍近くに設定されていることや、過去の経緯からすると、過大に設定されている事例が散見された。そこで、基本的な点について以下に述べておく。まず、目的と目標値は整合的であることが前提である。その上で、目標値は、その事業の固有の効果として把握できる成果指標を利用するのが基本である。具体的には、目標値を既存計画から算出する。目標値が数年後を想定している場合には、単年度分を割り出して設定する。トレンドによる設定もあるが、これは目標値を過去の傾向を利用して設定する考え方である。また、運営方針などの意図的な目標値の設定があるが、これは意図的に平均以上、重点化という観点に立ち設定する考え方である。いずれにしても、違和感がなく、説明のつくようにあらかじめ定義することがポイントである。

第2が、目標値年度の扱いが異なることによる達成度の分かりにくさである。これが

評価をスムーズに判断する上でネックとなる。通常、事業は単年度事業であるため、目標値自体も年度末に到達すべき数値が設定されるが、事業によっては上位計画の設定した目標値を利用する場合、その到達年度が数年先に設定されている場合がある。そのため、実績値と目標値の関係を単純に理解することができない。この点を解消するため、目標年度がたとえば3年後に90%の場合（現状が60%）には3年分を均等に割り戻してX（当該年度）+1年が70%、X+2年が80%、X+3年（目標年度）が90%とすることが望ましい。

第3が、事業の対象者（もの）及びその数の記載がないことによる分かりにくさである。対象については、評価シートの「事業の概要」の「内容」欄か、「成果指標設定の考え方」欄か、「成果指標の年度経過」欄か、「決算内訳」欄のいずれかに示されているれば問題がないが、いずれの欄にも記載がなければ、対象そのものを理解できるが、その規模や量・範囲を知ることができない。これでは、スムーズに評価を行うことができない。委員がヒアリングをしないでも評価を下すことができるように心がけていただきたい。

3. 継続事業における業務改善

外部評価委員会と担当課が「継続」と評価した事業は、一般的には現状のまま進めても良い判断した事業である。しかし、「継続」となった事業の「担当課年度評価」や「課題」欄に、利用者や対象者が特定されている、つまり毎年同じ人の利用、いわゆるリピーターの存在を示す用語が散見される。これが直ちに、問題となるわけではないが、留意したい点であることも事実である。このリピーターの裏に潜む既得権益化の可能性が問題となりうる。例えば、補助金や利用券、物品の配布において、利用者の変動がなく、固定化している場合、その人のためのサービスとなり、公平性の観点から問題を生む可能性がある。

継続事業の取り扱いの基本は、行政側と外部評価委員会の考えが同じ「継続」であっても、行政の専門的な視点からは無論のこと町民の視点に立って、特に事業の妥当性、効率性、有効性に関して再検討することである。単に例年通りと判断せず、実態を把握して、上記のような問題の発生や批判を受けないように配慮する必要がある。

最後に、記録的な大雨に見舞われ、被災した町民の方々に衷心よりお見舞い申し上げます。また、当日、報告書の集約の会議に参加した委員の方々も、警報と同時に町内の活動に出向かれ、職員ともどもそれぞれの役割を果たし、一体となった行動に、町の強い絆を感じた次第です。

（埼玉大学大学院人文社会科学研究所・教授 齋藤友之）

令和6年9月 報告
遊佐町行政評価推進委員会
遊佐町行政評価外部評価委員会
(事務局：遊佐町 企画課内／山形県飽海郡遊佐町遊佐字舞鶴 202)
(電話番号：0234-72-4523)